2017年度研究年報

第14号

2019年1月

首都大学東京 健康福祉学部



首都大学東京 2017 年度 研究年報

第14号

2019年1月

研究年報(第14号)の発刊にあたって

首都大学東京は「大都市における人間社会の理想像の追求」を大学の使命として、①都市環境の向上、②ダイナミックな産業構造を持つ高度な知的社会の構築、③活力ある長寿社会の実現をキーワードに掲げ教育研究を推進している。

その中で、健康福祉学部・大学院人間健康科学研究科では、各学問分野で「あらゆる世代・地域の人々が、自分の能力を発揮し活躍できる優しい社会」を目指した研究が実施されている。理論と検証、更に実践的知見を礎として各分野における学問体系を確立・深化させることはもちろん、異なる分野間の学問交流を通じて有機的・融合的な研究・教育が機動的・弾力的に行われていることも本学部・研究科の特徴である。更に、研究成果を広く世界に発信すると共に、世界中の「健康増進」に向けた様々な先進的な活動を行っている。又、東京都医学研究機構、東京都健康長寿医療センター及び都立小児総合医療センターとの連携や、都立病院をはじめとした医療機関や福祉施設、更に地方自治体との教育・研究における協力関係や学術情報のネットワーク化など、地域保健医療の拠点として積極的な展開を図るとともに、研究成果の社会還元を進めている。

今回発刊する研究年報第14号は、平成29年度の研究活動の成果を取りまとめたものである。この冊子を通して、本学部・研究 科での研究活動に対する理解を深めて頂きたい、又、本学部・研究科のより一層の発展のためにご指導ご鞭撻頂きたい、と願っている。

2019年1月

首 都 大 学 東 京 健康福祉学部長·人間健康科学研究科長 渡 邊 賢

目次

学部長

教 授 渡 辺 賢………3

看護学科		作業療法学科
学科長	西 村 ユミ・・・・・ 7	学科長 石井 良和・・・・・・ 69
教 授	安達 久美子・・・・・・ 10	教授大嶋伸雄70
教 授	河原 加代子····· 12	教授 菊池 吉晃72
教 授	斉藤 恵美子・・・・・・ 13	教 授 小林 法一 75
教 授	習田 明裕14	教 授 小林 隆司 78
教 授	猫田 泰敏16	教 授 ボンジェ・ペイター・・・・・・ 81
教 授	山本 美智代 · · · · · · · 18	准教授 石 橋 裕82
准教授	飯塚 哲子20	准教授 伊藤 祐子 84
准教授	石川 陽子 21	准教授 井上 薫 86
准教授	木村 千里 22	准教授 藺牟田洋美・・・・・・ 88
准教授	島 田 恵 24	准教授 谷村 厚子90
准教授	園部 真美 26	准教授 橋本 美芽 91
准教授	種吉 啓子27	准教授 宮本 礼子 93
准教授	菱沼 由梨 28	
准教授	廣川 聖子 29	
准教授	福井 里美30	放射線学科
准教授	增谷 順子31	学科長 福士 政広 98
准教授	三浦 里織32	教 授 小 倉 泉 104
助教	新 井 清 美· · · · · · · · 33	教 授 加 藤 洋 105
助教	大庭 貴子 33	教授齊藤秀敏107
助教	川 添 美 花 36	教 授 白川 崇子 109
助教	坂井 志織 37	教授 妹尾 淳史110
助教	仙 波 雅子 37	教 授 古川 顕 112
助教	髙嶋 希世子・・・・・・ 38	准教授 井上 一雅 114
助教	前田 耕助39	准教授 真正 净光 118
助教	三輪 聖恵40	准教授 関根 紀夫122
助教	吉 羽 久美 40	准教授 乳井 嘉之 123
		准教授 沼野 智一124
理学療法学科	Jump 1	准教授 根 岸 徹 124
学科長	網本 和44	准教授 明上山 温······ 128
教授	浅川 康吉47	
教授	新 井 光 男······ 49 易 勤····· 50	
教授	**	
教授	竹 井 仁······· 52 新 田 収······ 54	
教 授 教 授	新 田 収······ 54 山田 拓実····· 58	注)所属・職位は平成30年4月現在
	山田 拓美······ 58 池田 由美····· 60	
准教授 准教授	池田 田美······ 60宇佐 英幸····· 61	
准教授	来間 弘展・・・・・・・ 62	
准教授	古川 順光 63	
据教授 助 教	· 神尾 博代······ 64	
功 叙	17 年 日177 04	

信太 奈美……65

助 教

《表記方法等》

- 1 研究活動の掲載期間は、2017年4月から2018年3月までである。
- 2 論文には、査読付きの業績を記載している。

【記載対象】学術論文、国際会議プロシーディングス、大学・研究機関紀要、研究会・シンポジウム資料、 その他学術会議資料、学位論文等

【読み方】氏名:夕仆ル. 掲載媒体, 掲載箇所, 発表年月

3 著書は、著書、編書、訳書、共著、共編、共訳を含んでいる。

【記載対象】単行本、事典·辞書、地図、音楽資料、映像、画像等

【読み方】氏名:タ仆ル,担当範囲,出版社,出版年月

4 Misc (Miscellaneous, 種々雑多なもの)は、基本的に査読なしの業績を含んでいる。

【記載対象】研究論文、速報・短報・研究ノート等(学術雑誌、大学・研究機関紀要)、

研究発表要旨(国際会議、全国大会、その他学術会議)、機関テクニカルレポート、 プレプリント、総論・解説(学術雑誌、国際会議プロシーディングス、大学・研究所、 商業誌・新聞・ウェブメディア等)、講義資料(セミナー、チュートリアル、講習、講義他)、 書評、文献紹介、会議報告、その他記事

【読み方】氏名:タ仆ル. 掲載媒体, 掲載箇所, 発表年月

5 講演・口頭発表等は、講演や国内会議、国際会議などにおいて発表された業績を含んでいる。

【記載対象】口頭発表(一般、招待・特別、基調講演)、ポスター発表、シンポジウム・ワークショップパネル

(公募、指名)、公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義、メディア報道

【読み方】氏名:タ仆ル. 発表の場, 発表年月

6 競争的研究費の課題は、分担研究者となっている業績を含んでいる。

【読み方】氏名:研究費の種類「タ仆ル」,期間・年月

7 社会貢献活動は、イベント、番組、新聞雑誌など、社会的に貢献した業績を対象としている。

【読み方】氏名:活動内容·夕仆ル. 主催·媒体名, 期間·年月

8 外国語で発表された論文等は、原則としてそのまま表記している

健康福祉学部長

1) Takai A, Eto M, Hirano K, Takeya K, Wakimoto T, <u>Watanabe M.: Protein phosphatases 1 and 2A and their naturally occurring inhibitors: current topics in smooth muscle physiology and chemical biology. The Journal of Physiolgical Sciences, 9:1-17, 2017.07</u>

講演·口頭発表等

- 1) <u>渡辺賢</u>: モルモット盲腸紐平滑筋 X 線回折像に対する β エスシン・スキンド処理の影響. 第 95 回日本生理学 会大会, 2018.03.29
- 2) <u>渡辺賢</u>:プロテインホスファターゼ 2A 特異的阻害薬 rubratoxin A はミオシン軽鎖リン酸化依存性及び非依存性 に平滑筋収縮を抑制する. 第3回日本 台湾プロテインホスファターゼ研究会, 2017.11.19
- 3) 渡辺賢:盲腸紐 X 線回折像に対する β エスシンスキンド処理の影響. 第59回日本平滑筋学会, 2017.08.2

競争的資金等の研究課題

1) 渡辺賢:日本学術振興会 科学研究費「プロテインホスファターゼ 2Aによる平滑筋化学-カ学変換調節のメカニズム」,2016.04-2019.03

看 護 学 科

2) 西村ユミ,太田喜久子,数間恵子,川口孝泰,古在豊樹,小松浩子,正木治恵:これからの社会におけるケアサイエンスの構築をめざして――看護学からの提案、学術の動向、学術の動向、22(5):58-71、2017.05

著書

- 1) 西村ユミ、榊原哲也他:ケアの実践とは何か――現象学からの質的研究アプローチ.ナカニシヤ出版,2017.09
- 2) <u>西村ユミ:</u>メルロ=ポンティ読本.9,看護学とメルロ=ポンティ——「待望していたもの」との出会い,法政大学出版会,2018.03

Misc

- 1) 西村ユミ: 看護の現象を探究するということ――ケアの現象学. 岩手看護学会誌, 11(1):19-26, 2017.05
- 2) 西村ユミ: Field Essay 事象の発生に立ち会う. 質的心理学フォーラム, (9):115-117, 2017.09
- 3) 岩國亜紀子,丸尾智実,綿貫成明,大澤絵里,坂井志織,鳥本靖子,濱吉美穂,西村ユミ:若手看護学研究者を対象とした研究および教育活動支援のための研修ニーズ調査.日本看護科学学会誌,(37):185-192,2017.11
- 4) <u>西村ユミ:</u> 看護師長が自らの経験を言語化する意味——言葉にする方法としてのワークショップのつくり方. 看護, 70(4):82-90, 2018.03
- 5) 小島昌人,佐藤弘恵,高坂涼子,土方ふじ子,三原佳世子,安原祐子,山根絵里,<u>西村ユミ</u>:ことばを見つけるワークショップ――看護師長編 対話がつくる"生きた経験". 看護,70(4):64-78,2018.03
- 6) <u>西村ユミ</u>: 対話する医療——人間全体を診て癒すために(書評): 対話そのものを大切にする医療のありようとは. 看護管理, 28(7):629-, 2018
- 西村ユミ:看護ケアと現象学的研究.日本糖尿病教育·看護学会誌,22(1):38-41,2018

講演·口頭発表等

- 1) 前田泰樹,西村ユミ: 救命救急センターにおけるワークの研究(2)——患者の入室方法の変化に注目して. 第 43 回日本保健医療社会学会大会. 2017.05.20
- 2) 西村ユミ,前田泰樹: 救命救急センターにおけるワークの研究(1)——看護実践に挟まれるコミュニケーションに注目して. 第 43 回日本保健医療社会学会大会, 2017.05.20
- 3) 西村ユミ: 高齢者介護の現象学. 第22回一橋哲学フォーラム, 2017.06.17
- 4) 西村ユミ:フィールドワークにおける〈身体〉経験. 臨床実践の現象学会第3回大会,2017.08.06
- 5) 西村ユミ看護ケアと現象学的研究. 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2017.09.16
- 6) 西垣昌和,西村ユミ前田泰樹,溝口満子,山地幸雄,程内栄子,松本千香子,武藤智,望月俊雄:多発性囊胞腎 患者の病い経験の実態に関する患者参加型研究.日本遺伝看護学会第16回学術大会,2017.09.29
- 7) 西村ユミ: 看護実践を豊かにする現象学的研究の方法. 日本赤十字看護学会オータムセミナー, 2017.10.09
- 8) Temporal and Spatial Order in the Collaborative Work by Nurse in an Emergency and Critical Care Center. 23rd Qualitative Health Research Conference, 2017.10.18

- 9) The meaning of communication between nurses and patients in an emergency and critical care center (ECCC). 23rd Qualitative Health Research Conference. 2017.10.19
- 10) 西村ユミ: 当事者の声を聴くことから研究へ. 日本現象学社会学会第 34 回大会, 2017.11.25
- 11) 西村ユミ: "感じよう! 語ろう! 看護の魅力!". 第6回静岡県看護学会, 2018.01.20

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>西村ユミ</u>: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「遺伝性疾患をめぐる病い経験の実態と新たな 課題への対応方法に関する研究」, 2016-2018
- 2) 榊原哲也:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「医療現象学の新たな構築」, 2016-2018(分担)
- 3) 前田泰樹: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「急性期病院における協働実践についてのワークの研究」, 2016-2018(分担)
- 4) 飯塚哲子:平成29年度 傾斜的研究費(部局分)部局競争的「急性期医療現場で演劇ワークショップを用いた4 職種連携教育支援プログラムの試行,2017(分担)

社会貢献活動

- 1) <u>西村ユミ:</u> 意識の定かでない人とのコミュニケーションの可能性. 第 13 回全国遷延性意識障害患者·家族の会. 10. 2017.06.04
- 2) 西村ユミ看護論/現象学的看護論. 平成 29 年度静岡県専任教員養成講習会. 10, 2017.07.22
- 3) 西村ユミ他:からだやことばで表現されること・「表現されないこと」とそれらの受けとめや解釈について考える ~ 当事者と対人サービス専門職に焦点を当てて、日本質的心理学会第14回大会、13,2017.09.09
- 4) 西村ユミ他:特別対談「からだとことば」谷川俊太郎×細馬宏通. 日本質的心理学会第 14 回大会. 4, 2017.09.10
- 5) 西村ユミ: 看護における現象学. 平成 29 年度愛知県専任教員養成講習会. 10, 2017.09.13
- 6) 西村ユミ現象学的看護研究. 静岡県立大学看護学部·看護学研究科特別講義. 10, 2017.09.19
- 7) <u>西村ユミ:</u> 看護実践を豊かにする現象学的研究の方法. 日本赤十字看護学会オータムセミナー. 10, 2017.10.09
- 8) 西村ユミ:実習指導の原理·学生の経験とその意味. 公益社団法人新潟県看護協会「臨地実習指導者フォローアップ」研修会. 10, 2017.10.13
- 9) <u>西村ユミ</u>他:無限に拡がる看護の可能性を具現化するために! ~キャリアデザインとキャリアドリフトの波を乗りこなすコツ~. 日本看護科学学会第 37 回学術集会 交流集会. 13,14, 2017.12.06
- 10) 西村工2: 看護現象学. 平成 29 年度広島県看護教員養成講習会. 10, 2018.01.20
- 11) 西村ユミ: 臨床実践の現象学. 国立障害者リハビリテーションセンター学院. 10, 2018.02.20
- 12) <u>西村ユミ</u>: 学生の主体性を導い出すコミュニケーションスキル. 公益社団法人新潟県看護協会「看護教員養成講習会修了者フォローアップ」研修会. 10, 2018.02.24
- 13) <u>西村ユミ:</u>現象学的看護研究の理論と分析. 徳島文理大学大学院看護学研究科特別講義. 10, 2018.03.02
- 14) <u>西村ユミ</u>他:初めての論文投稿と査読対応の実際. 第 11 回 JANS セミナー 13,14, 2018.03.30

受賞

1) 西村ユミ:日本医学哲学·倫理学会 第11回 日本医学哲学·倫理学会 学会賞,2017.11

1)Sachiyo Kubo, <u>Kumiko Adachi</u>: Evaluation of infants' exposure to environmental tobacco smoke using salivary cotinine measurements. British Journal of Midwifery, 25:366-371, 2017

Misc

- 1) 葛西圭子,<u>安達久美子</u>,井本寛子,岡本登美子,渕元純子,石渡勇,田島博実,岡本喜代子,小池晶子,田村千亜希:平成28年度会員調査報告(第1報) 院内助産・助産所に関する調査.助産師,71(3):40-42,2017
- <u>安達久美子</u>: わが国における母子健康手帳と助産師の歴史(特集 世界の母子健康手帳の動向). 助産師, 71(3):21-24, 2017
- 3) 山本詩子,島田真理恵,<u>安達久美子</u>,久保絹子,葛西圭子,岡本登美子,渕元純子:開業助産師のためのクリニカルラダーとアドバンス助産師の更新について. 助産師, 72(1):28-32, 2018.02
- 4) 葛西圭子,安達久美子,井本寬子,岡本登美子,渕元純子,石渡勇,田島博実,岡本喜代子,小池晶子,田村千亜希:平成28年度 会員調査報告(第2報)日本助産師会全会員調査.助産師,72(1):53-55-55,2018
- 5) 安達久美子:基本をおさらいしよう! 採用される投稿論文を目指して. 助産雑誌, 72(3):196-200, 2018

講演·口頭発表等

- 1) Chikako Mochizuki, Yasuhiro Tanaka, <u>Kumiko Adachi</u>, Reiko Seki: Chikako Mochizuki, Yasuhiro Tanaka, Kumiko Adachi, Reiko Seki. TNMC & WANS International Nusring Research Canference, 2017.10
- 2) 河内浩美,<u>安達久美子</u>,和田由紀子: 思春期における「性成熟」の概念分析. 第 37 回日本看護科学学会, 2017.12
- 3) <u>Kumiko Adachi</u>, Natsuki Tokumatsu, Yuri Hishinuma: Variations in Urinary Relaxin Levels During Pregnancy. 21th Eafons, 2018.01.12
- 4) Natsuki Tokumatsu, <u>Kumiko Adachi</u>: Tentative Pubic symphyseal Angle (PSA) Method Using Ultrasound Imaging Devices to Monitor Pelvic Changes from Pregnancy to the Postpartum Period. 21th Eafons, 2018.01.12.
- 5) Yuri Hishinuma, <u>Kumiko Adachi</u>: Factors that Affect the Growth of Mentoring Competencies and the Burn-out State of Clinical Midwives. 21th Eafons, 2018.01.12.
- 6) 仲道由紀,佐藤洋子,末次美子,藁谷文乃,野口ゆかり,川田紀美子,安達久美子,岡本喜代子,谷口初美:モンゴルの母親に対する妊婦肥満の第一回全国意識調査.日本助産学会誌,2018.03
- 7) 風間仁美,安達久美子:産後入院期間短縮による産婦人科病床運用の変化.日本助産学会誌,2018.03
- 8) 谷口初美,川田紀美子,末次美子,野口ゆかり,佐藤洋子,<u>安達久美子</u>, 岡本喜代子:モンゴルの妊婦肥満の予防にスマホアプリを使用した保健指導の導入の試み.日本助産学会誌,2018.03
- 9) 佐藤洋子,末次美子,仲道由紀,藁谷文乃,野口ゆかり,川田紀美子,<u>安達久美子</u>,岡本喜代子,谷口初美:モンゴル助産師に対する妊婦肥満の第一回全国意識調査.日本助産学会誌, 2018.03.
- 10) 片岡優華,安達久美子:「育児期の親のエンパワメント」の概念に関する文献検討. 日本助産学会誌, 2018.03

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>安達久美子</u>: 文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「妊婦の恥骨結合上端開角(PSA)の測定による妊娠中のリラキシン量推定の試み」, 2014.04-2018.03
- 2) 河内浩美: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「子どもの性的成熟に対する母親の育児困難感尺度の開発」, 2015.04-2019.03(分担)
- 3) 小川久貴子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「若年母の肯定感を高める ICT 活用支援プログラムの開発」, 2017.04-2021.03(分担)

著書

- 1) <u>河原加代子</u>: 第一部 看護行為に共通する援助技術 3.健康学習を支援し成長を促す技術, ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術(第6版):メディカ出版, 42-53, 大阪, 2017.01
- 2) <u>河原加代子</u>: 第一部 看護行為に共通する援助技術 3.健康学習を支援し成長を促す技術, ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術(第6版):メディカ出版, 42-53, 大阪, 2017.01

講演·口頭発表等

- 1) Taylor E, <u>Kawahara K</u>; The Research Trend Pertaining to the Practice of an Expert Home-visit Nursing Station Administrator, 2th APMRC.
- Yuki M, Furuto J, <u>Kawahara K</u>, Suzuki Y: Mental Health of Life Support Counsellors 6 years after Fukushima Nuclear Power Plant Disaster, TNMC & WANS International Nursing Research Conference, Bangkok, 2017.10
- 3) <u>Kawahara K</u>, Hayano K, Yuki M: Development of a Nursing Program Using Diaphragmatic Breathing Exercises, TNMC & WANS International Nursing Research Conference, Bangkok, 2017.10
- 4) Yuki M, <u>Kawahara K</u>, Health Conditions of Support Staff Assisting evacuees after Fukushima Nuclear Power Plant Disaster, the World Bosai Forum- IDRC, Sendai, 2017.11
- 5) Hayano K, <u>Kawahara K:</u> Exploring Factors of "Health Risk Communication" in Disaster Nursing Activities, the World Bosai Forum- IDRC. Sendai. 2017.11
- Kurosawa Y, <u>Kawahara K</u>, Nakano R, Shuda A: Development of Foot Care Program Incorporating Cognitive Approach for Middle-aged to Elderly People, 7th HK International Nursing Forum, Hong Kong, 2017.12
- 7) Hirahara Y, <u>Kawahara K</u>, Shuda A: The Relationship between Physio-psychological Changes and Characteristics in Visiting Nurses during the Provision of Care in the Patient-Nurse Interaction Process, 7th HK International Nursing Forum, Hong Kong, 2017.12
- 8) Hayano K, <u>Kawahara K</u>, Yuki M; The Utility of a Diaphragmatic Breathing Exercise Programa Based on the General Health Questionnaire, 7th HK International Nursing Forum, Hong Kong, 2017.12
- 9) Hamatani M, <u>Kawahara K</u>: Practice of Foot Care in Japan with a Focus on Home Care Services: A Literature Reviews, 7th HK International Nursing Forum, Hong Kong, 2017.12
- 10) Taylor E, <u>Kawahara K</u>; The Expertise of an Administrator with Long-Term Nursing Office Management Experience, 21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conference(21st EAFONS & 11th INC), 2018.
- 11) 中野理恵、<u>河原加代子</u>: 都市部居住女性高齢者の膝関節痛の認識と対処、第 27 回日本保健科学学会、 東京、2017.
- 12) 高橋洋子、河原加代子:コミュニティにおける看護職等による支援の評価に関する文献検討、第 27 回日本保健科学学会、東京、2017.
- 13) 早野貴美子、<u>河原加代子</u>、黒澤泰子: 自律神経コントロールに協調する横隔膜呼吸運動プログラム開発、第 37 回日本看護科学学会、仙台、2017.12
- 14) 平原優美、<u>河原加代子</u>、習田明裕:「温罨法を併用した手のマッサージ法」を用いた看護介入中の看護師の 生理的心理的変化と受け手との相互作用、第 37 回日本看護科学学会、仙台、2017.12

15) 河原加代子:在宅療養者のウェルネス、第27回日本保健科学学会、東京、2017.

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>河原加代子</u>: 平成29年度科学研究費 基盤研究(B), 患者 看護師相互作用プロセスにおけるケア効果を 引き出す最適プロセス設計の開発, 代表
- 2) <u>河原加代子</u>: 平成29年度科学研究費 基盤研究(B), 福島原子力災害による長期避難者への健康支援と評価: アクションリサーチ, (分担)
- 3) <u>河原加代子</u>: 平成29年度科学研究費 基盤研究(C), 災害時の健康危機を支えるヘルス・リスクコミュニケーションのアルゴリズム開発, (分担)

その他

1) <u>河原加代子</u>: 平成 29 年度訪問看護ステーション管理者·指導者育成研修 研修報告書: 東京都福祉 保健財団, 平成 30 年 3 月

- 呉珠響,斉藤恵美子. (2017). 無年金または低年金の定住コリアン高齢者が経験した健康に関連する生活上の困難さ,日本看護科学学会誌,37,105-113. DOI: 10.5630/jans.37.105
- 2) <u>斉藤恵美子</u>,鈴木良美,岸恵美子,澤井美奈子,掛本知里,中田晴美,五十嵐千代,麻原きよみ,永田智子,森豊美,栗原せい子. (2017). 保健師教育課程選択制導入前後の保健師による学生実習の技術到達度評価の比較,日本公衆衛生看護学会誌,6(2),150-158. DOI: 10.15078/jiphn.6.2 150
- 3) Suzuki, Y., Saito, E., Kishi, E., Sawai, M., Kakemoto, S., Igarashi, C., Nakada, H., & Asahara, K. (2018). The evaluation of public health nursing students' skill achievement levels by educational improvement. Public Health Nursing. 1-10. DOI: 10.1111/phn.12388.
- 4) Nagata, Y., Ota, M., Saito, E. (2018). Difficulty of confining recalcitrant tuberculosis patients in isolation wards in Japan, 2013–2014. Public Health. 154: 31–36. DOI: 10.1016/j.puhe.2017.10.010
- 5) Omote, S., Watanabe, A., Hiramatsu, T., Saito, E., Yokogawa, M., Okamoto, R., Sakakibara, C., Ichimori, A., Kyota, K., & Tsukasaki, K. (2017). A Foot-Care Program to Facilitate Self-Care by the Elderly: An Intervention Study. BMC Research Notes. 10: 586. DOI: 10.1186/s13104-017-2898-9.

Misc

1) 平野美智代,和泉京子,岡本玲子,和泉比佐子,安齋由貴子,伊藤美樹子,内山有子,蔭山正子,北岡英子,斉藤 恵美子,巽あさみ. (2018). 日本公衆衛生看護学会編集委員会企画 学会誌投稿推進セミナー入門編: 原稿の書き方伝授します!. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集,88.2018.01.07

講演·口頭発表等

- 1) 縞谷絵理,斉藤恵美子. (2017). 育児中の母親の健康を増進する生活習慣に関連する要因の検討, 第 76 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 489, 2017.11.01
- 2) 的場柚木,斉藤恵美子. (2017). 民間の宿泊施設を利用する生活困窮者の入院の長期化による居所喪失に関する予測因子. 第76回日本公衆衛生学会総会抄録集,542,2017.11.02
- 3) 縞谷絵理,斉藤恵美子. (2017). 育児中の母親の健康を増進する生活習慣の就労有無別の比較,日本看護科学学会講演集 37th-ssuppl 号, 048-2, 2017.12.16
- 4) 表志津子,斉藤恵美子,平松知子,岡本理恵,市森明恵. (2018). 自立して生活する高齢者への足の手入れ介入による歩行機能の評価. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 132, 2018.01.06
- 5) 望月由紀子,<u>斉藤恵美子</u>. (2018). 一次予防を目指したメンタルヘルス対策に関する産業看護職の事業策定の実態. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集,119,2018.01.06
- 6) Oh, C. H., Saito, E. (2018). The association of ethnicity with physical and mental health status among community-dwelling ethnic minority elders in Japan. The 21st East Asian Forum of Nursing Scholars: 47, 8018 Jan. Seoul. 2018.01.11
- 7) Kawata, S., <u>Saito, E.</u> (2018). Health literacy and associated factors in female undergraduate students in their 20s. The 21st East Asian Forum of Nursing Scholars: 47, 2018 Jan. Seoul. 2018.01.11

競争的資金等の研究課題

1) <u>斉藤恵美子</u>:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「地域に居住する高齢者とその家族への支援 過程での困難事象と倫理的課題」, 2017-2019

- 岡島志野,習田明裕:手術看護における倫理的課題に働きかける実践知.生命倫理,27(1):64-71, 2017.09
- 2) 森田孝子,<u>習田明裕</u>,古米照恵,萩原邦子,野尻佳代,添田英津子:移植·再生医療に関する看護師教育について考える. 日本移植·再生医療看護学会誌, 12(2):31-35, 2017.10
- 3) 林優子,赤澤千春,萩原邦子,今西誠子,<u>習田明裕</u>,谷水名美,前田景子,磯見真希,田中優希,松宮朱美, 喜信幸,大橋尚弘,渡邉陽子: 臓器移植看護における看護師の倫理的実践の変化を目指したアクションリ サーチの実施. 日本移植・再生医療看護学会誌, 12(2):28-30, 2017.10
- 4) 中村幸代,<u>習田明裕</u>:病気を抱えながら就業した看護職の体験. 日本看護科学会誌, 37(0):336-343, 2017.12

著書

- 1) 松尾ミヨ子,城生弘美,<u>習田明裕</u>: ヘルスアセスメント第 5 版 (ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(2)) メディカ 出版、2018
- 2) 志自岐康子,松尾ミヨ子,<u>習田明裕</u>:看護学概論第 6 版 (ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(1)) メディカ出版, 2018
- 3) 志自岐康子,松尾ミヨ子,習田明裕,金壽子:基礎看護技術第6版(ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(3)). メディカ出版,2018

Misc

- 1) Atsumi Fujita, Akihiro Shuda: Concept analysis of "Nursing Coordination". The 21th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2018.01
- 2) 前田耕助,野村亜由美,三輪聖恵,大庭貴子,<u>習田明裕</u>:看護実践能力の向上を目指した学習法の検討 自 作動画による視聴の試み. 日本保健科学学会誌. 20(Suppl.):19-19, 2017.09
- 3) 藤田厚美,<u>習田明裕</u>:「看護師の調整」の構成概念の検討 病院に勤務する看護師への面接調査から. 日本保健科学学会誌, 20(Suppl.):19-19, 2017.09
- 4) 岡島志野,<u>習田明裕</u>: 看護師の倫理的行動に関する国内文献の動向. 日本保健科学学会誌, 20(Suppl.): 35-35, 2017.09
- 5) 小島優希,<u>習田明裕</u>:Post-lunch dip に関する検討 要因となる生活習慣と心理状態への影響. 日本保健科学 学会誌, 20(Suppl.):36-36, 2017.09
- 6) 岡島志野,<u>習田明裕</u>,樽井正義:手術看護認定看護師に内在する「道徳的な意志」の探求. 日本保健科学 学会誌, 20(Suppl.):35-35, 2017.09
- 7) 谷水名美,林優子,赤澤千春,萩原邦子,今西誠子,<u>習田明裕</u>,前田景子,磯見真希,田中優希,松宮朱美喜信幸, 大橋尚弘,渡邉陽子: 臓器移植看護における看護師の倫理的実践の変化 アクションリサーチを用いて. 日本 移植・再生医療看護学会学術集会プログラム・抄録集, 13 回:31-31, 2017.10
- 8) 平原優美,河原加代子,<u>習田明裕</u>:『温罨法を併用した手のマッサージ法』を用いた看護介入中の看護師の生理的心理的変化と受け手との相互作用. 日本看護科学学会学術集会講演集, 37 回:[013-4], 2017.12

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>習田明裕</u>:文部科学省 科学研究費(基盤研究(C))「臓器移植医療における看護職の倫理的実践モデルの 構築」, 2017-2019
- 2) 河原加世子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「患者-看護師相互作用プロセスにおけるケア効果を引き出す最適プロセス設計の開発」, 2016-2018(分担).
- 3) 野村亜由美:文部科学省 科学研究費(萌芽研究)「積極的·能動的な参加を目指した Bespoke Nursing System の開発」, 2016-2018(分担)
- 4) 前田耕助:公立大学法人首都大学東京 平成 29 年度傾斜的研究費(部局・競争的経費)「看護援助技術の実践能力の向上を目指した自作動画の作成と振り返り学習法の効果」, 2017-2018(分担)

社会貢献活動

- 1) 習田明裕: 高度医療における看護(臓器移植看護). 10, 2017.10-
- 2) 習田明裕:研究指導. 10, 2017.04-2018.03
- 3) 習田明裕:看護研究講義. 10, 2017.06-
- 4) 習田明裕:リーダーシップ研修 問題解決技法講義. 10, 2017.07-
- 5) 習田明裕:リーダーシップ研修 看護倫理講義. 10, 2017.07-
- 6) 習田明裕:認定看護管理者養成研修.10,2017.10-

著書

1) 猫田泰敏: JMPによるよくわかる統計学【保健医療データ編】. 1, 東京図書, 2017.09

Misc

- 1) <u>猫田泰敏</u>:The development and evaluation of high school students' mental health literacy education programs. TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, 2017.10
- 2) <u>猫田泰敏</u>:Actual survey of the mental health status of kindergartner staff. WPA XVII World Congress of Psychiatry, 2017.10

1) 中川薫,山本美智代:「障害者が避難所にいない」―東日本大震災における避難所、福祉避難所の課題に関する既存の知見の体系化―. 地域安全学会梗概集, 41:57-58, 2017.11

著書

1) やまだようこ 聞き手:浦田悠, 山本美智代:第9回 パイオニアに聞く「質的心理学のいま」質的心理学フォーラム,9:79-86,2017.09

講演·口頭発表等

1) 山本美智代,中川薫,田中総一郎:重症心身障害児(者)の避難場所の選択理由-津波からの避難に焦点をあてて-. 第43回 日本重症心身障害学会学術集会,2017.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 山本美智代: 文部科学省 科学研究費(基盤 C) 「在宅障碍児者が不測の事態に備える教育プログラムの開発とその効果に関する研究」, 2015.04-2019.03
- 2) 中川 薫:文部科学省 科学研究費(基盤 C)「障碍児者の受けた震災被害と支援に関する文献研究一既存の知見の体系化」,2015.04-2018.03(分担)

委員歷

- 1) 日本小児看護学会 学術·研究推進委員会委員(2013.10-2017.06)
- 2) 日本質的心理学会 質的心理学フォーラム編集委員(2016.04-2018.03)

看護学科 准教授 飯塚 哲子

著書

- 1) <u>飯塚哲子</u>: 近隣中学校との地域連携協働事業·健康保健教育支援「生命学」体験授業の評価. 首都大学 東京傾斜的研究費(部局裁量経費)報告書. 101-104, 2017.04
- 2) <u>飯塚哲子</u>: 中学生との地域連携・多職種連携事業「生命学」体験授業. 公益財団法人笹川記念保健協力 財団地域啓発活動報告書. 26, 2018.03

講演·口頭発表等

- 1) <u>飯塚哲子</u>: 中学生とともに実践する《いのちを考える体験学習》. 早稲田大学エクステンションセンター協力事業公 開講座, 2017.11.10
- 2) <u>飯塚哲子</u>: 東京都荒川区地域連携学校保健·健康支援事業中学 3 年生を対象とした地域連携体験授業. 地域連携公開講座, 2017.11.21

競争的資金等の研究課題

- 1) 飯塚哲子:公立大学法人首都大学東京健康福祉学部 傾斜的研究費(部局分)「急性期医療現場で演劇ワークショップを用いた4職種連携教育支援プログラムの試行」、2017.04-2018.03
- 2) <u>飯塚哲子</u>: 公益財団法人 笹川記念保健協力財団 地域啓発活動助成「中学校との地域連携・多職種連携事業《生命学》体験授業」, 2017.04-2018.03
- 3) <u>飯塚哲子</u>:公益財団法人 日本健康アカデミー 健康知識·教育に係る公募「中高一貫教育の健康知識研究·教育活動とキャリアデザインに関する研究」, 2017.04-2018.03

社会貢献活動

- 1) 飯塚哲子:東京都教育委員会主催事業デス·エデュケーション講師, 2015.04.01-2018.03
- 2) <u>飯塚哲子</u>:早稲田大学エクステンション協力事業公開講座講師, 2015.04.01-2018.03
- 3) 飯塚哲子:東京都荒川区内中学校体験授業講師,2014.04.01-2018.03

その他

- 1) 看護医療系の大学への誘いワークショップ,大学出張講義として高等学校に出向き体験学習を通して、キャリア教育 に貢献,2017.06
- 2) 中学生とともに実践する《いのちを考える体験学習》,早稲田大学エクステンションセンター協力事業の公開講座で 市民を対象として講演,2017.11.11

著書

1) 石川陽子:外国人看護介護人材とサスティナビリティ. 9, 第1部第2章:, 〈ろしお出版, 2018.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>石川陽子: 日本学術振興会 基盤(C)「異文化看護能力の開発に向けた基礎的研究」, 2016.04.-2020.03.</u>
- 2) 野村亜由美:日本学術振興会 挑戦的萌芽「積極的/能動的な参加を目指した Bespoke Nursing System の開発」, 2016.04.-2019.03. (分担)
- 3) 奥島美夏:日本学術振興会 基盤研究(B)「ASEAN 経済統合・EPA 下の保健医療人材の東アジア域内移動と 職場適応の実証研究」, 2014.04.-2019.03.(分担)

1) <u>Kimura C</u>, Sonobe M, Ikeda M, Azuma T, Hamasaka M, Hirata N:Primary School Sexuality Relationships Education in Japan-A Collaborative, Qualitative Study. International Journal of Nursing & Clinical Practices, 5:272-, 2018.02

講演·口頭発表等

- 1) Sonobe, M <u>Kimura, C</u>, Taiko Hirose: Practice and Evaluation of a Home-visit Mother/Child Support Program using the Postnatal Promotional Guid. 13th International Family Nursing Conference, 2017.06.14
- 2) Sonobe M, Kimura C, Hirose T: Evaluation of a home-visit mother / child support using the Postnatal Promotional Guide .

 The 13th International Family Nursing Conference, 2017.06.14
- 3) <u>Kimura C</u>, Sonobe M, Hirose T: Feasibility study of a support program for mothers and children using Postnatal Promotional Guide (PPG) based home visits: Analysis of qualitative data on program evaluations by mothers and midwives. The 13th International Family Nursing Conference, 2017.06.14
- 4) Tsumura A, Kimura C, Mine H, Soeda A, Odastu K, Makita S, Hori M, Yamazaki A: Case-study Results of the Training of Hospital Nurses Involved in Family Nursing Changes in the Frequency of Direct and Indirect Nursing Care for the Family. The 13th International Family Nursing Conference, 2017.06
- 5) <u>Kimura C, Sonobe M, Ikeda M: Breastfeeding Care Competency- Tracking and Analysis of Skill and Experience Acquisition Early in the Careers of Midwives MMIRA Asia Regional 2017 / JSMMR2017, 2017.08.05</u>
- 6) Yamazak A, Tsumura A, Mine H, Soeda A, Odastu K, <u>Kimura C</u>, Buyo M, Kikuchi R, Hori M: Developing a case investigative commission for community-based family nursing care with consideration for cooperation with local areas. MMIRA Asia Regional 2017 / JSMMR2017 Conference, 2017.08.05
- 7) 池田真弓,木村千里,園部真美,渡部美智子:養護教諭と協働する SRE プログラムの実践報告. 第 36 回 日本 思春期学会学術集会, 2017.08.25
- 8) 津村明美,武用百子,木村千里,牧田彰一郎,峰博子,菊池良太,山崎あけみ:地域密着型・困難な家族についての連携ケース検討会の企画・運営方法の検討. 第24回日本家族看護学会,2017.09.02
- 9) 園部真美,木村千里,大森貴秀,臼井雅美:看護大学生の乳幼児との接触経験が育児支援に関する学びに与 える影響. 第11 回 日本乳幼児保健学会学術集会, 2017.09.16
- 10) <u>木村千里</u>,津村明美,峰博子,武用百子,菊池良太,山崎あけみ:地域完結型医療のための多職種·多施設協 働型家族看護ケース検討会の基盤となる要素. 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 2017.12.16
- 11) Sonobe M, Kimura C, Omori T, Usui M: Effect of nursing college students' contact experience with infants on nurturance. 21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conference, 2018.01.11
- 12) <u>Kimura C</u>, Ikeda M, Sonobe M, Omori T:Development of Breastfeeding Care Competence at the Eearly Stage of Midwife Career: Analysis of Lifeline Profile. 21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conference, 2018.01.11

競争的資金等の研究課題

- 1) 園部真美:文部科学省:科学研究費補助金 基盤研究(C):研究分担者「ファミリーパートナーシップモデルに基づく産前産後母子支援システムの実践と評価」, 2017,04-2020,03(分担)
- 2) 木村千里: 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「シングルマザーの産前産後の支援: ファミリーパートナーシップモデルによる支援の評価」、2017.04-2020.03
- 3) 山崎あけみ: 文部科学省: 科学研究費補助金 基盤研究(B): 研究分担者「地域完結型医療のためのケースメソッドを用いた協働型家族看護研修プログラムの構築」, 2016.04-2019.03(分担)
- 4) 木村千里: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「キャリア初期における助産師の母乳 育児支援に関する能力発達プロセス―新人レベルから一人前レベルまでの助産師へのライフライン・インタビュー による分析―」、2017.04-2018.03
- 5) 大嶋伸雄:首都大学東京 傾斜的研究費(部局分·部局競争的経費)研究分担者、「多職種連携教育力リキュラム構築過程における学生評価のための基礎研究」、2017.04-2018.03(分担)
- 6) 園部真美:首都大学東京 傾斜的研究費(部局長裁量経費)研究分担者.「看護大学生における乳幼児との接触経験と養護性および次世代育成力に関する研究」,2017.04-2018.03(分担)
- 7) 飯塚哲子: 笹川記念保健協力財団 2017 年度ホスピス緩和ケアに関する研究助成 研究分担者.「中学校と の地域連携・多職種連携事業「生命学」体験授業」, 2017.04-2018.03(分担)
- 8) 飯塚哲子,木村千里:公益財団法人 日本健康アカデミー健康知識·教育に係る公募助成金. 研究分担者. 近隣中学校との地域連携協働事業·健康保健教育支援「生命学」体験授業のプログラム開発, 2016.10-2017.12.

社会貢献活動

- 1) <u>木村千里: 妊娠、出産から子育でまで切れ目のない支援を</u>~子育で世代包括支援センターについて~. 10, 2017.11.11-
- 2) 木村千里: 第11 回 乳幼児保健学会学術集会,企画委員. 13, 2017.09.16
- 3) 木村千里: 母親予備軍(看護師の卵)が次世代の子育てにどう関わるのか. 11,12, 2017.08.29.
- 4) 木村千里:ファミリーパートナーシップモデルによる周産期の家族の支援 専門職研修. 14, 2017.07.15
- 5) 木村千里: 荒川区 子ども応援ネットワーク. 11,12, 2017-2018
- 6) 木村千里: 広がれ、こども食堂の輪!推進委員会. 11,12, 2017-2018
- 7) 木村千里:ボランティアによって得るカー支援する/される経験から何を学ぶかー. 10, 2016.09-2018.02
- 8) 木村千里:体の変化といのちの始まり、10,2016.02-2018.03
- 9) 木村千里: いのちときずなのお話. 10, 2016.02-2018.03

その他

- 1) 家族相談士資格認定, 2018.03
- 2) International Journal of Nursing and Clinical Practice 編集委員
- 3) Qualitative Health Research, Peer review, 2017.

- 1) 杉野祐子,<u>島田恵</u>,池田和子,大金美和:HIV 感染症/AIDS 患者用知識尺度の作成と信頼性·妥当性の検証. 日本慢性看護学会誌, 11(1):2-8, 2017
- 2) 石井佳子,島田恵:外来患者の主体的な受療継続を支援する専門性の高い外来看護師の実践.日本保健科学学会誌,20(2):53-62,2017

講演·口頭発表等

- 1) 立里優美,<u>島田恵</u>:日本における HIV 感染症/AIDS 外来看護に関する文献の検討. 第 27 回日本保健科学学会学術集会, 2017.10
- 2) 友杉真理子,<u>島田恵</u>:HIV/AIDS 患者に特徴的な受診継続·中断要因に関する国内文献の検討~糖尿病·結核の受診継続·中断要因との比較~. 第 27 回日本保健科学学会学術集会, 2017.10
- 3) 岸純子,<u>島田恵</u>:訪問看護ステーションにおける現任教育に関する文献検討.第 27 回日本保健科学学会学 術集会,2017.10
- 4) 野田千夏,<u>島田恵</u>,戸村ひかり,清水準一:外来化学療法の継続困難期にあるがん患者に対する外来化学療法室看護師の支援. 第7回日本在宅看護学会学術集会, 2017.11
- 5) 菅井茉那,戸村ひかり,清水準一,<u>島田恵</u>:退院支援係を配置した病院の退院支援のしくみづくり 第 1 報.第 7 回日本在宅看護学会学術集会,2017.11
- 6) 戸村ひかり,菅井茉那,清水準一,<u>島田恵</u>:退院支援係を配置した病院の退院支援のしくみづくり 第 2 報.第 7 回日本在宅看護学会学術集会,2017.11

競争的資金等の研究課題

- 1) 加瀬田暢子: 文部科学省科学研究費「HIV 陽性者へのセクシュアルヘルス支援における課題の解明-尺度開発による明確化-」, 2017-2019(分担)
- 2) 池田和子: 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究 分担研究「HIV 医療包括ケア体制の整備に関する研究~コーディネーターナースの立場から~」, 2011-(分担)
- 3) 大金美和:厚生労働省厚生労働科学研究費補助金「血液凝固因子製剤によるHIV 感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究 分担研究「HIV 感染血友病等患者の医療福祉と精神的ケアにおける課題と連携に関する研究」, 2018-(分担)
- 4) <u>島田恵</u>: 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究 C)「HIV/AIDS 外来看護の再構築とその有効性の検討」, 2017-2021

社会貢献活動

- 1) 島田恵:訪問看護管理者·指導者育成事業. 2013-(継続)
- 2) 島田恵:慢性疾患セルフマネジメントワークショップ リーダー. 2011-(継続)
- 3) 島田恵:東京都エイズピアエデュケーション スーパーバイザー. 2016-(継続)

- 1) <u>園部真美</u>: 妊娠期から始まる育児支援 乳幼児看護学はじめの一歩第 22 回, 小児看護 40(11), へる す出版, 2017
- 2) Chisato Kimura1, <u>Mami Sonobe</u>, Mayumi Ikeda, Tomomi Azuma, Miho Hamasaka and Naoko Hirata: Primary School Sexuality Relationships Education in Japan-A Collaborative, Qualitative Study. International Journal of Nursing & Clinical Practices, 5:272-278, 2018.02
- 3) 臼井雅美,園部真美:出産に対する満足感と産褥早期の母子関係との関連―出産経験別にみた授乳場面の新生児に対する母親の認識に着目して―,健康科学ジャーナル,2018.3
- 4) 臼井雅美,園部真美,鍋田美咲,勝川由美,坂梨薫:出産の高年齢化に伴う親子関係と心理・社会的影響 高年初産婦夫婦と35 歳未満の初産婦夫婦との比較より- ,健康科学ジャーナル,2018.3

講演·口頭発表等

- 1) Sonobe M, Kimura C, Endo Y, Ikeda M, Usui M, Takasu J, Okamoto M, Hirose T: Evaluation of a Home-visit Mother/Child Support Program Using the Postnatal Promotional Guide. 13th International Family Nursing Conference, 2017.06
- 2) Kimura C, Sonobe M, Endo Y, Ikeda M, Usui M, Takasu J, Okamoto M, Hirose T: Feasibility study of a support program for mothers and children using Postnatal Promotional Huide (PPG) based home visits: Analysis of qualitative data on program evaluations by mothers and midwives. 13th International Family Nursing Conference, 2017.06
- 3) <u>園部真美:</u>看護大学生の乳幼児との接触経験が育児支援に関する学びに与える影響. 第 11 回乳幼児保健 学会学術集会, 2017.09
- 4) <u>Mami Sonobe</u>, Chisato Kimura, Takahide Omori, Masami Usui: Effects of nursing college students' contact experience with infants. 21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conferences, 2018.01
- 5) Chisato Kimura, Mayumi Ikeda, <u>Mami Sonobe</u>, Omori Takahide: Development of Breastfeeding care competence at the early stage of midwife career: Analysis of lifeline. 21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conferences, 2018.01

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>園部真美</u>: 文部科学省 科学研究費(基盤研究C)「ファミリーパートナーシップモデルに基づく産前産後母子支援システムの実践と評価」, 2017.04-2020.03
- 2) 木村千里: 文部科学省 科学研究費(基盤研究C)「シングルマザーの産前産後の支援: ファミリーパートナーシップモデルによる支援の評価」, 2017.04-2020.03(分担)
- 3) 臼井雅美:文部科学省 科学研究費(基盤研究 C)「「家族システムケアアプローチを用いた周産期家族支援 プログラムの開発研究」2015.04-2018.03(分担)
- 4) 園部真美:首都大学東京平成29年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)個別研究「看護大学生における乳

社会貢献活動

- 1) 乳幼児看護研究会協賛スタッフ, 研究会の開催 2017.04
- 2) ファミリーパートナーシップモデル(FPM)による産前産後育児支援講習会ファシリテーター, 2017.07
- 3) 乳幼児保健学会第11回学術集会会長 妊娠期からはじまる育児支援,2017.9
- 4) 木村千里,園部真美,濱坂美穂,平田尚子,篭嶋恵:身体の変化といのちの始まり. 足立区小学校 4 年, 2018.01
- 5) <u>園部真美</u>,木村千里,池田真弓,濱坂美穂:赤ちゃんが生まれる~いのちのお話. 足立区小学校 2 年, 2018.02

競争的資金等の研究課題

1) <u>種吉 啓子</u>: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「保育所に通園する子どもの「登園渋り」に関する研究」, 2018-2021

社会貢献活動

- 1) 種吉 啓子:日本小児看護学会誌専任査読者.2011.07-
- 2) 種吉 啓子:東京都立足立特別支援学校 大学講座.2010-
- 3) 種吉 啓子:東京北医療センター看護研究講師.2009.06-
- 4) 種吉 啓子:日本保健科学学会誌査読者.2007-
- 5) 種吉 啓子:日本質的心理学会査読者.2018-
- 6) 種吉 啓子: EPA 看護師候補者学習会講師.2013.01-2017.11
- 7) 種吉 啓子:日本質的心理学会第14回大会運営委員.2017.04-2017.09
- 8) 種吉 啓子:日本小児看護学会 学術·研究推進委員会委員.2013.10-2017.06

委員歷

1) 一般社団法人 日本小児看護学会 学術·研究推進委員会委員(2013.10-2017.06)

著書

1) 竹内翔子,菱沼由梨:パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護 第 2 版.9,新生児期のケア技術 出生直後 (pp208-234):, 照林社, 2017.08

Misc

- 1) <u>菱沼由梨</u>,安達久美子: Factors that affect the growth of mentoring competencies and the burn-out state of clinical midwives. 21st EAFONS & 11th INC, 2018.01.11
- 2) 安達久美子,得松奈月,<u>菱沼由梨</u>: Varuations in Urinary Relaxin Levels During Pregnancy. 21st EAFONS & 11th INC, 2018.01.11

競争的資金等の研究課題

1) 菱沼由梨: 文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(A))「若手指導者のための臨床指導ガイドの開発 - 助産における臨床教育の基盤づくり-」, 2016.04-2021.03

社会貢献活動

- 1) 菱沼由梨:日本保健科学学会誌, 査読. 18, 2016.04-
- 2) 菱沼由梨:哺育会 浅草病院,「看護研究 | 」院内研修講師, 2016.10.01-2018.03.31
- 3) 菱沼由梨:哺育会 浅草病院,「看護研究||」院内研修講師, 2016.10.01-2018.03.31
- 4) 菱沼由梨:Nurse Education Today, 查読. 2017.01-
- 5) 菱沼由梨:日本保健科学学会, 第27回 学術集会 準備委員, 2017.04-2017.10
- 6) 菱沼由梨: 第73回 日本助産師学会 座長, 2017.06.03
- 7) 菱沼由梨:日本保健科学学会, 第28回 学術集会 準備委員, 2017.10-2019.03
- 8) 菱沼由梨:第32回 日本助産学会学術集会,一般登録演題査読委員.18,2017.10
- 9) 菱沼由梨:聖路加国際大学 看護学研究科,「測定用具の開発過程の実際」コンサルテーション, 2017.11.30
- 10) 菱沼由梨: Japan Journal of Nursing Science, 查読. 2017.11-
- 11) 菱沼由梨: BMC Pregnancy and Childbirth, 查読. 2018.02-

委員歷

- 1) 日本助産学会 查読委員(2011.04-)
- 2) 日本助産評価機構 日本助産実践能力推進協議会 研修委員会(2017.09-)
- 3) 日本助産師会 産後ケアガイドライン特別委員(2018.04-)

1) Takashi Yamauchi, Tadashi Takeshima, <u>Seiko Hirokawa</u>, Yoshitaka Oba, Eugen Koh: An Educational Program for Nursing and Social Work Students Using Artwork Created by People with Mental Health Problems, 15(3):503-513, 2017.06

Misc

1) <u>廣川聖子</u>: 訪問看護におけるリスクマネジメント: その他のリスクマネジメントー自傷・自殺. 看護技術, 63(5), 2017.04

競争的資金等の研究課題

1) <u>廣川聖子:</u>文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「自殺未遂歴がある精神科訪問看護利用者を 対象とした自殺予防支援プログラムの開発」, 2015-2018

社会貢献活動

- 1) 廣川聖子:精神科訪問看護がよりよくわかる研修会. 11,14, 2013.09-2017.10
- 2) 廣川聖子: 自殺予防週間~自殺を減らすために周りの人ができること~. 1,2017.09.13
- 3) 廣川聖子:現代社会における精神保健. 10, 2017.06.15
- 4) 廣川聖子: サリン被害者検診. 11,14, 2013.10-

委員歷

- 1) 日本保健科学学会 評議員(2017.05-)
- 2) 日本保健科学学会 編集委員(2015.09-)
- 3) 日本社会精神医学会 評議員(2014.08-)

講演·口頭発表等

- 1) 吉田みつ子,福井里美,守田美奈子,遠藤公久,奥原秀盛:がんサバイバーが長期にピアサポートにかかわり続ける意味―10年以上の活動経験を通して一. 第22回日本緩和医療学会学術大会,2017.06.24
- 2) Experiences of long-term cancer survivors who established and have managed a self-help group for over 10 years.. 19th World Congress of Psycho-oncology., 2017.08.15
- 3) 石橋裕,福井里美,三浦里織,坂井志織:がん化学療法サバイバーのしびれが1日の作業とその意味づけに与える影響~予備的調査~.日本保健科学学会,2017.09.30
- 4) 小澤知子,福井里美,向後裕美子,西野明樹,渋谷弘子:地域でのサポートグループにおけるがん患者への心理 社会的支援--ファシリテーションとコーディネーション.日本心理臨床学会第36回大会,2017.11.18
- 5) <u>福井里美</u>,坂井志織,三浦里織,石橋裕:がん化学療法によるしびれが及ぼしていた日常生活作業への支障. 第 32 回日本がん看護学術集会, 2018.02.03
- 6) 福井里美,福地智巴:がん相談員の感情体験. 第7回がん相談研究会, 2018.03.03
- 7) <u>福井里美</u>,小澤知子,大井賢一,遠藤公久,内山由美,渥美隆之:非構成型サポートグループ・ファシリテーター研修会での がん相談員の学び. 第7回がん相談研究会, 2018.03.03

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>福井里美</u>: 学術研究助成基金助成金 基盤研究費(C)「がん化学療法サバイバーが就労する『働きづらさ』の 支障程度を示す枠組の開発」, 2017.04-2022.03
- 2) 飯塚哲子: 首都大学東京 平成28年度傾斜的研究費(部局分)部局競争的「急性期医療場面を学ぶ多分 野医療学生用の演劇ワークショップ型学習支援プログラム構築」, 2017.04-2018.03(分担)
- 3) <u>福井里美</u>: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分)部局競争的「長期継続がん化学療法によるしびれの生活経験と維持リハビリテーション介入の可能性」, 2017,04-2018,03

社会貢献活動

- 1) 福井里美: NPO がんサポートコミュニティー. 10,14,15, 2001-.
- 2) <u>福井里美</u>:平成 27 年度がん患者ピアサポート研修事業. 10, 2015.10.08-
- 3) 福井里美:日本保健科学学会学会誌編集委員.14,2016.09-2018.06
- 4) 福井里美:がん患者サポートグループの動向活動の実際. 10,13,15, 2015.02.19-
- 5) 福井里美: 第11回山梨がんフォーラム. 1,2,4, 2017.09.24
- 6) 福井里美:がん患者ピアサポート研修事業.10,2014.09.17-

- 7) 福井里美:一般社団法人がん相談研究会 大会長. 2018.03.03
- 8) 福井里美:一般社団法人がん相談研究会 大会長. 2018.03.03

受賞

1) 石橋裕,福井里美,三浦里織,坂井志織:日本保健科学学会 ベストポスター賞「がん化学療法サバイバーのしびれが1日の作業とその意味づけに与える影響~予備的調査~」,2017.09

- 1) <u>Junko Masuya</u>: Practice of Horticultural Activities Program for Elderly People with Dementia. Journal of Comprehensive Nursing Research and Care, 2(108):1-2, 2017.07
- 2) <u>Junko Masuya</u>, kikuko Ota, Yuriko Mashida: The Effect of a Horticultural Activities Program for the Community Elderly. International Journal of Nursing & Clinical Practices, 4(266):1-3, 2018.01

Misc

1) <u>増谷順子</u>,太田喜久子,真志田祐理子: 看護実践の質保証研究開発, 超高齢社会に求められる高齢者支援 方法の開発. 慶應義塾大学 SFC 研究所 看護ベストプラクティス研究開発ラボラトリ Report of 2016, 2017.10

講演·口頭発表等

- 1) 渡辺みどり,<u>増谷順子</u>,太田喜久子:老年看護学領域に関わる災害看護研究の現状と今後の課題.日本老年 看護学会第22回学術集会(名古屋),2017.06.16
- 2) <u>増谷順子</u>,太田喜久子,真志田祐理子:地域高齢者を対象とした園芸活動の効果. 慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2017, 2017.11.23

競争的資金等の研究課題

- 1) 太田喜久子:日本学術振興会 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「ハプティクス技術を活用した介護ロボット開発過程における評価ツールの作成」, 2016.04-2018.03(分担)
- 2) <u>増谷順子</u>:首都大学東京 平成 29 年度 傾斜的研究費 部局分 部局競争的費「認知症予防としての園芸活動の効果―地域高齢者を対象とした縦断的研究―」, 2017.04-2018.03

社会貢献活動

- 1) 増谷順子:慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師. 10, 2015.04.01-
- 2) 增谷順子:慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員. 14, 2014.04.01-

委員歷

- 1) International Journal of Nursing & Clinical Practices 編集委員(2014.08-)
- 2) 日本老年看護学会 災害支援検討委員会(2016.06-)
- 3) Journal of Comprehensive Nursing Research and Care 編集委員(2017.01-)

著書

1) <u>三浦里織</u>:もう悩まない! 困らない! 一般病棟ナースのためのせん妄ケア. 2, がん患者のせん妄、がん終末期患者のせん妄、照林社, 2017.11

Misc

- 1) 石橋裕,福井里美,<u>三浦里織</u>,坂井志織:がん化学療法サバイバーのしびれが1日の作業とその意味づけに与える影響 予備的調査.日本保健科学学会誌,20(Suppl.):25-25,2017.09
- 2) 福井里美,坂井志織,三浦里織,石橋裕:がん化学療法によるしびれが及ぼしていた日常生活作業への支障. 日本がん看護学会誌,32(Suppl.):233-233,2018.01

1) 新井清美,森田展彰,内藤献,杉山大三郎,西村直之:ギャンブリング問題を持つ者が電話相談に至る要因の検討―パチンコ・パチスロ問題に関する電話相談からの分析―. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 53(1):25-39, 2018.02

Misc

- 1) 新井清美:研究 6 放課後児童クラブにおける事故・災害マニュアルに関するインタビュー調査.放課後児童クラブの事故・災害対応等マニュアル 分担研究研究報告書,137-159,2018.03
- 2) 森田展彰,新井清美,田中紀子,川口由起子:ギャンブル障害の疫学調査、生物学的評価、医療・福祉・社会的支援のありかたについての研究. 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「ギャンブル障害のある者の家族に対する支援ツールの開発」分担研究報告書, 2018.03
- 3) 森田展彰,新井清美,山口玲子,大宮宗一郎,望月明見,受田恵理,渡邊敦子,山田理絵,小池純子:厚生労働 科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「刑の一部執行猶予制度下における薬物依存症者の地域 支援に関する政策研究」分担研究報告書, 2018.03

- 1) 新井清美:伝える. 関東フットサル審判員強化研修会, 2017.08.26
- 2) 新井清美,森田展彰,岡田昌之:ギャンブルの問題を持つ者の家族からの相談状況と内容—回復施設の電話·来所相談からの分析—. 日本アルコール·薬物医学会雑誌, 2017.08
- 3) 新井清美,森田展彰,岡田昌之:ギャンブルの問題を持つ当事者の相談状況と内容―依存症回復施設の電話・来所相談からの分析―. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 2017.08
- 4) 森田展彰,新井清美,田中紀子, 川口由起子:ギャンブル障害のある者の家族に対する心理教育プロ
- 5) 新井清美:ギャンブル等依存症の概要と相談対応の際の留意点. 平成 29 年度消費生活相談員研修専門・ 事例講座 多重債務問題への消費生活相談対応1回目. 2017.10.06
- 6) 新井清美: 地域で予防する· 支える「依存」 ~ やってはいけないと思っていても、自分の意思ではコントロールできないもの ~ . 平成 29 年度荒川コミュニティカレッジ公開講座, 2017.10.15
- 7) 新井清美: 行動上のアディクションの理解と対応~ギャンブル・買物・インターネット等依存症の心理と支援~. NACS 九州支部研修会 消費生活スペシャリスト普及事業, 2017.10.28
- 8) 新井清美: 児童相談所及び児童自立支援施設が支援している非行児童に関する研究. 日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会, 2017.12.02
- 9) 新井清美: ギャンブル依存症を抱える家族の対応. 長野県精神保健福祉センター 平成 29 年度 ギャンブル 依存症家族講座, 2017.12.12
- 10) 新井清美: 指導者に必要な心構之―指導場面でのコーチングスキルと病棟スタッフの中でのコミュニケーションスキル―. 都立墨東病院 看護部研修ジェネラルコース平成30年度新人看護職員指導者研修,2017.12.18
- 11) 吉岡幸子,新井清美:アルコール依存症·薬物依存症家族支援に関する全国調査~その3~—アルコール依存症家族の自由記載分析から—. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会,2018.01.07
- 12) 新井清美,吉岡幸子:アルコール依存症·薬物依存症家族支援に関する全国調査~その 4~—薬物依存症

家族の自由記載分析から--. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会,2018.01.07

- 13) 新井清美: 薬物依存症の家族調査からの報告―自由記載分析から―. 第 10 回アルコール・薬物家族支援フォーラム~支え合う家族のカ~, 2018.02.17
- 14) 新井清美: ギャンブル依存の基本的理解と対応~最新の動向と対応を学ぶ~. 平成 29 年度アディクション看護学会研修会, 2018.02.24
- 15) 新井清美, 森田展彰, 川口由起子, 水上勝義: 大学生アスリートにおけるアディクションの実態―体育系・非体育系大学生の比較―. 第 37 回日本社会精神医学会. 2018.03.02

競争的資金等の研究課題

- 1) 新井清美: 文部科学省: 科学研究費補助金: 挑戦的萌芽研究「病的ギャンブリングに関連する要因とリスク判断のためのアセスメントツールの開発」, 2015.04-2019.03(代表)
- 2) 森田展彰:文部科学省: 科学研究費補助金:基盤研究(C)「精神障害やアディクションのある養育者とその子どもの支援に関する研究」, 2017.04-2020.03(分担)
- 3) 森田展彰: 科学技術振興機構 「安全な暮らしをつくる新しい公/私空間の構築」研究開発領域「全国調査 データベースを用いた児童虐待の予防・早期介入システムの開発」, 2015.11-2019.03(分担)
- 4) 鈴木勲:厚生労働省 平成 29 年度子ども子育て支援推進調査研究事業「放課後児童クラブの事故・災害対応等マニュアル」, 2017.11-2018.03(分担)
- 5) 新井清美: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)「大学生アスリートのアディクション予防教育プログラムの開発に向けた実態調査」, 2017.06-2018.03
- 6) 飯塚哲子:首都大学東京 傾斜的研究費(部局分)「急性期医療場面で演劇ワークショップを用いた 4 職種連携教育支援プログラムの施行」, 2017.06-2018.03(分担)

社会貢献活動

- 1) 新井清美:東京都中小企業振興公社共同開発. 11,12,18, 2017.04-
- 2) 新井清美: トップアスリートとギャンブル依存症. 6, 2017.06.02-
- 3) 新井清美:成人看護学(運動器系). 10, 2017.09.02-

受賞

- 1) 新井清美:第 23 回日本アルコール・アディクション医学会 優秀論文賞「ギャンブル障害の深刻化に影響する 要因の検討」, 2017.09
- 2) 新井清美:第37回日本社会精神医学会 優秀発表賞「大学生アスリートにおけるアディクションの実態―体育系・非体育系大学生の比較―」,2018.03

1) 前田耕助,野村亜由美,三輪聖恵,大庭貴子,習田明裕:看護実践能力の向上を目指した学習法の検討 自 作動画による視聴の試み. 日本保健科学学会誌,2017.09.

- 1) <u>坂井志織</u>:他人みたいなからだを生きる―中枢神経障害患者のしびれている身体の経験. 日本看護科 学会誌、37:132-140,2017
- 2) 坂井志織: くあいだ>の手前からの論考. 質的心理学フォーラム,9:87-90、2017

講演·口頭発表等

- 1) 福井里美,<u>坂井志織</u>,三浦里織,石橋裕: がん化学療法によるしびれが及ぼしていた日常生活作業への支障. 第 32 回日本がん看護学会学術集会, 2018.02
- 2) <u>坂井志織</u>:しびれている身体における生活世界の変容-わかっている世界と現われて〈る世界の差異-. 第 37 回 日本看護科学学会学術集会, 2017.12.17
- 3) <u>坂井志織,</u>濱吉美穂,岩國亜紀子,丸尾智実,鳥本靖子,大澤絵里,綿貫成明,西村ユミ: 無限に拡がる看護の可能性を具現化するために! ーキャリアデザインとキャリアドリフトの波を乗りこなすコツー. 第 37 回 日本看護科学学会学術集会, 2017.12
- 4) 石橋裕,福井里美,三浦里織,<u>坂井志織</u>:がん化学療法サバイバーのしびれが1日の作業とその意味づけに与える影響 予備的調査.日本保健科学学会誌,2017.09
- 5) <u>坂井志織</u>,鈴木智之,菊池麻由美,細野知子:シンポジウム:治癒せざるものの治療のために一病い経験を捉える新しい概念生成に向けて.第14回日本質的心理学会大会,2017.09
- 6) <u>坂井志織</u>:つながりにくい時間-しびれている身体で生きられた時間. 第 3 回臨床実践の現象学会大会, 2017.08

競争的資金等の研究課題

- 1) 福井里美: 文部科学省 科学研究費 基盤研究 C 分担者「がん化学療法サバイバーが就労する「働きつらさ」の支障程度を示す枠組みの開発」, 2017-2020(分担)
- 2) <u>坂井志織</u>: 首都大学東京 傾斜的研究費 若手奨励「慢性化・多様化・複雑化する病い経験を捉える新しい概念生成に向けての現象学的研究」, 2017.04-2018.03

委員歷

- 1) 臨床実践の現象学会 東京事務局長(2015.05-)
- 2) 日本看護科学学会 若手研究推進委員会(2014.11-)

競争的資金等の研究課題

1) <u>高嶋希世子</u>: 日本学術振興会·文部科学省 科学研究費助成事業(若手研究 B)「終末期にある思春期小 児がん患者の意思決定を支える看護の構造とプロセスの解明」, 2016.04-2019.03

社会貢献活動

- 1) 高嶋希世子:私立女子学院高等学校卒業生の話を聞く会. 2018.01.18-
- 2) 高嶋希世子: 日本肢体不自由児協会主催第49回高木記念山中キャンプ. 2017.04-2017.10

委員歷

- 1) 日本質的心理学会第 14 回大会実行委員. 2017.06-09.
- 2) 日本小児看護学会学術·研究推進委員.-2017.06

1) <u>前田耕助</u>,野村亜由美,三輪聖恵,大庭貴子,習田明裕:看護実践能力の向上を目指した学習法の検討 自作 動画による視聴の試み. 日本保健科学学会, 2017.09

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>前田耕助</u>: 文部科学省 若手研究 B「脳血流動態を効果指標とした温度を活用した看護援助の開発」, 2016.04-2020.03
- 2) <u>前田耕助</u>:公立大学法人首都大学東京 平成 29 年度傾斜的研究費(部局·部局競争的経費)「看護実践能力の向上を目指した学習法の検討:自作動画による振り返りの効果」,2017.04-2018.03

1) 前田耕助、野村亜由美、<u>三輪聖恵</u>、大庭貴子、習田明裕:看護実践能力の向上を目指した学習法の検討 自作動画による視聴の試み. 第 27 回日本保健科学学会, 2017.09

1) <u>吉羽久美</u>: 文献による特定妊婦のリスク評価項目の明確化の試み. 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 2017.11.02

理 学 療 法 学 科

- 1) Fujino Yuji, Amimoto Kazu, Fukata Kazuhiro, Inoue Masahide, Shida Kohei, Takahashi Hidetoshi, Makita Shigeru:Test-Retest Reliability of the Postural Vertical in Healthy Participants: Progress in Rehabilitation Medicine (2432-1354)2 巻 Page1-4(2017.02)
- 2) Manji A, Amimoto K, Matsuda T, Wada Y, Inaba A, Ko S. Effects of transcranial direct current stimulation over the supplementary motor area body weight-supported treadmill gait training in hemiparetic patients after stroke. Neurosci Lett. 2018 Jan 1;662;302-305. doi: 10.1016/j.neulet.2017.10.049. Epub 2017 Oct 28.
- 3) Fukata K, Amimoto K, Fujino Y, Inoue M, Inoue M, Takahashi Y, Makita S, Takahashi H. The effects of aging on the subjective vertical in the frontal plane in healthy adults. J Phys Ther Sci. 2017 Nov;29(11):1950-1953. doi: 10.1589/jpts.29.1950. Epub 2017 Nov 24.
- 4) Fujino Yuji, Amimoto Kazu, Sugimoto Satoshi, Fukata Kazuhiro, Inoue Masahide, Uchino Akira, Takahashi Hidetoshi, Makita Shigeru:Relationship of white matter lesions and severity of pushing behavior after stroke: Journal of Physical Therapy Science (0915-5287)29 巻 12 号 Page2116-2120(2017.12)
- 5) 深田和浩,網本和,藤野雄次,井上真秀,播本真美子,高橋洋介,牧田茂,高橋秀寿:健常者におけるコンピュータソフトウェアを用いた主観的視覚垂直の測定の信頼性:理学療法科学(1341-1667)32 巻 2 号 Page227-230(2017.04)

著書

- 1) 網本和 編著:「傾いた垂直性」ヒューマンプレス, 2017.05
- 2) 網本和·高倉保幸 編著:「臨床研究 first stage」医学書院, 2017.10
- 3) 網本和 監修, 加藤宗規 編:「PT スターガイド 基礎理学療法概論」メジカルビュー, 2018.02

Misc

- 1) <u>網本和</u>:1 ページ講座 理学療法関連用語 正しい意味がわかりますか? エイリアンハンド徴候(alien hand sign): 理学療法ジャーナル (0915-0552)51 巻 11 号 Page1017(2017.11)
- 2) 沼尾拓,網本和:半側空間無視の視覚・運動感覚からの治療アプローチ:理学療法ジャーナル (0915-0552)51 巻 10 号 Page883-891(2017.10)
- 3) 万治淳史,松田雅弘,和田義明,稲葉彰,網本和:半側空間無視に対する脳刺激アプローチ:理学療法ジャーナル(0915-0552)51 巻 10 号 Page875-882(2017.10)
- 4) 神田千絵,稲田亨,内藤考洋,早坂梨紗<u>,網本和</u>:半側空間無視の臨床特性と基本的理学療法: 理学療法ジャーナル (0915-0552)51 巻 10 号 Page845-854(2017.10)

- Matsuda T, Kurayama T, Tagami M, Kusumoto Y, <u>Amimoto K</u>; INFLUENCE OF PERIPHERAL MAGNETIC STIMULATION OF SOLEUS MUSCLE ON H AND M WAVES, WCN2017, 214.
- 2) Sawa K, Shida K, Amimoto K; EFFECTS OF DELAYED FEEDBACK FOR CENTER OF PRESSURE IN SITTING POSITION. WCN2017, 206.
- 3) Sakai K, Ikeda Y, <u>Amimoto K</u>; IMMEDIATE EFFECTS OF KINESTHETIC ILLUSION INDUCED BY VISUAL STIMULATION ON ANKLE DORSIFLEXION DYSFUNCTION IN STROKE PATIENTS. WCN2017.202.
- 4) Shida K, Amimoto K, Sawa K, Ikeda Y, FujinoY, Takahashi H, Makita S;CHANGES OF CORTICAL ACTIVATION DURING AND AFTER GALVANIC VESTIBULAR STIMULATION(GVS)-A FUNCTIONAL NEAR-INFRARED SPECTROSCOPY(FNIRS) STUDY. WCN2017.176
- 5) Yosuke Takahashi, Kazuhiro Fukata, Masahide Inoue, Mamiko Harimoto, Yuji Fujino, Shinjiro Takaishi, Shigeru Makita, Hidetoshi Takahashi, Kazu Amimoto: The Relationship between Subjective Postural Vertical in the Pitch plane and Sitting Balance in Stroke. WCPT-AWP&PTAT Congress 2017, F0338.
- 6) Kazuhiro Fukata, <u>Kazu Amimoto</u>, Yosuke Takahashi, Yuji Fujino, Masahide Inoue, Mamiko Inoue, Shigeru Makita, Hidetoshi Takahasi: The Reliability of Subjective Postural Vertical in Oblique Plane using Electric Tilting Device in Healthy Subjects. WCPT-AWP&PTAT Congress 2017, P-05-552.
- 7) Fukata Kazuhiro, <u>Amimoto Kazu</u>, Fujino Yuji, Inoue Masahide, Harimoto Mamiko, Takahashi Yosuke, Chiba Yuya, Takiguchi Riho, Tsukahata Misato, Makita Shigeru, Takahashi Hidetoshi: Analysis of Subjective Postural Vertical in Pitch Plane in Patients with Pusher Behavior: 理学療法学 (0289-3770)44 巻 Suppl.2 Page O-NV-05-3(2017.04)
- 8) Manji Atsushi, Matsuda Tadamitsu, <u>Amimoto Kazu</u>:Effects of combination transcranial direct current stimulation(tDCS) with body-weight supported treadmill training(BWSTT) in restorative stage stroke patients: A Double-Blind Cross-Over Study: 理学療法学 (0289-3770)44 巻 Suppl.2 Page O-NV-05-1(2017.04)
- 9) Shida Kohei, <u>Amimoto Kazu</u>, Sawa Kota, Hirosawa Masaki, Manji Atsushi, Matsuda Tadamitsu:Effect of galvanic vestibular stimulation in dynamic standing balance: 理学療法学 (0289-3770)44 巻 Suppl.2 Page O-KS-09-2(2017.04)
- 10) 廣澤全紀,新藤恵一郎,<u>網本和</u>,佐藤義尚:回復期病棟にて歩行再獲得した脳卒中患者における Trail Walking Test の検者内信頼性: 理学療法学 (0289-3770)44 巻 Suppl.2 Page P-NV-18-5(2017.04)
- 11) 深田和浩,網本和,藤野雄次,井上真秀,播本真美子,高橋洋介,千葉祐也,瀧口莉帆,塚畑美里,牧田茂, 高橋 秀寿:発症早期の Pusher 現象例における主観的身体垂直の出発点効果の分析 半側空間無視の有無による差異: 理学療法学 (0289-3770)44 巻 Suppl.2 Page O-NV-08-2(2017.04)
- 12)藤野雄次,網本和,深田和浩,関根大輔,井上真秀,高橋秀寿,牧田茂:大脳白質病変による Pusher 現象の重症 度、体幹機能、日常生活動作能力の差異:理学療法学(0289-3770)44 巻 Suppl.2 Page O-NV-08-1(2017.04)
- 13) 菊地謙,新田收,<u>網本和</u>: 健常成人における視覚情報操作による立ち直り反応の比較: 理学療法学 (0289-3770)44 巻 Suppl.2 Page P-KS-54-3(2017.04)
- 14) 小泉雄輝,<u>網本和</u>: 前額面および対角面における身体垂直認知の分析 健常者における基礎的検討: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻特別号 Page3-P2K-5-2(2017.05)
- 15) 深田和浩,網本和,井上真秀,井上真美子,高橋洋介,藤野雄次,高石真二郎,牧田茂,高橋秀寿:脳血管障害 患者における主観的身体垂直と ADL 指標との関連 出発点効果による分析: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻特別号 Page3-P1K-14-4(2017.05)

- 16) 廣澤全紀,網本和,新藤恵一郎,山本真秀,前島寛和,堀米沙織,松村知幸,佐藤義尚,永井碧,高城翔太, 若旅汐里:回復期病棟にて歩行再獲得した脳卒中患者における Trail Walking Test の併存的妥当性に関する予備的研究: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻特別号 Page2-P2K-6-6(2017.05)
- 17)藤田侑里,網本和: Head Mounted Display による半側空間無視モデルの作成: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻特別号 Page2-P2K-6-2(2017.05)
- 18) 本村和也,<u>網本和</u>:半側空間無視患者における行動性無視検査(BIT)を使用した日常生活動作の予後予測と解離例の検討: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻特別号 Page2-P2K-6-1(2017.05)
- 19) 藤野雄次<u>,網本和</u>,深田和浩,高橋秀寿,牧田茂:半側空間無視へのロッドアダプテーションが垂直認知におよぼ す影響: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻特別号 Page2-P2K-5-4(2017.05)
- 20) 市川恭兵,沼尾拓,<u>網本和</u>,井出彰悟,風間俊幸,香取秀一,星野泰地,嶺村圭,山田隆介: USN 症例に対する 3 次元 Head Mounted Display アダプテーションの効果: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻 特別号 Page2-P2K-5-2(2017.05)
- 21)井上真秀,藤野雄次,網本和,深田和浩,井上真美子,牧田茂,高橋秀寿:半側空間無視の有無による開眼位主観的身体垂直と垂直判断時における座圧分布の特徴 2 症例からの検討: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54 巻特別号 Page2-P2K-5-1(2017.05)
- 22) 米井圭衣子,網本和,藤野雄次,深田和浩,井上真秀,高橋秀寿,牧田茂: Head Mounted Display を使用したアダプテーションが電動車いす操作に及ぼす影響: 日本保健科学学会誌 (1880-0211)20 巻 Suppl. Page23(2017.09)
- 23) 菊地謙,新田收,網本和: 健常成人における視覚情報操作による立ち直り反応の左右比較: 日本保健科学学会誌 (1880-0211)20 巻 Suppl. Page23(2017.09)
- 24) 浅野雄太,<u>網本和</u>: 直流前庭電気刺激が身体傾斜角度に及ぼす影響 対側刺激順応の効果: 日本保健 科学学会誌 (1880-0211)20 巻 Suppl. Page22(2017.09)
- 25) 松田雅弘,倉山太一,田上未来,栗原靖,阿部紀之,細矢貴宏,網本和,楠本泰士:前脛骨筋に対する末梢神経連続パルス磁気刺激が脳卒中片麻痺患者の歩行に及ぼす影響:臨床神経生理学 (1345-7101)45 巻 5 号 Page471(2017.10)

1) 牧野真弓,加藤真由美,正源寺美穂,関井愛紀子,<u>浅川康吉</u>:回復期リハビリテーション病棟の転倒予防における職種間の意識の違い及び多職種連携に関する促進要因と阻害要因. 看護実践学会誌, 30(1): 32-45-, 2017,09,25

著書

- 1) <u>浅川康吉:</u>PT スタートガイド. 9, V 地域包括ケアと理学療法(在宅), メジカルビュー, 2018.02
- 2) 浅川康吉:健康長寿新エビデンスブック.9,5.事故予防(1)転倒予防,社会保険出版社,2017.06
- 3) <u>浅川康吉</u> (編集 潮見泰蔵): 脳卒中に対する標準的理学療法介入(第 2 版). 9, 実践編 第 16 節廃用 症候群の予防. 文光堂. 2017.04

Misc

1) <u>浅川康吉:「地域づくりによる介護予防」普及・啓発における理学療法士の役割</u>―住民主体の活動において求められる運動プログラムとは―. 新潟県理学療法士学会学会誌, 26th: 23-24-, 2017.09.25

- 1) 藤井一弥,小林将生,佐藤みゆき,<u>浅川康吉</u>:歩行能力により分類した回復期リハビリテーション病棟入院患者の特徴について クラスター分析を用いた検討.日本理学療法学術大会(Web),2017.04
- 2) 正源寺美穂,加藤真由美,北岡和代,<u>浅川康吉</u>,植村小夜子,小林素子,甲斐正義,石田和生,稲垣嘉信:センシングモデルによる独居高齢者の夜間排泄状況および転倒リスク検知の試み.日本老年看護学会学術集会抄録集,2017.06.01
- 3) K.Fujii, <u>Y.Asakawa</u>, :Study of characteristics in improving walking ability by community -based exercise program.. 世界理学療法連盟アジア西太平洋地域国際会議, 2017.06
- 4) <u>Y.Asakawa</u>:Measurement of daily fluctuation of walking speed during daily activities for development of sensing model among older adults.. 世界理学療法連盟アジア西太平洋地域国際会議, 2017.06
- 5) 植村小夜子,加藤真由美,正源寺美穂,北岡和代,<u>浅川康吉</u>,小林素子,甲斐正義,石田和生,稲垣嘉信:独居 高齢者の在宅生活行動の支援に向けたセンシングモデルの開発に関連する身体活動 季節毎にみた身体 活動状況. 日本在宅ケア学会学術集会講演集, 2017.07.01
- 6) 加藤真由美,正源寺美穂,植村小夜子,<u>浅川康吉</u>,北岡和代,甲斐正義,小林素子,石田和生, 稲垣嘉信:独居 高齢者の生活行動センシングモデルの開発[~]生活起居動作と転倒リスクの変数との関係.日本転倒予防学 会誌, 2017.09.10
- 7) 正源寺美穂,加藤真由美,北岡和代,<u>浅川康吉</u>,植村小夜子,小林素子,甲斐正義,石田和生,稲垣嘉信:独居 高齢者の在宅生活を支援する生活行動センシングモデルの開発〜縦断的フィールド研究による 2 年間の心身 機能の推移〜. 日本転倒予防学会誌, 2017.09.10

競争的資金等の研究課題

1) 伏見清秀:厚生労働省 厚生労働科学研究費「平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤 開発推進研究事業)課題番号 H29-医療-指定-009「医療従事者の需給に関する研究」、追加交付事業「理 学療法士・作業療法士の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」」、2017.04-2018.03(分担)

社会貢献活動

1) <u>浅川康吉</u>:東京都介護予防推進支援センター事業 総合アドバイザー . 11, 2017.04.01-2018.03.31

受賞

1) 理学療法科学学会 優秀論文賞,2017.04

- 1) 村崎由希子,白谷智子,新井光男:腰椎圧迫骨折患者に対する上部·下部体幹筋群への抵抗運動による静止性収縮手技が膝関節伸展自動関節可動域に及ぼす即時的効果. PNF リサーチ,18(1):28-32,2018.03
- 2) 崎野祐吾,白谷智子,新井光男,原田恭宏,植田良:肩甲骨への抵抗運動による静止性収縮促通手技が 足関節背屈自動関節可動域に及ぼす効果. PNF リサーチ,18(1):22-27,2018.03
- 3) 白谷智子,新井光男,来間弘展:固有受容性神経筋促通法の骨盤パターンの静止性収縮が足関節底 屈筋群の筋力に及ぼす効果. PNF リサーチ,18(1):13-16,2018.03
- 4) 新井光男: 下肢に整形外科疾患を有する患者の骨盤への中間域での静止性収縮手技が昇段能力に及ぼす影響. PNF リサーチ.18(1):17-21.20180300.
- 5) 竹澤美穂,新井光男,井手夏葵,重田有希,白谷智子,保原塁,桝本一枝:下部体幹筋および下肢筋群の 静止性収縮が対側ヒラメ筋H反射に及ぼす影響. PNF リサーチ,18(1):7-12,2018.03
- 6) 重田有希,白谷智子,保原塁,井手夏葵,桝本一枝,<u>新井光男</u>:抵抗運動による間接的アプローチが非運動肢ヒラメ筋 H 反射に及ぼす影響. PNF リサーチ,18(1):1-6,2018.03

- 1) Ren K, Dai Y, Yi K, Kinoshita M, Itoh M, Sakata I, Skai T, Yi SQ:Using a Whole-mount immunohistochemical method to study the innervation of the biliary tract in Suncus murinus. J Vis Exp., 124, 2017.06
- 2) 木田雅彦,藤原基,Ke Ren,<u>易勤</u>: 胎仔ブタの胸鎖乳突筋と僧帽筋について ―胸鎖乳突筋僧帽筋複合体は外斜筋系である―. 形態科学, 21(2):83-88, 2018

講演·口頭発表等

- 1) 和智圭史,雨宮壮太,三輪容子,佐藤巌,<u>易勤</u>: 腓腹筋内側頭と膝窩動脈の位置関係と膝窩動脈捕捉症候群 発生の関連性について. 第 123 回日本解剖学会総会·全国学術集会, 2018.03.28
- 2) 胎児ラットにおける上腕二頭筋腱と付着部の形態学的変化について:藤原基,伊藤正明,Ke Ren,Yidan Dai,<u>易勤</u>. 第 123 回日本解剖学会総会·全国学術集会, 2018.03.28
- 3) 黒澤一弘, Yidan Dai, Ke Ren,三輪容子,佐藤巌,<u>易勤</u>:下膵動脈の由来で膵臓の発生と血管との関連性を考案する. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2018.03.29
- 4) 高橋亮吾,Yidan Dai,三輪容子,佐藤巌,<u>易勤</u>: 寛骨臼関節唇と腸腰筋の位置関係について. 第 123 回日本解 剖学会総会·全国学術集会, 2018.03.29

競争的資金等の研究課題

1) <u>易</u>勤: 首都大学東京傾斜的研究費 部局分 部局競争的経費「スンクスの腸内細菌叢の解析と抗肥満特性についての研究」, 2015.04-2018.03

委員歷

1) 日本膵臓学会 膵癌取扱規約委員会(2015.09-)

- 1) 勝又泰貴,<u>竹井仁</u>,林洋暁,市川和奈:超音波画像を用いた筋膜移動距離と筋硬度測定の検者内および 検者間信頼性.理学療法科学,32(2):215-220,2017.04
- 2) 見供翔,市川和奈,宇佐英幸,小川大輔,古谷英孝,<u>竹井仁</u>:異なる運動方向への静止性股関節外転収縮が中殿筋前・中・後部線維の筋厚および筋腱移行部距離に及ぼす影響 超音波画像診断装置を用いた検討 . 理学療法科学, 32(6):869-874, 2017.12

著書

- 竹井仁:ケースで学ぶ徒手理学療法クリニカルリーズニング.1,筋と筋膜に対するアプローチ,文光堂, 2017.05
- 2) 竹井仁:日め(りまいにち、筋膜リリース.1,扶桑社,2017.06
- 3) 竹井仁:1 週間で全身のたるみコリをラクラク解消 筋膜リリース完全ガイド.5, 日経 BP 社, 2017.06
- 4) 竹井仁: やせる! 筋膜リリース Diet 編. 2, 自由国民社, 2017.09
- 5) 竹井仁: 世界一わかりやすい 筋膜リリース. 1, 日経 BP 社, 2017.10
- 6) 竹井仁:キレイ! 筋膜リリース Beaity 編. 1, 自由国民社, 2017.12
- 7) 竹井仁:人の生きた筋膜の構造.3, 医道の日本社,2018.01
- 8) 竹井仁: 筋膜系の機能解剖アトラス. 3, 医歯薬出版株式会社, 2018.02
- 9) 竹井仁:疲れない体になるには筋膜をほぐしなさい. 1, 誠文堂新光社, 2018.02
- 10) 竹井仁:DVDでわかる!筋膜リリースパーフェクトガイド.1,自由国民社,2018.03
- 11) 竹井仁: 筋膜リリースで肩こり解消!.1,株式会社イースト・プレス,2018.03

Misc

1) 松村将司,<u>竹井仁</u>:中高年バドミントン障害に対する評価と筋膜アプローチ. 徒手理学療法, 17(1):19-23, 2017.04

- 1) 竹井仁:筋膜マニピュレーションの理論と実際. 第52回日本理学療法学術大会,2017.05.12
- 2) <u>竹井仁</u>: 姿勢の評価と治療アプローチ~筋膜リリースを中心に~. 第52回日本理学療法士協会全国学術研修大会,2017.09.04
- 3) 竹井仁:腰痛に対する筋膜リリース. 第46回四国理学療法士学会, 2017.11.25
- 4) <u>竹井仁</u>: 筋膜マニピュレーション〜筋膜に対する最新の知見と臨床展開〜. 第 26 回埼玉県理学療法学会, 2018.01.14

社会貢献活動

- 1) 竹井仁:続・若返りトレーニング. 1,2017.04.08
- 2) 竹井仁: 筋膜リリース. 1, 2017.04.10
- 3) 竹井仁:バストアップ筋膜リリース. 1, 2017.04.11
- 4) 竹井仁: 顔・二の腕などの筋膜リリース. 1,2017.04.17
- 5) 竹井仁: 「続・若返りトレーニング」特別アンコール枠放送. 1,2017.04.29
- 6) 竹井仁:ゴルフを上手〈する方法. 1, 2017.04.30
- 7) 竹井仁: 顔・二の腕などの筋膜リリース. 1, 2017.05.01
- 8) 竹井仁: 今すぐできるご家庭ストレッチ学. 筋膜リリース. 1, 2017.05.07
- 9) 竹井仁: 筋膜リリースとダイエット. 1,2017.05.14
- 10) 竹井仁: 筋膜リリース. 1, 2017.05.16
- 11) <u>竹井仁</u>: 表情筋の筋膜リリース. 骨盤底筋群のエクササイズ. 平泳ぎ風リリース. ストレートネック治しリリース. 1, 2017.05.24
- 12) 竹井仁:表情筋の筋膜リリース. 骨盤底筋群のエクササイズ. 1, 2017.06.07
- 13) 竹井仁:スマートライフ:腕や背中をすっきりさせる たるみ解消ストレッチ. 1,2017.06.13
- 14) 竹井仁: 筋膜リリース. 1, 2017.06.15
- 15) 竹井仁:オフショルで鎖骨美人. 1, 2017.06.19
- 16) 竹井仁:腰痛の筋膜リリースと表情筋の筋膜リリース. 1, 2017.07.18
- 17) 竹井仁: 筋膜リリース実用本第2位.1,2017.07.22
- 18) 竹井仁: 肩こりなどの筋膜リリース. 1,2017.07.22
- 19) 竹井仁:様々なストレッチ. 6,11, 2017.08.28-2017.09.01
- 20) 竹井仁:健康長寿のための正しい歩き方. 1, 2017.10.31
- 21) 竹井仁:スゴ技 Q:スマホのやり過ぎ!? 不調の改善&予防のワザ. 1, 2017.11.07
- 22) 竹井仁:スマホ肘の原因と対処法. 1, 2017.11.14
- 23) 竹井仁: やせやすい体をつくる筋膜リリース最新版. 1, 2017.12.16
- 24) 竹井仁: 筋膜リリースの紹介. 1, 2017.12.22
- 25) 竹井仁:若返り&身体の大掃除 SP. 1, 2017.12.31
- 26) 竹井仁: 筋膜リリースの紹介. 1,2018.03.13
- 27) 竹井仁: 筋膜リリースの紹介. 1,2018.03.14
- 28) 竹井仁: やせる筋膜リリース. 1,2018.03.25
- 29) 竹井仁:樋口一葉の肩こりの解説とストレートネック解消体操の紹介. 1, 2018.03.28

委員歷

- 1) 日本理学療法協会運動器分科学会 副代表(2015.06-)
- 2) 日本理学療法士協会徒手理学療法部門 代表幹事(2015.05-)
- 3) 日本徒手的理学療法学会 理事長(2015.03-)

1) 松田雅弘,田上未来,楠本泰士,滝田結奈,新田收:端座位体幹回旋運動角度に対する骨盤肢位と上肢 肢位の影響.理学療法科学,32(2):255-259,2017.04

- 2) 楠本泰士,新田收,松田雅弘,高木健志:青年期軽度発達障害児における協調運動の特徴.日本保健 科学学会誌,20(1):24-28,2017.06
- 3) 松田雅弘,新田收,古谷槙子,池田由美,楠本泰士: 幼児版運動イメージ評価尺度の開発 -信頼性·妥当性の検討-. 理学療法学,44(3):213-218(J-STAGE)-218,2017.06
- 4) 小山貴之,松田雅弘,中丸宏二,相澤純也,新田收:自動形状変化機能付きランバーサポートが骨盤肢位 および腰部筋疲労に及ぼす影響. 理学療法東京, 5:8-4, 2017.06
- 5) 小山貴之,松田雅弘,中丸宏二,相澤純也,新田收:自動形状変化機能付きランバーサポートが骨盤肢位 および腰部筋疲労に及ぼす影響.理学療法東京,5(5):8-14,2017.07
- 6) Hirano Y, Nitta O, Hayashi T, Takahashi H, Miyazaki Y, Kigawa H: Development of a prognostic scale for severely hemiplegic stroke patients in a rehabilitation hospital. Clinical neurology and neurosurgery, 158:108-113, 2017.07
- 7) Matsuda T, Koyama T, Kurihara Y, Tagami M, Kusumoto Y, <u>Nitta O</u>: A newly developed floor chair placed on an office chair reduces lumbar muscle fatigue by cyclically changing its lumbar supporting shape. Journal of physical therapy science, 29(9):1649-1652, 2017.09
- 8) 松田雅弘,万治淳史,栗原靖,田上未来,楠本泰士,新田收:異なる骨盤肢位での端座位側方リーチ距離 に座面圧中心移動距離が及ぼす影響と体幹機能との関連性.理学療法科学,32(6):899-903, 2017.12
- 9) 松田雅弘,倉山太一,栗原靖,田上未来,楠本泰士,新田收:傾斜条件における重心動揺の検討. 理学療 法科学,33(4):637-641,2018.01.01
- 10) Koji Nakamaru, Koji Nakamaru, Koji Nakamaru, Junya Aizawa, Keizo Kawarada, Yukari Uemura, Takayuki Koyama, Osamu Nitta: Immediate effects of thoracic spine self-mobilization in patients with mechanical neck pain: A randomized controlled trial. Journal of Bodywork and Movement Therapies, 2018.01.01
- 11) Tadamitsu Matsuda, Takato Ooyama, Miki Tagami, <u>Osamu Nitta</u>, Yasuaki Kusumoto, Yasushi Kurihara, Sentaro Koshida, Toshihiko Hashimoto:Investigation of children's motor function and motor habits at a sports fair in Chiba. Rigakuryoho Kaaaku, 33:631-636, 2018.01.01
- 12) 櫻井瑞紀,新田收,松田雅弘,妹尾淳史:非特異的腰痛者におけるサイドブリッジ時の体幹深部筋疲労解析.理学療法学,2018
- 13) 松田雅弘,大山隆人,田上未来,新田收,楠本泰士,栗原靖,越田専太郎,橋本俊彦:子どもの運動機能と 運動習慣の調査から見えてきた現状:—千葉県内のスポーツフェアを通じて—. 理学療法科学, 33(4):631-636, 2018
- 14) 松田雅弘,新田收,古谷槙子,楠本泰士,小山貴之: 幼児期における運動の協調性と感覚異常の関連性 の検討. 理学療法学, 45(4): 248-255(J-STAGE)-255, 2018

著書

1) 新田收,松田雅弘,楠本泰士:子どもの発達から考える運動指導法: 体力と運動機能を伸ばすプログラム,ナップ,2018

Misc

1) 新田收: エキスパートが語る小児理学療法 発達障害へのかかわり. 理学療法ジャーナル,51(12):1079-1085-1085,2017.12.15

- 1) 内尾優,長谷川三希子,猪飼哲夫,楠田聡,内山温,藤本泰成,新田收:超低出生体重児の自発運動の特徴と 新生児用枕による即時的影響.日本理学療法学術大会(Web), 2017.04
- 2) 山本さら,新田收,松田雅弘: 幼児における姿勢制御および基本的協調性と年齢の関係. 日本理学療法学術大会(Web), 2017.04
- 3) 細田梨恵,楠本泰士,後藤颯人,櫻井大輔,千葉康平,中里彩祥子,竹田智之,花尾麻美,新田收:青年期発達 障害児と青年期健常児における上肢運動機能の比較.日本理学療法学術大会(Web), 2017.04
- 4) 菊地謙,新田收,網本和:健常成人における視覚情報操作による立ち直り反応の比較.日本理学療法学術大会(Web), 2017.04
- 5) 松田雅弘,田上未来,福原一郎,花井丈夫,新田收,根津敦夫:発達期中枢神経障害児者に対する単関節 HAL を用いた運動療法に関するアンケート調査.日本理学療法学術大会(Web), 2017.04
- 6) 松田雅弘,大山隆人,石井真夢,宮島恵樹,田上未来,新田收:子どもの検診事業の取り組みから子どものロコモ 予防についての一考察 平成 28 年度千葉県理学療法士会スポーツ健康増進支援部の取り組み. 日本理 学療法学術大会(Web), 2017.04
- 7) 大塚匠,新田收,信太奈美,古川順光:脊髄損傷者における,車いすスポーツ活動現場での体表温度変化 頸髄レベル・胸髄レベルの比較.日本理学療法学術大会(Web), 2017.04
- 8) 松尾達彦,新田收,信太奈美,古川順光:脊髄損傷患者における車椅子スポーツ時の心拍数変化―頸髄損傷 と胸腰髄損傷の比較―. 日本理学療法学術大会(Web), 2017,04
- 9) 藤本泰成,内尾優,三木啓嗣,新田收:RGB-Dカメラを用いた超低出生体重児の上肢運動の測定装置の開発. システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集(CD-ROM), 2017.05.23
- 10) 櫻井大輔,細田梨恵,楠本泰士,後藤颯人,千葉康平,中里彩祥子,竹田智之,花尾麻美,新田収:青年期発達 障害児と青年期健常児におけるバランス能力と下肢筋力の比較. 理学療法学 Supplement, 2017.05
- 11) 松田雅弘,田上未来,新田收: 脳性両麻痺児に対する2種類のHALを用いた運動療法と歩行に及ぼす即時効果の検討. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017.05
- 12) 平野恵健,西尾大祐,伊東美和<u>,新田收</u>,土屋喬平,福原直哉,佐藤雅恭,川上悟,本田哲三,高橋秀寿,林健,池田誠,木川真未,木川浩志:介護予防サポーター養成講座に対するアンケート調査. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017.05
- 13) 古川順光,神尾博代,信太奈美,来間弘展,中俣修<u>,新田收</u>:立位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017.05
- 14)楠本泰士<u>,新田收</u>,松田雅弘,高木健志,竹田智之,花尾麻美:青年期軽度発達障害児における協調運動の特徴. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017.05

- 15) Nitta O, et al: Relationship between motor coordination and sensory disturbance in children. ISPRM2017, 2017.06
- 16) Matsuda T,Tagami M,Hanai T,Nitta O,Kusumoto Y,Nezu A:Effects of gait and balance training using a Robot Suit of Hybrid Assistive Limbs(HAL-SJ) on spastic diplegia in Cerebral Palsy. World Confederation for Physical Therapy(WCPT) (Cape Town, South Africa), 2017.07
- 17) Nitta O, et al: Motor imagery development of school age children Investigation using the Criteria for motor imagery for children. World Confederation for Physical Therapy, 2017.07
- 18) Nitta O, et al: IMPACT OF PHYSICAL ACTIVITIES UNDER HOT ENVIRONMENTSON INDIVIDUALS WITH SPINAL CORD INJURY.

 World Confederation for Physical Therapy Congress, 2017.07
- 19) 松田雅弘,田上未来,万治淳史,新田收: 中枢神経疾患患者に対するロボットスーツを用いた機能改善効果の検証. LIFE 講演概要集(CD-ROM), 2017.09.05
- 20) 菊地謙,新田收,網本和:健常成人における視覚情報操作による立ち直り反応の左右比較. 第 27 回日本保健学学会学術集会, 2017.09
- 21) 信太奈美,古川順光,新田收,来間弘展,神尾博代:暑熱環境下における車いすスポーツ選手の体表温度変化. 日本体力医学会大会,2017.09
- 22) 松田雅弘,楠本泰士,田上未来,新田收:車椅子座位時の座面の違いによる座圧変化-日常的に車椅子を使用している要介護者による検討-.第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会,2017.11
- 23) 田上未来,松田雅弘,倉山太一,福原一郎,新田收,根津敦夫:ロボットスーツ HAL を用いた練習前後に下肢筋電 図変化を示した1 症例. 第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会, 2017.11
- 24) Nitta, O.; Matsuda, T.; Takayuki, K.: Factors Influencing motor coordination in children. 10th WORLD CONGRESS FOR NEURO REHABILITATION, 2018.02

特許

 新田收,松田雅弘,小山貴之,平伸一郎,河村健太,特開 2017-093508, 2017.06.01 特願 2015-225930, 2015.11.18 「健康器具」株式会社ドリーム,公立大学法人首都大学東京.

- 1) 大矢暢久,山田拓実,佐藤義尚川村博文:健常若年者に対する肩関節軟部組織の厚さの超音波測定の相対・絶対信頼性. Journal of Physical Therapy Science, 29(4):754-759, 2017.04.
- 2) 池田登顕,山田拓実:地域在住のフレイルおよび軽度要介護度認定高齢者における社会参加指標原案の開発.日本老年医学会雑誌,54(2):154-164,2017.04
- 3) 大矢暢久,山田拓実,佐藤義尚:健常若年者に対する棘上筋腱、肩峰下滑液包、上腕二頭筋長頭腱の厚さの超音波測定の検者間信頼性.理学療法科学,32(5):603-607,2017.10

Misc

- 1) 高橋慧,<u>山田拓実</u>:Evaluation of the Effect of Rib Cage-Abdominal Regional Ventilation Influenced by Neck and Shoulder Position in Supine Posture. The 7th WCPT? AWP & PTAT CONGRESS, 2017.06
- 2) 大墳健志,海津爽,<u>山田拓実</u>: Assessment of muscle density index with segmental bioelectrical impedance analysis: Relationships among exercise frequency, characteristic of sports, and sex. The 7th WCPT? AWP & PTAT CONGRESS, 2017.06
- 3) 海津爽,大墳健志,<u>山田拓実</u>: Assessment of muscle density index with multi-frequency bioelectrical impedance analysis.

 Relationship between aging and motor functions. The 7th WCPT? AWP & PTAT CONGRESS, 2017.06
- 4) 山田拓実,信太奈美:筋骨格モデルを使用した車イス急停止時の上肢関節へのストレス計算,2017.06
- 5) 國枝洋太,廣川竜斗,荒川千晶,足立智英,川端奈緒,山田実,石山大介,西尾尚倫,木村鷹介,山田拓実:アルツハイマー型認知症と経度認知障害における脳血流減少領域の相違一脳血流 SPECT を利用した検討一. 第7回日本認知症予防学会学術集会,2017.09
- 6) 高木峰子,山田拓実:経腹超音波を用いた肢位の違いによる膀胱底拳上距離の影響 尿失禁症状の有無による予備検討 . 第 25 回日本物理療法学会学術大会, 2017.10
- 7) 大見武弘,山田拓実,美崎定也,島村亮太,諸澄孝宜,田澤智央,佐藤義尚,佐藤義尚,信太奈美,杉本和隆:ローテーティングヒンジ型人工膝関節施行患者の歩行解析. 第48回日本人工関節学会,2018.02

競争的資金等の研究課題

1) 山田拓実:日本学術振興会 科研費「膝関節軟骨力学的ストレスと MRI・T2 マッピング早期軟骨変性度の関連性の検討」, 2015.04-2018.03

- 1) Nami Shida, Yumi Ikeda, Yorimitsu Furukawa, Hironobu Kuruma:INFLUENCES OF VISUAL AND PLANTAR SENSORY INFORMATION ON STANDING POSTURAL CONTROL: A COMPARISON BETWEEN VISUALLY IMPAIRED AND SIGHTED INDIVIDUALS.International Journal of Physiotherapy and Research, 5(4):2178-2186, 2017
- 2) 松田雅弘,新田收,古谷槙子,<u>池田由美</u>,楠本泰士: 幼児版運動イメージ評価尺度の開発 信頼性·妥当性の検討. 理学療法学, 44(3):213-218, 2017.06
- 3) 後藤圭介,鈴木隼人,秋月三奈,長谷川三希子,池田由美,猪飼哲夫:重度 Pusher 現象を呈した脳梗塞患者に対する認知神経リハビリテーションアプローチ 症例報告. 理学療法東京,(5):15-24,2017.07
- 4) 酒井克也,池田由美,山中誠一郎,野口隆太郎:ギランバレー症候群による足関節背屈機能障害に対する 視覚誘導性自己運動錯覚の介入効果の検討 ABA シングルケースデザイン. 理学療法科学,33(1): 187-190,2018.02
- 5) 月成亮輔,長井亮祐,菊池俊明,宮前篤,宮崎晶子,伊藤修一,<u>池田由美</u>:脳卒中患者の車椅子安全操作 管理能力の評価と歩行能力予後の関連性 机上の認知機能評価との比較.理学療法科学,33(1): 45-48,2018.02

- 1) 加藤結衣,池田由美:視覚情報の違いによる跨ぎ動作の相違. 理学療法学, 2017.04
- 2) 酒井克也,<u>池田由美</u>: 脳卒中片麻痺患者の下肢感覚障害が歩行とバランスに及ぼす影響 表在感覚障害と 深部感覚障害での比較. 理学療法学, 2017.04
- 3) 石橋真,<u>池田由美</u>:Mirror Therapy における運動機能の習得に与える影響 運動する手の左右の違いに着目して. 理学療法学, 2017.04
- 4) 森川健史,池田由美:段階的に変化する外乱が後続する再適応過程に及ぼす影響.理学療法学,2017.04
- 5) 諸澄孝宜,<u>池田由美</u>,田中友也,山本尚史,池田光佑,安東映美,小森陽介,片見奈々子,島根幸依,杉本和隆: 人工膝関節置換術患者における術前後自己効力感と入院中の自主運動実施時間、退院時歩行機能との 関連 共分散構造分析による検討. 理学療法学, 2017.04
- 6) 酒井克也,太田智裕,<u>池田由美</u>: 脳卒中片麻痺患者の足関節背屈機能障害に対する視覚誘導性自己運動 錯覚の効果. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017.05
- 7) Nami Shida, Yorimitsu Furukawa, Osamu Nitta, Masanobu Kinoshita, Hironobu Kuruma, Hiroyo Kamio, Yumi Ikeda: IMPACT OF PHYSICAL ACTIVITIES UNDER HOT ENVIRONMENTS ON INDIVIDUALS WITH SPINAL CORD INJURY.. World Confederation for Physical Therapy Congress, 2017.07
- 8) 後藤圭介,原大貴,中村花穂,内田政行,長谷川三希子,内尾優,<u>池田由美</u>,猪飼哲夫:延髄外側症候群によって Lateropulsion を呈した症例に対する認知神経リハビリテーションに基づく理学療法介入 三次元動作解析による姿勢、歩行の変化.日本保健科学学会誌,2017.09
- 9) Katsuya Sakai, <u>Yumi Ikeda</u>, Kazu Amimoto:Immediate Effects of Kinesthetic Illusion Induced by Visual Stimulation on Ankle Dorsiflexion Dysfunction in Stroke Patients. X X III World Congress of Neurology, 2017.09

- 10) Kohei Shida, Kazu Amimoto, Sawa Kota, <u>Yumi Ikeda</u>, Yuji Fujino, Hisatoshi Takahashi, Shigeru Makita: Changes of cortical activation during and after galvanic vestibular stimulation(GVS) A functional near-infrared spectroscopy(fNIRS) study. X X III World Congress of Neurology 2017, 2017.09
- 11) Katsuya Sakai, Yumi Ikeda, Seiichiro Yamanaka, Ryutaro Noguchi, Takao Noma, Youta Nakagawa: Effect of Kinesthetic Illusion Induced by Visual Stimulation on Ankle Dorsiflexion Dysfunction in a Stroke Patient: ABAB Single-case Design. . European Congress of NeuroRehabilitation 2017, 2017.10
- 12) 後藤圭介,長谷川三希子,安田真章,<u>池田由美</u>,猪飼哲夫:13 年前に罹患した多発性硬化症により痙性麻痺を 呈した症例の身体表象の変化 認知神経理論に基いた短期的な理学療法介入による変化. 日本認知神経 リハビリテーション学会学術集会抄録集, 2017.11

1) 見供翔,市川和奈,宇佐英幸,小川大輔,古谷英孝,竹井仁:異なる運動方向への静止性股関節外転収縮が中臀筋前・中・後部線維の筋厚および筋腱移行部距離に及ぼす影響 超音波画像診断装置を用いた検討. 理学療法科学, 32(6):869-874, 2017.12

講演·口頭発表等

- 1) Sequential Change in Muscle Activity of Hip Abductor Muscles after Hip Abduction Exercise using Magnetic Resonance Imaging T2 Values.. WCPT-AWP & PTAT CONGRESS 2017, 2017.06
- 2) 須永遼司,<u>宇佐英幸</u>,竹井仁:MRI を用いた上肢挙上における胸椎椎間関節の関節運動学的解析. 理学療法学, 2017.04

社会貢献活動

- 1) 宇佐英幸:神経モビライゼーション下肢編.10,2017.10.29-
- 2) 宇佐英幸:姿勢の評価と治療-Stability & Mobility-. 10, 2017.09.16-2017.09.18
- 3) 宇佐英幸:筋膜リリース~基礎から応用~. 18, 2017.08.11-2017.08.13
- 4) 宇佐英幸:脊柱・体幹の触診機能解剖.10,2017.06.10-2017.06.11

- 1) Shiratani T, Arai M, <u>Kuruma H</u>, Masumoto K: The effects of opposite-directional static contraction of the muscles of the right upper extremity on the ipsilateral right soleus H-reflex. Journal of bodywork and movement therapies, 21(3): 528-533, 2017.07
- 2) 富岡美恵,来間弘展,尾池純太,三浦祐介:マイクロカレント療法とセルフストレッチングの併用が遅発性筋 痛に及ぼす効果. 物理療法科学, 24:59-64, 2017.09
- 3) 新井龍一,来間弘展,三浦祐介,雨宮耕平,山内智之:横断·機能的マッサージが筋に及ぼす影響.運動器徒手理学療法,4(1):37-42,2017.10
- 4) 白谷智子,新井光男,来間弘展,保原塁,井手夏葵,桝本一枝:固有受容性神経筋促通法の骨盤パターンの静止性収縮が足関節骨折後の足関節底屈筋群の筋力に及ぼす効果. PNF リサーチ, 18(1):13-16, 2018.03

Misc

- Hironobu Kuruma, Yusuke Miura, Takeshi Saiki, Masao Yamauchi, José Miguel Tricás Moren, Silvia Pérez Guillén, Nami Shida, Yorimitsu Furukawa, Osamu Nitta: Effectiveness of the Diacutaneous Fibrolysis on Muscle Stiffness and ROM. WCPT2017, 2017.07
- 2) Nami Shida, Yorimitsu Furukawa, Osamu Nitta, Masanobu Kinoshita, <u>Hironobu Kuruma</u>, Hiroyo Kamio, Yumi Ikeda: Impact of Physical Activities under hot environments on indivisual with spinal cord injury. WCPT2017, 2017.07
- 3) 神尾博代,来間弘展,信太奈美,宇佐英幸,古川順光,新田收:随意的に骨盤底筋群を活動させた時の機能的 MRI による脳機能の分析, 第72 回日本体力医学会大会, 2017.07
- 4) 山内智之,来間弘展,雨宮耕平:超音波診断装置を用いた大腿四頭筋の等尺性収縮時の筋硬度解析. 臨 床理学療法研究, 34:9-14-, 2017.08.30
- 5) 信太奈美,古川順光,新田收,来間弘展,神尾博代:暑熱環境下における車いすスポーツ選手の体表温度の変化. 第72回日本体力医学会大会, 2017.09
- 6) 古川順光,神尾博代,信太奈美,中俣修,<u>来間弘展</u>,新田收:立位における吸気筋力と胸椎後彎角・可動性との 関係. 第72 回日本体力医学会大会, 2017.09
- 7) <u>来間弘展</u>,山内正雄,信太奈美,神尾博代,古川順光,柳澤佑哉,新田收:経験の違いによる骨触診信頼性の検 討. 第72 回日本体力医学会大会, 2017.09
- 8) 浅田啓嗣,瓜谷大輔,公森隆夫,松村将司,大石敦史,佐伯武士,山内正雄,来間弘展,白尾泰宏,原清和,竹井仁:徒手理学療法部門におけるエビデンスの構築に向けたプロジェクト研究 徒手理学療法の運動機能・生活機能に対する効果.理学療法学,44(Suppl.3):132-133,2017.10

社会貢献活動

- 1) 来間弘展: 日本オリンピック委員会強化スタッフ. 2016.04.01-
- 2) 来間弘展:スペシャリストを訪ねて:山内正雄先生へのインタビュー. 8, 2017.04-

1) Nami Shida, Yumi Ikeda, <u>Yorimitsu Furukawa</u>, Hironobu Kuruma:INFLUENCES OF VISUAL AND PLANTAR SENSORY INFORMATION ON STANDING POSTURAL CONTROL: A COMPARISON BETWEEN VISUALLY IMPAIRED AND SIGHTED INDIVIDUALS. International Journal of Physiotherapy and Research, 5(4):2178-2186, 2017.07

著書

1) <u>古川順光</u>,加藤宗規編,網本和監修:基礎理学療法概論. III. 理学療法の方法:評価と治療の基礎, 2. 関節可動域(ストレッチを含む),メジカルビュー社,2018.01

Misc

- 1) 大塚匠,新田收,信太奈美,<u>古川順光</u>:脊髄損傷者における車いすスポーツ活動現場での体表温度変化 頸髄レベル・胸髄レベルの比較.日本理学療法学術大会(Web),52nd(0):ROMBUNNO.P-NV-11-2(J-STAGE)-NV, 2017.04
- 2) 松尾達彦,新田收,信太奈美,<u>古川順光</u>: 脊髄損傷患者における車椅子スポーツ時の心拍数変化―頸髄損傷 と胸腰髄損傷の比較―. 日本理学療法学術大会(Web), 52nd(0): ROMBUNNO.P-NV-11-1(J-STAGE)-NV, 2017.04

- 1) 杉山真理,清宮清美,河合俊宏,<u>古川順光</u>: 肢体不自由者における生活習慣病予防・治療のための肥満度判定. 第3回日本予防理学療法学会サテライト集会,2018.02
- 2) 渡邉陽介,古川順光,横山仁志,武市梨絵,榎本武治,小泉哲,民上真也,大坪毅人:上腹部開腹手術患者におけるインセンティブスパイロメトリーの効果に関する検討.日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌,2017.10.28
- 3) <u>古川順光</u>,神尾博代,信太奈美,中俣修,来間弘展,新田收:立位における吸気筋力と胸椎後彎角・可動性との関係. 第72 回日本体力医学会大会,2017.09
- 4) 来間弘展,山内正雄,神尾博代,信太奈美,<u>古川順光</u>,柳澤佑哉,新田收:経験の違いによる骨触診信頼性の検討. 第72回日本体力医学会大会,2017.09
- 5) 信太奈美,<u>古川順光</u>,新田收,来間弘展,神尾博代:暑熱環境下における車いすスポーツ選手の体表温度の変化. 第72 回日本体力医学会大会,2017.09
- 6) 中俣修,山﨑敦,<u>古川順光</u>,新田收:動作ピッチの相違が連続跳躍動作時の体幹および下肢運動に及ぼす影響. 第72 回日本体力医学会大会,2017.09
- 7) 神尾博代,来間弘展,信太奈美,宇佐英幸,<u>古川順光</u>,新田收:随意的に骨盤底筋群を活動させた時の機能的 MRI による脳機能の分析. 第72回日本体力医学会大会,2017.08
- 8) Kuruma H, Yusuke M, Takeshi S, Masao Y, Tricás Moren J.M, Guillén S.P, Shida N, <u>Furukawa Y</u>, Nitta O:THE EFFECTS OF THE DIACUTANEOUS FIBROLYSIS APPROACH FOR MUSCLE STIFFNESS AND ROM. World Confederation for Physical Therapy Congress, 2017, 2017.07

- 9) Nami Shida, Yorimitsu Furukawa, Osamu Nitta, Masanobu Kinoshita, Hironobu Kuruma, Hiroyo Kamio, Yumi Ikeda: IMPACT OF PHYSICAL ACTIVITIES UNDER HOT ENVIRONMENTS ON INDIVIDUALS WITH SPINAL CORD INJURY. World Confederation for Physical Therapy Congress, 2017, 2017.07
- 10) <u>古川順光</u>,神尾博代,信太奈美,来間弘展,中俣修,新田收:立位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine,2017.05

- Nami Shida, Yorimitsu Furukawa, Osamu Nitta, Masanobu Kinoshita, Hironobu Kuruma, <u>Hiroyo Kamio</u>, Yumi Ikeda: Impact of Physical Activities under Hot Environments on Individuals with Spinal Cord Injury: WCPT Congress 2017, 2017.07
- 2) 神尾博代,来間弘展,信太奈美,宇佐英幸,古川順光,新田收:随意的に骨盤底筋群を活動させた時のfMRIによる脳機能の分析. 日本体力医学会大会, 2017.09
- 3) 古川順光,神尾博代,信太奈美,中俣修,来間弘展,新田收:立位における吸気筋力と胸椎後彎角・可動性との 関係. 日本体力医学会大会, 2017.09
- 4) 古川順光,神尾博代,信太奈美,来間弘展,中俣修,新田收:立位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. 日本リハビリテーション医学会,2017.05
- 5) 来間弘展,山内正雄,神尾博代,信太奈美,古川順光,柳澤佑哉,新田收:経験の違いによる骨触診信頼性の 検討. 日本体力医学会大会, 2017.09
- 6) 信太奈美,古川順光,新田收,来間弘展,神尾博代:暑熱環境下における車いすスポーツ選手の体表温度の 変化.日本体力医学会大会,2017.09

- 1) Nami Shida, Yumi Ikeda, Yorimitsu Furukawa, Hironobu Kuruma:INFLUENCES OF VISUAL AND PLANTAR SENSORY INFORMATION ON STANDING POSTURAL CONTROL: A COMPARISON BETWEEN VISUALLY IMPAIRED AND SIGHTED INDIVIDUALS. International Journal of Physiotherapy and Research, 5(4):2178-2186, 2017.07
- 2) <u>信太奈美</u>,橘高義典,原和泉,木下正信:車いすスポーツでの使用が体育館の床材に与える影響.日本 障害者スポーツ学会, 26:25-32, 2017.11

- 1) 松尾達彦,新田收,<u>信太奈美</u>,古川順光:脊髄損傷患者における車椅子スポーツ時の心拍数変化―頸髄損傷 と胸腰髄損傷の比較―. 日本理学療法学術大会(Web), 2017.04
- 2) 大塚匠,新田收,<u>信太奈美</u>,古川順光:脊髄損傷者における、車いすスポーツ活動現場での体表温度変化 頸髄レベル・胸髄レベルの比較. 理学療法学, 2017.04
- 3) 三阪洋行.<u>信太奈美</u>: 障がい者スポーツに対する支援工学理学療法の関わり. 第 52 回日本理学療法学術大会 日本支援工学理学療法学会企画 教育講演 2,2017.05.13
- 4) 古川順光,神尾博代,<u>信太奈美</u>,来間弘展,中俣修,新田收:立位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017.05
- 5) Nami Shida, Yorimitsu Furukawa, Osamu Nitta, Masanobu Kinoshita, Hironobu Kuruma, Hiroyo Kamio, Yumi Ikeda: IMPACT OF PHYSICAL ACTIVITIES UNDER HOT ENVIRONMENTS ON INDIVIDUALS WITH SPINAL CORD INJURY. WCPT Congress 2017, 2017.07.02
- 6) 原和泉,橘高義典,<u>信太奈美</u>,國枝陽一郎:車いす競技における体育館床材の損傷に関する研究 その 1.測 定手法の提案. 日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM), 2017.07.20
- 7) 来間弘展,山内正雄,<u>信太奈美</u>,神尾博代,古川順光,柳澤佑哉,新田收:経験の違いによる骨盤触診信頼性の 検討. 第72 回日本体力医学会大会, 2017.07
- 8) 古川順光,神尾博代,<u>信太奈美</u>,中俣修,来間弘展,新田收:立位における吸気筋力と胸椎後彎角·可動性との 関係. 第72 回日本体力医学会大会, 2017.09
- 9) 神尾博代,来間弘展,<u>信太奈美</u>,宇佐英幸,古川順光,新田收: 随意的に骨盤底筋群を活動させた時 の 機能 的 MRI による脳機能の分析. 第72 回日本体力医学会大会, 2017.09
- 10) <u>信太奈美</u>,古川順光,新田收,来間弘展,神尾博代:暑熱環境下における車いすスポーツ選手の体表温度変化. 第72 回日本体力医学会大会, 2017.09
- 11) <u>信太奈美</u>: 地域共生社会の実現にむけて 障がい者スポーツの推進と地域づくり. 滋賀県 地域リハビリテーション人材育成研修会 講師, 2017.10.21
- 12) <u>信太奈美:</u>障がい者のスポーツ動と地域づくり. 静岡県経済同好会 東部協議会 公開セミナー「世界はふじのくにを目指す!」2019 ラグビーW 杯, 東京 2020 自転車競技開催に向けて 講師, 2018.02.08
- 13) 大見武弘,山田拓実,美崎定也,島村亮太,諸澄孝宜,田澤智央,佐藤義尚,<u>信太奈美</u>,加藤淳平,杉本和隆:ローテーティングヒンジ型人工膝関節施行患者の歩行解析. 日本人工関節学会プログラム・抄録集, 2018
- 14) 島村亮太,山田拓実,美崎定也,大見武弘,田澤智央,佐藤義尚,<u>信太奈美</u>,杉本和隆:Bi-Cruciated Retaining TKA 後患者におけるスクワット動作の三次元動作解析. 日本人工関節学会プログラム・抄録集, 2018

委員歷

- 1) 日本理学療法士協会 スポーツ支援推進執行委員会(2017.08-)
- 2) 日本パラリンピック委員会 医科学委員会アンチドーピング部会(2016.03-)
- 3) 日本パラリンピック委員会 医・科学・情報サポート委員(バイオメカニクス)(2011.04-)

作業療法学科

- 1) 大松慶子,石井良和: 幼児の意味のある作業とは~発達障害領域の作業療法士へのインタビューから~. 作業療法,36(2):183-193,2017.04
- 2) 永井貴士,石井良和,工藤咲子,長谷川岳,山田孝:家族介護者の健康状態の検討~人間作業モデルの意志に焦点を当てて~. 作業行動研究, 21(3):78-84, 2017.12

講演·口頭発表等

- 1) 岡田直純,石井良和:この場に「イル」ことから自己了解獲得に向けた支援についての一考察 認知症クライアントへの現象学的アプローチ. 第27回日本保健科学学会学術集会,2017.09
- 2) 石橋仁美,<u>石井良和</u>,石橋裕,高田夕美,井/上礼子:介護予防における「生活と化粧を関連付けた社会参加支援プログラム: SSPC 」の有効性-地域在住高齢者の QOL への効果検証-.第 51 回日本作業療法学会, 2017.09
- 3) 馬場順子,<u>石井良和</u>,谷村厚子,千葉由香里:精神障害者の就労に影響を及ぼす主観的認識—勤労者役割面接(Worker's Role Interview)を使用して—. 第 51 回日本作業療法学会, 2017.09
- 4) <u>石井良和</u>,山田孝:クライアント中心の実践を実現するための評価 OSA?の実際. 第 51 回日本作業療法学会イブニングセミナー, 2017.09
- 5) S Takeuchi, N Oshima, Y Ishii, R Kobayashi, MP Sy: The awareness of meaningful occupations through narrative approach to life for home-dwelling stroke survivors in Japan.. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10
- 6) 谷村厚子,<u>石井良和</u>:Factorial Validity of a work-life balance scale for users of mental health services.. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10

委員曆

- 1) 日本保健科学学会 日本保健科学学会誌編集委員
- 2) 日本作業療法士協会 学術誌作業療法編集委員
- 3) 日本作業行動学会 会長(2017-)

- 大嶋伸雄,宮本礼子:前頭葉損傷者の評価と生活支援. JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION, 26(3): 264-273, 2017
- 2) 中本久之,宇佐美好洋,大嶋伸雄:作業療法臨床実習における現状と課題 2009~2013 年の学会抄録レビュー. 東京作業療法,5(5):85-85,2017
- 3) 佐々木露葉,大嶋伸雄,他:地域在住中年女性の尿失禁に対する主観的判断と対処に関する質的研究 - 尿失禁による作業機能障害に対して作業療法が果たす役割 - 作業療法,36(3):268-279,2017
- 4) 大嶋伸雄:対象者の生きる力を引き出し自立させる多職種連携の取り組み イギリスの地域ケアの現場から. 日本在宅ケア学会誌, 20(2):26-31, 2017
- 5) <u>大嶋伸雄</u>:自分の思考と身体認知を客観視することで得られる至高のウェルネス. 日本保健科学学会誌, (20):15-17, 2017

著書

1) 真柄彰,鴨下博,大嶋伸雄 他:リハビリテーション概論. 2, 第 6 章 国際生活機能分類(ICF)/3 ヒトの生活基盤としての「活動と参加」,理工図書出版,2017.09

- 1) 大嶋伸雄:特別講演:患者力を引き出すリハビリテーション. 平成 29 年度 国立病院関東信越理学療法士・作業療法士協議会主催研修会,2017.05.03
- 2) 大嶋伸雄: 認知作業療法のフレームワークと基礎. 半田市立半田病院・国立東名古屋病院主催: 認知作業療法実践セミナー in 愛知 2017, 2017.06.10
- 3) 大嶋伸雄: 患者力を引き出す認知作業療法 認知行動療法の応用を含めて 牧田総合病院主催研修会, 2017.06.14
- 4) 大嶋伸雄: 認知作業療法のフレームワークと基礎. 豊野病院・佐久総合病院・上伊那生協病院主催: 認知作業療法実践セミナー in 長野 2017, 2017.06.24
- 5) 大嶋伸雄: 高次脳機能障害者の力を引き出す リハビリテーション・カウンセリング. 第3回 東京都総合高次脳機能障害研究会, 2017.08.05
- 6) 大嶋伸雄:高次脳機能障害における「気づき」についての評価と介入の実際.京都高次脳機能障害研究会, 2017.08.27
- 7) 大嶋伸雄: A Study on Changes in Consciousness of Regional Health Care Professionals before and after in Interprofessional Collaboration Training From the questionnaire result by Reflection Sheet . EIPEN (European Interprofessional Education & Network) , 2017.09.07
- 8) 大嶋伸雄:日本の作業療法の原点へ! 患者力を引き出す認知作業療法 コア・モデル(身体領域). 第 51 回日本作業療法学会イブニング・セミナー, 2017.09.22
- 9) 大嶋伸雄:自分の思考と身体認知を客観視することで得られる至高のウェルネス. 第 27 回 日本保健科学学会学術集会 シンポジウム, 2017.09.30

- 10) <u>大嶋伸雄</u>: 認知作業療法を学ぶ. 一般社団法人 岩手県作業療士会 平成 29 年度 臨床技術研修会(身障·精神). 2017,10.08
- 11) OHSHIMA Nobuo: Framework for Interprofessional Collaboration. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10.21
- 12) <u>大嶋伸雄</u>:Effectiveness of Occupational Therapy Counseling for patients with cerebrovascular disorder . The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10.22
- 13) 大嶋伸雄: 慢性疼痛・整形疾患の認知作業療法 Part-1 COT の基本とフレームワーク. 日本認知作業療法研究会・公式研修プログラム 2017-11 疾患・領域別 臨床 COT の専門研修, 2017.11.20
- 14) <u>大嶋伸雄</u>: 認知作業療法の基盤. 蝦夷認知作業療法研究会 2017 年 研究会設立記念·研修会, 2017.11.25
- 15) 大嶋伸雄: 高次脳機能障害の認知作業療法. 日本認知作業療法研究会·公式研修プログラム 疾患・領域 別 臨床 COT の専門研修会, 2017.11.27
- 16) 大嶋伸雄:海外(主に英国)における多職種連携教育の方向性と地域課題への対応 -わが国の子育て支援・地域連携への応用を考える-. 日本子ども虐待防止学会・第 23 回学術集会ちば大会 シンポジウム「多機関連携に向けた専門職連携教育」, 2017.12.03
- 17) 大嶋伸雄: 認知行動療法のリハビリテーションへの応用と今後の発展性について!. 研究会・設立記念 2018 年 リハビリテーションのための認知行動療法研修会, 2018.02.24
- 18) 大嶋伸雄: 高次脳機能障害における認知作業療法のマネジメント戦略. 日本認知作業療法研究会・第4回 学術大会 基調講演3,2018.03.10

競争的資金等の研究課題

1) 大嶋伸雄:日本学術振興会 平成29年度科学研究費助成事業・基盤研究(C)(一般)「リハビリテーション患者の行動変容を促す認知行動療法応用アプローチの効果」,2017.04-2020.03

委員曆

1) 日本学術振興会 科学研究費助成·挑戦的研究審查委員(2017.05-)

- 1) Watanabe R, Higuchi T, <u>Kikuchi Y</u>, Taira M: Visuomotor effects of body part movements presented in the first-person perspective on imitative behavior. Hum Brain Mapp. 6218-6229, 2017.
- 2) <u>Kikuchi Y</u>, Matsutani Y, Mori K, Hanada K, Shirakawa Y, Shirato M, Noriuchi M: Brainstem activity predicts attachment-related anxiety. Neuropsychiatry (London) (2018) 8(1), 324-334. DOI: 10.4172/Neuropsychiatry.1000354.
- 3) <u>Kikuchi Y</u>, Shirato M, Machida A, Inoue T, Noriuchi M: The neural basis of self-touch in a pain-free situation. Neuropsychiatry (London) (2018) 8(1), 186-196. DOI: 10.4172/Neuropsychiatry.100034.

著書

- 1) <u>Kikuchi Y</u>, Noriuchi M: The Selfish Brain: What Matters Is My Body, not Yours? In Emotional Engineering Volume 5 (Fukuda S, eds), 49-61, Springer Nature, 2017. Print ISBN 978-3-319-70801-0, Hardcover.
- 2) <u>Kikuchi Y</u>, Noriuchi M: The Selfish Brain: What Matters Is My Body, not Yours? In Emotional Engineering Volume 5 (Fukuda S, eds), 49-61, Springer Nature, 2017, Online ISBN 978-3-319-70802-7, eBook.

講演·口頭発表等

- 1) Noriuchi M, Mori, K, Kamio, Y, <u>Kikuchi, Y</u>: Maternal brain and parenting stress. The 26th Annual Meeting of the International Behavioral Neuroscience Society (IBNS), Hiroshima, Japan June 26-30, 2017.
- 2) Noriuchi M, <u>Kikuchi Y</u>: Maternal love on the brain. Pacific Rim International Conference on Disability and Diversity, Conference Theme "Sustainability", The Modern Honolulu and Hilton Hawaii Village and Resorts, October 9-11, 2017.
- 3) <u>菊池吉晃:「脳」は「身体」の枠組みを超えるか。</u> ~「自己性」の観点から~、シンポジウム「自己と他者を 尊重する体育·スポーツを問うために~細胞から社会までを一貫する学際的基盤~」、日本スポーツ体育 健康科学学術連合第2回大会、(一般公開)静岡県男女共同参画センターあざれあ、2017.09.07

研究会

1) 跡見友章, 花田健二, 渡邊塁, 則内まどか, 跡見順子,<u>菊池吉晃</u>:不安定な身体バランスへの自己投影が活性化させる神経機構-fMRI による検討. 第 16 回姿勢と歩行研究会, 興和株式会社本社 11 階ホール, 2018.03.10

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>菊池吉晃</u>:「自己防衛機構としてのノスタルジアにおける脳内「記憶ー報酬」連関に関する研究」, 平成 29 年度傾斜的研究費(一般)(部局分·部局競争経費)
- 2) 菊池吉晃:「化粧行為の認知神経科学的研究」, 資生堂共同研究

委員歴

- 1) <u>菊池吉晃:</u>日本学術会議 総合工学委員会·機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」幹事, 2017.
- 2) <u>菊池吉晃</u>: 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計 分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」委員, 2017.
- 3) 菊池吉晃:日本学術振興会 特別研究員関連専門委員,2017.
- 4) 菊池吉晃:日本学術振興会 国際事業関連委員会委員,2017.
- 5) <u>Kikuchi Y</u>: Editor in Chief, International Journal of Neuroinformatics, Open Access Pub, USA
- 6) Kikuchi Y:Editor in Chief, Insights on the Depression and Anxiety, Heighten Science, USA
- 7) Kikuchi Y:Editor in Chief, Journal of Nervous System and Physiological Phenomena, Open Access Pub, USA
- 8) Kikuchi Y: Editor in Chief, Neurology and Neuroscience Reports, Open Access Text, UK
- 9) Kikuchi Y: Editor in Chief, Journal of Trends in Biomedical Research, Open Access Text, UK
- 10) Kikuchi Y: Executive Editor in Chief, Journal of Neuroscience and Neurosurgery, Boffin Access, UK
- 11) Kikuchi Y:Editor, Neurophysioloy Research, Allied Academies, UK
- 12) Kikuchi Y: Editor, Journal of Depression and Anxiety Forecast, Science Forcast, USA
- 13) Kikuchi Y: Editor, Sensory Research: Neuroscience and Modelling, Allied Academies, UK
- 14) Kikuchi Y: Editor, Journal of Neuropathology, Pulsus, UK
- 15) Kikuchi Y: Editor, Journal of Psychiatry and Behavioral Health Forecast, Science Forcast, USA
- 16) Kikuchi Y:Editor, Psychology & Psychological Research International Journal, Medwin Publishers, USA
- 17) Kikuchi Y: Editor, Journal of Neurology Forecast, Science Forecast Publications, USA
- 18) Kikuchi Y: Editor, Journal of Opthalmology Forecast, Science Forecast Publications, USA
- 19) <u>Kikuchi Y</u>: Editor, Journal of Neurology and Neurorehabilitation Research, Allied Academies, USA
- 20) Kikuchi Y: Editor, Journal of Neurology and Neuroscience (Clinical Psychology and Neuropsychology), iMedPub, UK
- 21) <u>Kikuchi Y</u>: Associate Editor, Clinical Psychiatry, iMedPub, USA
- 22) Kikuchi Y: Associate Editor, Journal of Juvenile Psychology and Behavioural Sciences, Allied Academies, UK
- 23) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Novel Physiotherapies, OMICS international
- 24) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Novel Physiotherapies, OMICS international
- 25) Kikuchi Y: Editorial Board, World Journal of Physical and Rehabilitation Medicine, Remedy Publications LLC
- 26) Kikuchi Y: Editorial Board, International Journal of Physiatry, Clin Med, USA
- 27) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Sports Medicine, Scifed Group
- 28) Kikuchi Y: Editorial Board, Sports Medicine and Rehabilitation Journal, Remedy, USA
- 29) Kikuchi Y: Editorial Board, Neuroscience Communications, Smart Science & Technology LLC, USA
- 30) Kikuchi Y:Editorial Board, Journal of Neuroscience and Cognitive Studies, Remedy, USA
- 31) Kikuchi Y: Editorial Board, Brain and Nerves, Open Access Text (OAT), UK
- 32) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Model Based Research, Open Access Pub
- 33) Kikuchi Y: Editor, Journal of Clinical Psychiatry and Neuroscience, PULSUS, UK
- 34) Kikuchi Y: Editorial Board, Austin Neurology & Neurosciences, Austin, USA
- 35) Kikuchi Y: Editorial Board, Archives of Psychiatry and Behavioral Sciences, Sryahwa Publications, India
- 36) Kikuchi Y: Editorial Board, Annals of Psychiatry and Treatment, Peertechz, India
- 37) Kikuchi Y: Editorial Board, Global Scientific Research Journal of Psychiatry, Global Scientific Research

- 38) Kikuchi Y: Editorial Board, International Journal of Sleep Disorders, SciRes Literature, USA
- 39) Kikuchi Y:Editorial Board, World Journal of Psychiatry and Mental Health Research, Remedy Publications, USA
- 40) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology, Brain and Psychiatry, Cresco, USA
- 41) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Neurology and Neuro Toxicology, Sci AEON, UK
- 42) Kikuchi Y: Editorial Board, Annals of Neurodegenerative Disorders, J Sci Med Central, USA
- 43) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology, Remedy, USA
- 44) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology and Neurological Sciences, MedDocs Publishers, USA
- 45) Kikuchi Y: Editorial Board, International Journal of Brain Disorders & Therapy, Sci Res Literature, USA
- 46) Kikuchi Y:Editorial Board, International Journal of Alzheimers & Neurological Disorders, Bioaccent, USA
- 47) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Psychiatry and Cognitive Behaviour, Gavin Publishers, USA
- 48) Kikuchi Y: Editorial Board, Clinical Research, Sci Forschen, USA
- 49) Kikuchi Y: Editorial Board, Clinical and Medical Imaging: Cases and Reviews, JSM, USA.
- 50) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Radiology and Oncology, Heighten Science, USA
- 51) Kikuchi Y:Editorial Board, SM Journal of Forensic Research and Criminology, SM online Publications, USA
- 52) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Bioanalysis and Biomedicine, OMICS, USA
- 53) Kikuchi Y: Editorial Board, Advances in Bioengineering and Biomedical Science Research, OPAST, USA
- 54) Kikuchi Y: Editorial Board, Science Postprint, JPN
- 55) Kikuchi Y: Editorial Board, Physiotherapy Research and Reports, Open Access Text, UK
- 56) Kikuchi Y: Editorial Board, Med One, Quingres, Israel
- 57) Kikuchi Y:Editorial Board, Journal of Case Reports and Medical Images, MedDocs Publishers LLC, Nevada, USA
- 58) Kikuchi Y: Editorial Board, Mathews Journal of Neurology, Mathews Open Access Journals, USA
- 59) Kikuchi Y: Editorial Board, Archives of General Internal Medicine, Allied Academies, USA
- 60) Kikuchi Y: Editorial Board, Scholar Journal of Applied Sciences and Research, Innovationinfo, India
- 61) Kikuchi Y: Reviewer Board, International Journal of Radiology and Radiation Oncology, Peertechz, India
- 62) Kikuchi Y: Reviwer Board, Universal Journal of Public Health, Horizon Research Pubrishing Coorporation, USA

- 1) 山田孝,篠原和也,小林法一,會田玉美:認知症高齢者に対するプログラム計画のための文献レビュー.作業行動研究,21(1):8-19,2017.06
- 2) 石代敏拓,小林法一,谷村厚子:通所リハビリテーションにおける OSA?を用いた作業療法プログラムの効果. 作業療法 = Japanese occupational therapy research, 36(4):405-415, 2017.08
- 3) 山田孝,篠原和也,<u>小林法一</u>,會田玉美:認知症高齢者に対するプログラム開発のための 作業療法士に 対するニーズ評価.作業行動研究,21(3):85-92,2017.12
- 4) 木村夏実,小林法一:回復期リハビリテーション病棟入院中の高齢者への色カルタを用いた集団活動に 期待される効果 実施経験のある作業療法士へのインタビューを通して.東京作業療法,6:37-42, 2018.02
- 5) 石橋裕,小林法一,小林隆司,村井千賀,長山洋史:訪問型·短期集中予防サービス(サービス C)が有効であった事例の実践報告.作業療法,2018
- 6) Nagayama Hirofumi, <u>Kobayashi Norikazu</u>, Ishibashi Yu, Kobayashi Ryuji, Murai Chika, Yamauchi Keita: Cost and outcome of occupation-based practice for community dwelling frail elderly: a pilot study. CLINICAL INTERVENTIONS IN AGING, 13:1177-1182, 2018

- 1) 小林法一:地域未来予想図(学会長講演). 第14回 東京都作業療法学会,2017.06
- 2) 小林竜,岡田直純,<u>小林法一</u>:わが国における作業療法の職域拡大へ向けた方略. 第 14 回 東京都作業療法学会, 2017.06
- 3) 小林隆司,石橋裕,小林法一:活動と参加に資する介護予防訪問リハビリテーションのIADLに対する効果.第14回 東京都作業療法学会.2017.06
- 4) 山田孝,小林法一,篠原和也,新岡美樹,長谷川由美子:認知症者に対する作業中心の実験群と機能訓練中 心の統制群のランダム化比較試験.作業行動研究,2017.06
- 5) 渡辺陵介,河原克俊,小林法一: 高次脳機能障害を示す高齢者に対する認知症高齢者の絵カード評価法の可能性. 作業行動研究, 2017.06
- 6) 井口知也,山田孝,小林法一: 認知症者を対象とした認知症高齢者の絵カード評価法の通過率 全体の項目 と作業の領域に着目して. 作業行動研究, 2017.06
- 7) 岡義広,小林法一: 絵カードを用いた面接によりニーズを明確にできた気管切開術後の一事例. 作業行動研究, 2017.06
- 8) 猪股英輔,小林法一:一人暮らし高齢者に対する予防的介入の文献研究. 老年社会科学, 2017.06
- 9) 猪股英輔,小林法一:一人暮らし高齢者に対する予防的介入の文献研究. 老年社会科学, 2017.06
- 10) 本家寿洋,山田孝,<u>小林法一</u>: 高齢障害者が過去に経験した旅行の楽しさの特徴. 日本作業療法学会抄録 集. 2017.09
- 11) 二村元気,<u>小林法一</u>:公共交通機関の利用再開を阻害する要因の検討. 日本作業療法学会抄録集, 2017.09

- 12) 兒玉夏実,小林法一:回復期リハビリテーション病棟における認知機能の低下した高齢者への色カルタを用いた 集団活動の効果.日本作業療法学会抄録集,2017.09
- 13) 山田孝,小林法一,篠原和也,會田玉美:認知症高齢者に作業を実施した群と作業を実施しなかった群の比較前向きコホート研究.日本作業療法学会抄録集,2017.09
- 14) 渡辺陵介,大野勘太,小林法一:面接補助ツールとしての色カルタ(クオリア・ゲーム)の可能性 語りから文脈を 共有できた事例を通して.日本作業療法学会抄録集,2017.09
- 15) 中村美歌,小林法一:回復期リハビリテーション病棟から在宅移行期に抱く脳卒中者の妻の不安 回復期リハビリテーション病棟での支援の検討.日本作業療法学会抄録集,2017.09
- 16) 川又寛徳,小林法一:作業的公正を考慮した多職種協働 介護老人保健施設における高齢男性の事例. 日本作業療法学会抄録集. 2017.09
- 17) 石橋裕,小林法一,小林隆司,ボンジェ・ペイター,宮本礼子:訪問型サービス C の対象となった要支援者の IADL の特徴 AMPS、FAI、TMIG-IC による分析. 日本作業療法学会抄録集, 2017.09
- 18) 安永雅美,木下拓司,小林法一:フローモデルに基づく活動支援の報告. 日本作業療法学会抄録集, 2017.09
- 19) 嶋崎寛子,小林法一,谷村厚子,小林幸治,伊賀裕貴子: 応急仮設住宅を退去した地域在住高齢者の健康増進に対する作業療法プログラムの効果. 日本作業療法学会抄録集, 2017.09
- 20) 小林法一: MTDLP の考え方を応用した介護予防サービス・新しい総合事業での支援~老人保健健康増進等事業の取り組みより~ 総合事業における IADL 改善のための支援と効果. 日本作業療法学会抄録集, 2017.09
- 21) Junya Nomoto, Norikazu Kobayashi: An Occupational Therapist's treatment strategy for elderly people with Dementia ~Using Assessment by the Picture Card for Elderly with Dementia ~. 1st Asia Pacific Occupational Therapy Symposium (APOTS 2017), 2017.10.20
- 22) Natumi Kodama, Norikazu Kobayash i: Effectiveness of group activity using IroKaruta in elderly persons with declined cognitive function in convalescent rehabilitation ward -Intervention results report . Asia Pacific Occupational Therapy Symposium (APOTS 2017.), 2017.10.20
- 23) 石橋裕,小林法一,小林隆司,長山洋史:通所型·訪問型サービス C を利用する高齢者の基本チェックリストの通過率の傾向. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2017.10
- 24) 小林法一,石橋裕,小林隆司,苫米地洋子,鳥山洋史:通所型·訪問型サービス C 事業における対象者の具体的な個別目標とその達成度.日本公衆衛生学会総会抄録集,2017.10
- 25) 長山 洋史,石橋裕,小林隆司,小林法一:訪問型サービス C におけるリハビリテーション専門職の支援と効果に関する予備的研究.日本公衆衛生学会総会抄録集,2017.10
- 26) 小林隆司,小林法一,石橋裕,長山洋史:生活行為向上リハビリテーションに基づいた介護予防サービスの効果. 日本公衆衛生学会総会抄録集,2017.10
- 27) 小林法一: 予防的・健康増進作業療法プログラム「65 歳大学」の概要と実践紹介. 第60回作業療法全国研修会 滋賀会場, 2017.10
- 28) 小林法一: 予防的・健康増進作業療法プログラム「65 歳大学」の概要と実践紹介. 第60回作業療法全国研修会 新潟会場, 2017.12
- 29) <u>小林法一</u>:「集積事例からみた訪問サービス C 事業の利用者像」区東部地域リハビリテーション支援センター 研修会. 2018.02

競争的資金等の研究課題

- 1) 山田孝: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「認知症高齢者に対する包括的生活支援プログラムの開発と検証: ランダム化比較試験」, 2017.04-2019.03(分担)
- 2) ペイター ボンジェ: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」, 2016.04-2019.03(分担)
- 3) 本家寿洋: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「LAES を使用して高齢障害者が余暇活動を主観的に楽しむプログラムの開発」, 2015.04-2019.03(分担)
- 4) 川越雅弘:厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)「要介護高齢者の生活機能向上に資する効果的な生活期リハビリテーション/リハビリテーションマネジメントのあり方に関する総合的研究」、2015.04-2018.03(分担)
- 5) 小林法一: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「認知症の BPSD 低減に有効な個人固有の役割活動を特定する評価マニュアルの作成」, 2015.04-2018.03

受賞

1) 本家寿洋,山田孝,石井良和,小林法一:日本保健科学学会 優秀論文賞,2017.09

- 1) 大森大輔,井村亘,両部善紀,狩長弘親,小林隆司:通所リハビリテーション利用者の作業療法における生活行為申し送り表の効果 ランダム化比較試験による検討.作業療法,37(2):188-196,2018.04
- 2) 土屋景子,金山祐里,小野健一,小林隆司,吉村洋輔:主観的 ADL 尺度に影響する FIM と WHO QOL 26 の 因子について. 作業療法, 37(2):121-127, 2018.04
- 3) 宇佐美好洋,小川恵子,西田裕介,小林隆司:特別養護老人ホームにおける作業療法士と介護職の「情報の共有化」に関する認識.作業療法,36(2):170-182-182,2017.04
- 4) 吉田一平,美馬寛子,山口和代,小林隆司,平尾一樹:通所系サービスにおけるフロー理論を基にした認知機能向上プログラムの効果―複数難易度の認知課題プリントと山口符号テストを組み合わせたプログラムを用いて―. 日本認知症予防学会誌(Web), 6(1):21-26 (WEB ONLY)-, 2017.05
- 5) 佐々木露葉,大嶋伸雄,小林隆司,小内友紀子:地域在住中年女性の尿失禁に対する主観的判断と対処に関する質的研究—尿失禁による作業機能障害に対して作業療法が果たす役割—.作業療法,36(3):268-279-,2017.06
- 6) 吉田一平,溝江敦子,林真由美,土田哲,平尾一樹,小林隆司:通所リハビリテーションにおける認知機能評価としての山口符号テストの有用性 基準関連妥当性と絶対信頼性、解釈可能性の検証. 日本認知症予防学会誌. 7(2):20-26, 2018.02
- 7) 丸山祥,神保洋平,長谷龍太郎,小林隆司:診療参加型の作業療法臨床実習におけるリフレクション・シート使用の試み.作業療法教育研究,17(2):27-33,2018.02
- 8) Nagayama H, Kobayashi N, Ishibashi Y, <u>Kobayashi R</u>, Murai C, Yamauchi K:Cost and outcome of occupation-based practice for community dwelling frail elderly: a pilot study.Clinical interventions in aging, 13:1177-1182, 2018

著書

- 1) 糸山智栄,小林隆司:学童保育に作業療法士がやって来た(そこが知りたい学童保育ブックレットシリーズ). 2, 高文研, 2017.06.01
- 2) 小林隆司,森川芳彦,河本聡志,岡山県学童保育連絡協議会:学童期の作業療法入門 学童保育と作業療法士のコラボレーション. 2, クリエイツかもがわ, 2017.09.15.

- 1) 前原誠,篠田昭,南征吾,<u>小林隆司</u>,山田孝:親しみのある音楽活動の導入により不穏が軽減した重度認知症を もつ事例,作業行動研究,2017.06
- 2) 南征吾,菅沼一平,佐野伸之,小野健一,小林隆司:在宅緩和医療に携わる家族介護者が従事する作業に関する質問紙の開発 試作版質問紙の表面的内容的妥当性の検討.作業行動研究,2017.06
- 3) 岡崎京子,南征吾,河津拓,小林隆司,山田孝:生活習慣づくりから作業同一性に働きかけて、復職を果たした事例,作業行動研究,2017.06
- 4) 牧利恵,小林隆司:首都大式協調テストの信頼性·妥当性の検討,東京都作業療法学会,2017.06
- 5) 小林隆司,石橋裕,小林法一:活動と参加に資する介護予防訪問リハビリテーションの IADL に対する効果 . 東京都作業療法学会, 2017.06

- 6) 宮本礼子,小林隆司,石橋裕:学内クリニカルクラークシップが作業療法学生の学びに与える影響.日本作業療法研究学会学術大会.2017.06
- 7) 長尾宗典,小林隆司:脳梗塞後軽度右片麻痺男性の在宅生活再建プロセス~複線経路等至性アプローチ を用いた分析~. 日本質的心理学会, 2017.09
- 8) 鎌田小百合,伊丹麻美,横濱秀征,小林隆司: 入学直後の作業療法学生に対する, 主体的な生活を支援するための「学生生活自己マネジメントプログラム」の検討. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 9) 南征吾,菅沼一平,篠田昭,古川絵美,<u>小林隆司</u>:学内の事例検討から作業の提案力を鍛える推論法〜学生版 作業創発的臨床推論法の開発〜. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 10) 宮本礼子,小林隆司,石橋裕:学内クリニカルクラークシップが作業療法学生の実習適応能力自己評価と不安感に与える影響.日本作業療法学会抄録集(CD-ROM). 2017.09
- 11) 長尾宗典,小林隆司:脳卒中当事者が介護保険制度下の通所リハビリテーションを終了していくプロセス―複線経路等至性モデリングに基づく事例研究―. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 12) <u>小林隆司</u>: MTDLP の考え方を応用した介護予防サービスの効果. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 13) 佐々木露葉,小林隆司,小内友紀子: 尿失禁予防に係る医療・保健サービスの現状についての文献研究―作業療法の参画可能性を探る―. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 14) 篠田昭,南征吾,<u>小林隆司</u>:語りから得られた他者との関りが与える影響:中間報告. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 15) 古川絵美,四方肇,南征吾,篠田昭,小林隆司:母親との協働作業により本児の意欲を引き出し,母親自身の行動に変化を促した事例—作業創発的臨床推論法を活用して—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 16) 吉田一平,平尾一樹,小林隆司,土田哲:挑戦水準·能力水準バランス評価法の基準関連妥当性および反応性の検証.日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 17) 宇佐美好洋,小林隆司: 専門職間連携における情報の共有化に関する文献レビュー. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 18) 石橋裕,小林法一,小林隆司,ボンジェ ペイター,宮本礼子:訪問型サービス C の対象となった要支援者の IADL の特徴—AMPS,FAI,TMIG-IC による分析—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2017.09
- 19) R Kobayashi: Development of a management tool for daily life performance. Taiwan-Japan Occupational Therapy Joint Symposium, 2017.10,20
- 20) 石橋裕,小林法一,小林隆司,長山洋史:通所型·訪問型サービス C を利用する高齢者の基本チェックリストの通過率の傾向. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2017.10
- 21) 小林隆司,小林法一,石橋裕,長山洋史:生活行為向上リハビリテーションに基づいた介護予防サービスの効果. 日本公衆衛生学会総会抄録集,2017.10
- 22) 小林法一,石橋裕,小林隆司,苫米地洋子,鳥山洋史:通所型·訪問型サービス C 事業における対象者の具体的な個別目標とその達成度.日本公衆衛生学会総会抄録集,2017.10
- 23) 長山洋史,石橋裕,小林隆司,小林法一:訪問型サービス C におけるリハビリテーション専門職の支援と効果に関する予備的研究. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2017.10
- 24) S Nagao, <u>R Kobayashi</u>: Transitional Process of Stroke Survivors from Use of Day-Care Centers to Active Lives in Japan. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10

- 25) S Takeuchi, N Oshima, Y Ishii, <u>R Kobayashi</u>: The awareness of meaningful occupations through narrative approach to life for home-dwelling stroke survivors in Japan. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10
- 26) R Miyamoto, <u>R Kobayashi</u>, Y Ishibashi: Changes of anxiety and adjustability related to practical placement of occupational therapy students through quasi clinical clerkship on campus. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10
- 27) 小林隆司: 学童保育と作業療法の連携. 独立法人福祉医療機構社会福祉振興事業による講座, 2017.11
- 28) 小林隆司:作業療法士と学童保育の連携で子どもの育ちを考える. 独立法人福祉医療機構社会福祉振興事業による講座, 2017.11
- 29) 小林隆司:作業療法士の地域への参画.独立法人福祉医療機構社会福祉振興事業による講座,2018.01
- 30) 小林隆司:学童保育に作業療法士がやってきた. 独立法人福祉医療機構社会福祉振興事業による講座, 2018.01
- 31) 小林隆司:学童保育に作業療法士がやってきた in 旭川. 独立法人福祉医療機構社会福祉振興事業による 講座, 2018.03.10

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上薫:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 B)「ランダム化比較試験による認知症等を有する高齢者に対するロボットパロの効果」,2016.04-2019.03(分担)
- 2) 石橋裕:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 C)「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」,2018.04-2022.03(分担)

社会貢献活動

- 1) 小林隆司:日本作業療法士協会 教育部 部員.14,2017.04.01-
- 2) 小林隆司:東京作業療法·查読員. 18, 2016.06.26-2018.06.25

- 1) 坂根勇輝,<u>ボンジェ ペイター</u>:日本における作業療法士-クライエント関係についての研究状況と課題: 2005~2015年の文献レビュー.作業科学研究,11:51-55,2017.12
- 2) <u>Peter Bontje</u>, Sissel Alsaker, Eric Asaba, Anders Kottorp, Staffan Josephsson: (Re-)Establishing familiarity: Resumption of occupations by older adults with physical disabilities. Scandinavian Journal of Occupational Therapy, 1-10, 2018.02.24

講演·口頭発表等

- 1) 石橋裕,小林法一,小林隆司,<u>ボンジェ ペイター</u>,宮本礼子: A case study of improvement of the occupational performance by a short term preventive support type C.. 4th International OTIPM Symposium, 2017.07.08
- 2) ヤーシル A. アルビ,ボンジェ ペイター. バングラデシュにおける SCI 患者による地域就労のリソースと戦略. 第 51 回日本作業療法学会, 2017.09.23
- 3) 坂根勇輝,ボンジェ ペイター: 回復期リハビリテーション病棟入院中のクライエントと担当作業療法士の相互理解のプロセス. 第51回日本作業療法学会, 2017.09.23
- 4) 石橋裕,小林法一,小林隆司,<u>ボンジェ ペイター</u>,宮本礼子:訪問型サービス C の対象となった要支援者の IADL の特徴 AMPS、FAI、TMIG-IC による分析. 第 51 回日本作業療法学会, 2017.09.23
- 5) ボンジェ ペイター, Josephsson Staffan, Alsaker Sissel, Kottorp Anders: 身体障害を持つ高齢者の日常的作業の再開過程-作業遂行と参加による6ヵ月間にわたる縦断的研究. 第51 回日本作業療法学会, 2017.09.23
- Yeasir A. Alve, <u>Peter Bontje</u>. Facilitators and constraints to participation in everyday activities among persons with spinal cord injury living in the community: Lessons learned from an international scoping review. 56th ISCoS Annual Scientific Meeting, 2017.10.25
- 7) ボンジェ ペイター: 満ち満ちてゆく日常生活-作業の力を引き起こす. 第 21 回作業科学セミナー, 2017.12.09

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>ボンジェ ペイター</u>: 日本学術振興会 基盤研究(C) (一般)「Development and efficacy of community-based intergrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation」, 2016.04-2020.03
- 2) 丸山祥:一般社団法人 神奈川県作業療法士会 研究助成金事業「作業療法生に対するクリニカルリーズニング評価の予備尺度の開発ー構成概念の検討と予備尺度の作成ー」, 2017.04-2018.03(分担)
- 3) 高木雅之:県立広島大学 平成29年度県立広島大学研究開発助成事業「活動モニタリングツールを用いた 実践型講座の開催と効果の検証」,2017.04-2018.03(分担)

1) 石橋仁美,石井良和,石橋裕,高田夕実,井/上礼子:生活と化粧を関連づけた社会参加支援プログラムの開発に関する予備的研究,作業療法研究学会雑誌,2018.03

著書

1) 作業療法を観る:シービーアール,2017.04.01

- 1) 宮本礼子,小林隆司,石橋裕:学内クリニカルクラークシップが作業療法学生の学びに与える影響.第 11 回日本作業療法研究学会学術大会,2017.06
- 2) <u>石橋裕</u>: Final Thoughts of the Occupational Therapy Intervention Process Model. 4th International Symposium of Occupational Therapy Intervention Process Model, 2017.07
- 3) Reiko Miyamoto, Ryuji Kobayashi, <u>Yu Ishibashi</u>: Changes of anxiety and adjustability related to practical placement of occupational therapy students through quasi clinical clerkship on campus. 1st Asia Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.07
- 4) A case study of improvement of the occupational performance by a short term preventive support type C. 4th International OTIPM Symposium, 2017.07
- 5) Bunta Fumoto, <u>Yu Ishibashi</u>: Practice of occupational therapy based on OTIPM in acute hospital Support for cooking for aphasic clients. 4th International OTIPM Symposium, 2017.07
- 6) 石橋裕: ADL·IADL に特化した通所型·訪問型サービス C の取り組み方. 第51 回日本作業療法学会, 2017.09
- 7) <u>石橋裕</u>:総合事業のおける自立を促すケアマネジメント. 平成 29 年度石川県小松市ケアマネジメント講習, 2017.09
- 8) 石橋裕,小林法一,小林隆司,ボンジェペイター,宮本礼子:訪問型サービス C の対象となった要支援者の IADL の特徴~ AMPS,FAI,TMIG-IC による分析~.,2017.09
- 9) 石橋仁美,石井良和,石橋裕,高田夕美,井/上礼子:介護予防における「生活と化粧を関連付けた社会参加支援プログラム:SSPC Jの有効性-地域在住高齢者の QOL への効果検証-.第 51 回日本作業療法学会, 2017.09
- 10) 宮本礼子,小林隆司,<u>石橋裕</u>: 学内クリニカルクラークシップが作業療法学生の実習適応能力自己評価と不安 感に与える影響. 第 51 回日本作業療法学会, 2017.09
- 11) <u>石橋裕</u>:作業療法士の視点から生活行為を知ろう. 平成 29 年度荒川区 8 地域包括支援センター主催ケアマネっと, 2017.10
- 12) <u>石橋裕</u>: 短期集中サービスによる効果的な生活支援~企画から実践まで~. リハビリテーションケア合同学会 久留米 2017, 2017.10
- 13) Kenichiro Furuta, <u>Yu Ishibashi</u>: Current status of occupational therapy for clients in the recovery period rehabilitation area in Japan Trends and discussion by lieterature review. 1st Asia Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10
- 14) 小林隆司,小林法一,<u>石橋裕</u>,長山洋史:生活行為向上リハビリテーションに基づいた介護予防サービスの効果. 第76回日本公衆衛生学会総会,2017.10

- 15) 長山洋史,石橋裕,小林隆司,小林法一:訪問サービス C におけるリハビリテーション専門職の支援と効果に関する予備的研究. 第76回日本公衆衛生学会総会,2017.10
- 16) <u>石橋裕</u>,小林法一,小林隆司,長山洋史:通所型·訪問型サービス C を利用する高齢者の基本チェックリストの通 過率の傾向. 第76回日本公衆衛生学会総会, 2017.10
- 17) 小林法一,<u>石橋裕</u>,小林隆司,長山洋史:通所型·訪問型サービス C 事業における対象者の具体的な個別目標とその達成度. 第76回日本公衆衛生学会総会, 2017.10

競争的資金等の研究課題

- 1) ボンジェペイター: 日本学術振興会 科学研究費補助金「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」, 2016.04-2020.03(分担)
- 2) 福井里美:日本学術振興会 科学研究費補助金「がん化学療法サバイバーが就労する「働きづらさ」の支障程度を示す枠組の開発」、2017.04-2202.03(分担)

委員曆

1) 東京都荒川区介護予防アドバイザー 委員(2013.04-)

Misc

- 1) 須山夏加,井上薫,<u>伊藤祐子</u>,國谷昇平, SNOW Wilaiwan:タイ王国のコミュニティーにおけるリハビリテーションサービスと作業療法の現状―技術支援の視点から―. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 51st:ROMBUNNO.PN-2002-2002, 2017.09
- 2) 助川文子,<u>伊藤祐子</u>: 中学校における特別支援教育—作業療法士の役割—. 日本作業療法学会抄録集 (CD-ROM). 51st:ROMBUNNO.PI-2B107-2B107, 2017.09
- 3) 八重樫貴之,<u>伊藤祐子</u>: 不登校の ASD 児に対し社会性に焦点を当てた関わりを続けた結果,通級利用となった 事例. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 51st:ROMBUNNO.PI-1B05, 2017.09
- 4) 伊藤祐子,立山清美,有川真弓,赤松めぐみ,山西葉子,山田孝: 感覚統合療法の効果に関する研究報告 意志およびコミュニケーションと交流技能に着目して. 日本感覚統合学会研究大会プログラム抄録集, 35 回: 37-37, 2017,10
- 5) 片岡新,<u>伊藤祐子</u>: 発達障害領域の日常生活活動評価に関する文献的研究. 東京作業療法, 6:64-64, 2018,02,25
- 6) 伊藤祐子,池上洋,酒井康年,田邉美樹子,波多野裕子,山崎仁智,八重樫貴之,日高幹代,飛田孝行,田中亮, 岩本薫,住田多恵子,小出由貴子:アジアの作業療法を知ろう!. 東京作業療法, 6:49-50-, 2018.02.25
- 7) 伊藤祐子,池上洋,酒井康年,田邉美樹子,波多野裕子,山崎仁智,八重樫貴之,日高幹代,飛田孝行,田中亮, 岩本薫,住田多恵子,小出由貴子:今聞きたい!子どもの作業療法,東京作業療法,6:49-,2018.02.25

講演·口頭発表等

- 1) 伊藤祐子,井上薫: A trial of interdisciplinary education to create useful assistive devices for people with disability.
 - Introduction of 'Needs and Ideas Forum' . the 1st Asia Pacific Occupational Therapy Symposium (APOTS 2017). 2017.10

競争的資金等の研究課題

- 1) 伊藤祐子:平成 29 年度傾斜研究費(部局分)「書字能力と作業環境の関連に関する基礎研究」
- 2) 立山清美:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「幼児期の自閉症スペクトラム児に対する感覚 統合療法の効果~非ランダム化比較試験による検討~」,2015.04-2018.03(分担)
- 3) 岩永竜一郎:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「学校版協調運動検査の作成に関する研究」, 2015.04-2018.03(分担)
- 4) 森泰親:首都大学東京平成 29 年度傾斜研究費(全学分)学長採択枠「システムデザインで支援するアクセシ ブルスポーツ -東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都大の新しいものつくり貢献 - 」(分担)
- 5) 平成 29 年度 首都大学東京 教育改革推進事業(学長指定課題【A1】部局単位の取組)「OSCE に関する 客観的評価システムの構築」(分担)

社会貢献活動

- 伊藤祐子: 国立障害者リハビリテーションセンター主催研究プロジェクト"ニーズアンドアイディアフォーラム"。
 3,11,13,2015.04-
- 2) <u>伊藤祐子(</u>一般社団法人 東京都作業療法士会 子ども委員会):第51回日本作業療法学会セミナー「多様 化する社会に根ざす発達系の作業療法 ~東京都作業療法士会子ども委員会の取組~」. 2017.09

委員曆

- 1) 東京都教育委員会 専門委員(2017-04-)
- 2) 荒川区教育委員会 学校評議員(2017.04-)
- 3) 日本福祉用具·生活支援用具協会平成 29 年度戦略的国際標準化加速事業 認知機能支援機器国際標準分科会委員(2016-)
- 4) 一般社団法人東京都作業療法士会 子ども委員会委員長(2015.03-)
- 5) 日本発達系作業療法学会 理事(2011.03-)

- 1) Visual Assessable Inspection of Short-term Memory with Eye Tracking. Proceedings of OSA Fall Vision Meeting, 27-27, 2017.09
- 2) A trial of interdisciplinary education to create useful assistive devices for,アジアパシフィック作業療法シンポジウム,2017.10

著書

- 1) 井上薫: 平成 29 年度工業標準化推進事業 戦略的国際標準化加速事業 産業基盤分野に係る国際標準開発活動「地域包括ケアシステムにおける在宅に係るサービス・製品等に付随する課題把握のフィジビリティスタディ」成果報告書.9. 事業実施内容1. 在宅ケア対象者等に関する既存の不便さ等調査の再分類, 一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所, 2018.02
- 2) <u>井上薫</u>:福祉用具シリーズ Vol.22 認知症高齢者の生活に役立つ道具たち-認知症ケアに携わる人へ-.2, P3,4,11,12,26,33(編集委員会委員長), 公益財団法人テクノエバ協会, 2018.03.
- 3) <u>井上薫</u>:福祉用具プランナーテキスト. 第 9 部認知症の理解(視聴覚教材). 9, 第 9 部認知症の理解:, 公益財団法人テクノエイド協会, 2018.03
- 4) 公益財団法人テクノエイド協会編集, 井上薫(分担執筆):福祉用具プランナーテキスト. 第 9 部認知症の理解(テキスト). 9, 第 9 部認知症の理解(P109-116), 公益財団法人テクノエイド協会, 2018.03

- 1) 井上薫,佐々木千寿,矢箟原隆史,近藤智子,米田隆志:ロボットを使用した活動において観察された個人の価値 を高める行為と低める行為の分析 ロボットの有効な活用のために.日本認知症ケア学会誌,2017.04
- 2) 近藤智子,<u>井上薫</u>,李虎奎,米田隆志:ロボットセラピーにおける姿勢解析を用いた評価アプリケーションの開発. 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会,2017.09
- 3) 須山夏加,井上薫,伊藤祐子,國谷昇平:タイ王国のコミュニティーにおけるリハビリテーションサービスと作業療法の現状 技術支援の視点から. 第51回日本作業療法学会抄録集,2017.09
- 4) <u>井上薫</u>,佐々木千寿,矢箟原隆史,米田 隆志:ペット・ロボットを有効に活用するために.. 第 51 回日本作業療法学会抄録集,2017.09
- 5) 矢箟原隆史,<u>井上薫</u>,佐々木千寿,河野光伸:車いす利用者による製品評価と満足度との相関. 第 51 回日本 作業療法学会抄録集, 2017.09
- 6) <u>井上薫</u>:本当に有効な支援機器開発に向けた取組の実践.第 51 回日本作業療法学会 モーニングセミナー 3,2017.09

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>井上薫: 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金(B)「ランダム化比較試験による認知症等を有する高齢者に対するロボットパロの効果」、2016.04-2019.03</u>
- 2) 井上薫:首都大学東京 学部傾斜配分研究費「平成 29 年度学部傾斜配分研究費「生活支援におけるロボットの役割」、2017.04-2018.03
- 3) 高橋良至: 荒川区 荒川区地域産業活性化研究補助金「高齢者のための見守りロボットシステムの開発に関する研究」, 2017.04-2018.03(分担)
- 4) 串山久美子: 学部傾斜配分研究費「平成 29 年度全学傾斜配分研究費「システムデザインで支援するアクセシブルスポーツー- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都大の新しいものつくり貢献」2017.4 2018.3(分担)

社会貢献活動

- 1) 井上薫:J-P-Dネットワーク 世話人. 12,13, 2016.04
- 2) 井上薫:東京都作業療法士会 福祉用具部会委員. 11,12,13, 2012.04
- 3) 井上薫: いたばし福祉用具フェア 2017 「認知症の方に対するロボットセラピー講座」, 2,10, 2017.10.25
- 4) 井上薫:認知症サポーター講座(尾久地区包括センターとの連携による).10,12,13,19.2018.10.26

委員曆

- 1) 日本リハビリテーション工学協会 代議員(2016.04-)
- 2) 日本生活支援工学会 編集委員(2005.04-)
- 3) 東京都作業療法学会 査読委員(2015.04-)
- 4) 日本保健科学学会 編集委員(2008.04-)

その他

 女性セブン取材,介護ロボットの取材であり、コミュニケーションロボットの適用や効果について概説した。, 2017.08.

著書

1) <u>藺牟田洋美</u>: 臨床発達支援の専門性. ②. 生涯発達における臨床発達支援 第9章 成人期における支援:, ミネルヴァ書房, 2018.02

Misc

- 1) <u>藺牟田洋美</u>:外出支援で楽しみの多い生活を ライフレビューで閉じこもり高齢者の心を理解する—閉じこもる理由を理解し、外出につなげる支援を ふれあいケア 全社協:23:16-19、2017.02
- 2) <u>藺牟田洋美</u>: 閉じこもりとの関連から考える精神心理的フレイルと社会的フレイルの研究成果と今後の展望. 日本老年医学会雑誌,54(Suppl.):10-,2017.05.25
- 3) 山崎幸子,<u>藺牟田洋美</u>,増井幸恵,安村誠司:高齢者の閉じこもりをもたらす同居家族の関わりチェックリストの開発. 老年社会科学, 39(3):352-364, 2017.10.20

- 1) 藺牟田洋美: 葛飾区震災復興マニュアル(〈らし・産業編)職員研修, 2017.0127
- 2) <u>藺牟田洋美</u>:「よく聴き、よく尋ねる」 日頃の支援を少し振り返ってみましょう . 傾聴ボランティアダンボの会定 例会(荒川区), 2017.02.16
- 3) 藺牟田洋美:閉じこもりと心身の健康の関連. 荒川区世話人交流会. 2017.03.07
- 4) 藺牟田洋美: 傾聴の効果. ケアマネージャーネットワーク荒川. 2017.03.16
- 5) <u>藺牟田洋美</u>:日本老年学会総会合同シンポジウム 7.フレイル研究の現状及び展望 閉じこもりとの関連から考える精神心理的フレイルと社会的フレイル研究の現状および展望.第 30 回日本老年学会総会シンポジウム,2017,06.15
- 6) 藺牟田洋美:リーダーとしてのコミュニケーション術. 荒川ころばん体操リーダー育成研修, 2017.06.22
- 7) 藺牟田洋美:個性を認め合って楽しい仲間づくりを. 荒川ばん座位体操リーダー育成研修, 2017.06.29
- 8) <u>藺牟田洋美</u>: 仕事と遊び フロー体験からみた発達 . 第 3 回生涯現役社会の実現を考えるシンポジウム (前川ヒトづくり財団), 2017.09.06
- 9) <u>藺牟田洋美</u>: 閉じこもりの成り立ちや特性、および閉じこもり傾向の高齢者等の支援について. 平成 29 年度横 浜市訪問型短期予防サービス従事者研修. 2017.10.12
- 10) 藺牟田洋美:生活に活かす聴き方. 認知症予防教室(荒川区), 2017.12.15
- 11) <u>藺牟田洋美</u>:フレイル(心身の弱まり)予防で生き活きと. 平成 29 年度地域福祉セミナー(横浜市緑区), 2018.02.04
- 12) <u>藺牟田洋美</u>: 中高年期の発達と支援(2) 企業における"生涯現役"社会構築の条件と支援 仕事での遊び・フロー体験・居場所感と生涯現役との関連. 日本発達心理学会第 29 回大会, 2018.03.24

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>藺牟田洋美</u>:日本学術振興会 科学研究費 挑戦的萌芽研究「介護予防から災害弱者へのパラダイム変換-効果的な閉じこもり高齢者支援を目指して-J2016.04-2020.03
- 2) 藤田幸司:日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(C)「高齢期におけるライフイベントのメンタルヘルスおよび外出頻度への影響に関する研究」,2017.04-2020.03(分担)
- 3) 山崎幸子:日本学術振興会 科学研究費「閉じこも)の心理的バリア解消に向けた家族と共に取り組む包括 的支援プログラムの開発」,2016.04-2020.03(分担)
- 4) 森下直貴:日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(B)特設分野 ネオ·ジェロントロジー「老成学」の基盤 構築-〈媒介的共助〉による持続可能社会をめざして」, 2017.04-2019.03(分担)

社会貢献活動

1) <u>藺牟田洋美</u>: 週に何回、外出していますか?"お出かけ"は脱・介護への一歩です.毎日が発見 4 月号 5,6, 2018.03.28

委員曆

- 1) 日本老年臨床心理学会 評議員(2018.03~)
- 2) 日本老年社会科学会 評議員(2015.04-)
- 3) 日本臨床発達心理士会神奈川支部 副支部長(2015.04-)
- 4) 日本老年社会科学会 查読委員(2014.04-)
- 5) 日本保健科学学会 評議員
- 6) 日本老年社会科学会 日本老年社会科学会論文賞評価委員(2016.04-2018.03)

1) 石代敏拓,小林法一,谷村厚子: 通所リハビリテーションにおける OSAII を用いた作業療法プログラムの効果. 作業療法,36(4):405-415,2017.11

著書

1) <u>谷村厚子</u>:標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第 3 版(編集:能登真一,山口昇,玉垣努,新宮尚人,加藤寿宏,松房利憲). 2, 第 5 章 精神機能評価法, III. 精神機能作業療法における観察法と面接法, C 面接の目的と留意点, D 面接の方法, VII. 疾患別の評価事例—C 神経症性障害:482-485, 520-522, 医学書院, 2017.11

講演·口頭発表等

- 1) 相原彩香,谷村厚子:脳卒中を経験した当事者を対象とした我が国の作業療法領域における質的研究の文献 レビュー ~1990 年~2017 年に発表された原著論文を対象として~. 第 27 回日本保健科学学会学術集会, 2017.09
- 2) 荒木瑞穂,<u>谷村厚子</u>: 職場のメンタルヘルス不調の一次予防に関する過去 10 年間の文献研究〜日本語論 文と英語論文の研究内容の比較を通して〜. 第 27 回日本保健科学学会学術集会, 2017.09
- 3) 馬場順子,石井良和,<u>谷村厚子</u>,千葉 由香里:精神障害者の就労に影響を及ぼす主観的認識—勤労者役 割面接(Worker's Role Interview)を使用して—. 第 51 回日本作業療法学会, 2017.09
- 4) 古御門幸奈,谷村厚子:精神科デイケア利用者の価値ある作業の表現を促進する「こころの天気」描画法活用作業療法集団プログラムの試行.第51回日本作業療法学会,2017.09
- 5) KOMOKADO Sachina, <u>TANIMURA Atsuko</u>,: Effects of an occupational therapy group program utilizing the method of "drawing one's inner weather" for psychiatric day care users. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10
- 6) <u>TANIMURA Atsuko</u>, Ishi Yoshikazu: Factorial Validity of a work-life balance scale for users of mental health services. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017.10
- 7) 古御門幸奈,谷村厚子:「こころの天気」描画法活用作業療法集団プログラム実施により生活を肯定的に捉えられるようになった3事例.第5回慢性期リハビリテーション学会,2018.02

競争的資金等の研究課題

1) <u>谷村厚子</u>: 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究 (C)(一般))) 「精神障害をもつ当事者対象ワークライフバランス向上プログラム効果評価システムの構築」, 2015.04-2019.03

著書

- 1) <u>橋本美芽</u>:福祉用具プランナーテキスト 第 9 版. 2, 第 25 部 住宅改造. p425-456, p486-488, 公益財団法 人テクノエイド協会, 2017.06

Misc

- 1) 橋本美芽:認知症高齢者の住宅改修に関するケアマネジャーの意識.地域ケアリング,19(12):80-84, 2017.10
- 2) 橋本美芽:特集·事故は健康·長寿の大敵!その多くは居間で起きている. 建築知識, 60(1):82-83, 2018.01

- 1) <u>橋本美芽</u>,鈴木基恵,成田すみれ: 認知症高齢者の住環境支援に関する専門職の意識 介護支援専門員と 福祉用具専門相談員の調査から. 日本認知症ケア学会誌, 2017.04
- 2) 橋本美芽:住宅改修の基礎知識 環境の見方と移動環境のポイント-. ケアマネット荒川, 2017.05.18
- 3) <u>橋本美芽</u>: 高齢者・障がい者の生活支援としての住まいづくり. 埼玉県作業療法士会地域包括ケアシステムセミナー, 2017.06.15
- 4) 橋本美芽:住宅改修を行う際の基本的な考え方.板橋区高齢者向け住宅改修研修,2017.06.21
- 5) 橋本美芽,鈴木基恵,成田すみれ:認知症高齢者を対象とした介護保険制度の住宅改修と福祉用具に関する福祉用具専門相談員の意識. 日本福祉のまちづくり学会第20回記念全国大会 in 東海, 2017.08.10
- 6) 鈴木基恵,橋本美芽,成田すみれ:認知症高齢者を対象とした介護保険制度の住宅改修と福祉用具に関する要望-介護支援専門員へのアンケートから-. 第32回リハエ学カンファレンス in 神戸, 2017.08.23
- 7) 鈴木基恵,橋本美芽:認知症高齢者の住宅改修に関する介護支援専門員の意識 その2-住宅改修の意義 と難した関する意識 - . 2017 年度日本建築学会大会(中国), 2017.09.03
- 8) <u>橋本美芽</u>,鈴木基恵: 認知症高齢者の住宅改修に関する介護支援専門員の意識 その1-介護保険制度の 住宅改修サービスに関する意識-.2017年度日本建築学会大会(中国),2017.09.03
- 9) <u>橋本美芽</u>:住まいづくりと介護環境~住み続けるための技術的支援~. 東京建築士会, 福祉まちづくり・バリアフリー特別委員会シンポジウム, 2017.09.16
- 10) 太田智之,<u>橋本美芽</u>,伊藤利之:回復期リハビリテーション病棟から自宅退院した者の居住継続と住環境要因に関する検討,第51回日本作業療法学会,2017.09.22
- 11) 橋本美芽:はじめての住宅改修. 第 44 回国際福祉機器展特別セミナー, 2017.09.27
- 12) 太田智之.橋本美芽:回復期リハ病棟退院後の住環境整備の実施状況と移動行動との関連.第 27 回日本保健科学学会学術集会,2017.09.30
- 13) 太田智之.<u>橋本美芽</u>: 障害高齢者の住環境に対する認識と居住継続との関連. 日本公衆衛生学会第 76 回 日本公衆衛生学会学術集会, 2017.10.31
- 14) 橋本美芽:転倒予防の住まいの工夫. 静岡県転倒予防サポーター研修, 2018.01.22

15) <u>橋本美芽</u>: 地域、自宅で生活を続けるためには-安全と自立支援の住まいづくり-. 練馬区パワーアップカレッジ, 2018.02.01

競争的資金等の研究課題

1) <u>橋本美芽:</u>日本学術振興会 学術研究助成基金助成金「認知症高齢者を対象とした住環境整備の支援手法と整備項目に関する研究」, 2015.04-2018.03

委員曆

- 1) 国土交通省 高齢者の住宅の設計・改修に関するガイドライン検討会 委員(2017.11-)
- 2) 国土交通省 認知症高齢者の住まいに関する研究会 委員(2017.11-)
- 3) 横浜市福祉局 横浜市福祉のまちづ()推進会議専門委員会 副委員長(2017.09-)
- 4) 公益社団法人住宅リフォーム・紛争処理センター 増改築相談員テキスト監修委員会委員(2017.06-201803)
- 5) 一般社団法人シルバーサービス振興会 住宅改修に係る専門職の関与のあり方に関する調査研究事業検討 委員会 委員(2017.09-2018.03)
- 6) 荒川区尾久図書館 設計アドバイザー(2017.04-)
- 7) 日本生活支援工学会 評議員(2016.04-)
- 8) 日本建築学会建築計画委員会高齢者・障がい者等居住小委員会 委員(2015.04-)
- 9) 荒川区バリアフリー基本構想推進協議会 委員長(2015.03-)
- 10) 横浜市建築局 横浜市都市計画審議会 委員(2014.11-)
- 11) 日本認知症ケア学会 関東2地域部会 委員(2014.06-)
- 12) 一般社団法人シルバーサービス振興会 介護保険における住宅改修の工程管理認定制度基準認定委員会 (2013.10-)
- 13) 日本リハビリテーション工学協会 代議員(2013.08-)
- 14) 日本リハビリテーション工学協会 SIG 住まいづくり 代表(2008.08-)
- 15) 横浜市福祉局 横浜市福祉のまちづ(り推進会議委員(2006.04-)

1) 石川哲也,横井安芸,宮本礼子:記憶障害の気づきを促す-失敗を再認する課題と心理的ストレスに配慮した関わり方一,神奈川作業療法研究 7.(1):21-26.2017.04

講演·口頭発表等

- 1) <u>宮本礼子</u>,小林隆司,石橋裕: 学内クリニカルクラークシップが作業療法学生の学びに与える影響の質的検討. 第 11 回日本作業療法研究学会学術集会, 2017.06.03
- 2) 北村新,宮本礼子: 脳卒中片麻痺者が生活の中で麻痺手の使用・不使用にいたる過程. 第 51 回日本作業療法学会,2017.09.22
- 3) <u>宮本礼子</u>,小林隆司,石橋裕:学内クリニカルクラークシップが作業療法学生の実習適応能力自己評価と不安 感に与える影響. 第 51 回日本作業療法学会, 2017.09.23
- 4) 石橋裕,小林法一,小林隆司,ボンジェペイター<u>,宮本礼子</u>:訪問型サービス C の対象となった要支援者の IADL の特徴—AMPS, FAI, TMIG-IC による分析—. 第 51 回日本作業療法学会, 2017.09.23
- 5) 宮本礼子: 認知症支援における脳科学の活用. 東京都作業療法士会 認知症アップデート研修, 2017.10.15

競争的資金等の研究課題

- 1) ボンジェペイター: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤 C)「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」, 2016.04-2020.03(分担)
- 2) 伊藤祐子:首都大学東京 傾斜的研究費(競争的資金)「書字能力と作業環境の関連に関する基礎調査」, 2017.04-2018.03(分担)
- 3) <u>宮本礼子</u>: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 C) 「内省能力の変化が意思決定時の脳活動に及ぼす影響」, 2014.04-2018.03

社会貢献活動

- 1) 宮本礼子:日本作業療法学会 学会演題査読委員. 18, 2014.12.01-
- 2) 宮本礼子:日本保健科学学会誌 査読委員. 18, 2014.12-
- 3) 宮本礼子:東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員. 18, 2013.02.01-
- 4) 宮本礼子:東京都作業療法士会 学会演題査読委員. 18, 2012.06.10-
- 5) 宮本礼子:東京都総合高次脳機能障害研究会 幹事. 14,18, 2017.04.07-

その他

1) 認知神経リハビリテーション ベーシックコース東京 1.2017.04.29-30 東京開催の当該講習を受講, 2017.04

放射線学科

- 1) Inoue Kazumasa, <u>Fukushi Masahiro</u>: External dose estimation on expressways and main roads of Fukushima Prefecture after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 5 (1):7-14,2017.06
- 2) Koyama K, Mitsumoto T, Shiraishi T, Tsuda K, Nishiyama A, Inoue K, Yoshikawa K, Hatano K, Kubota K, <u>Fukushi M</u>: Verification of the tumor volume delineation method using a fixed threshold of peak standardized uptake value.Radiological physics and technology,2017.07
- 3) 藤澤真,井上一雅,明上山温, Nguyen DHL 坂野康昌,福士政広: 利尻島・礼文島における環境放射線量 (能)調査. 診療放射線学教育学,5(2):9-13,2017.08
- 4) LE Tan Van, INOUE Kazumasa, FUJISAWA Makoto, ARAI Moeko, <u>FUKUSHI Masahiro</u>: Impact on Absorbed Dose Rate in Air from Asphalt Pavement Associated with Transport Infrastructure Developments on Phu Quoc Island, Vietnam. Radiation Environment and Medicine, 6(2):88-93-,2017.08
- Tachibana A, Santoso MR, Mahmoudi M, Shukla P, Wang L, Bennett M, Goldstone AB, Wang M, Fukushi M, Ebert AD, Woo YJ, Rulifson E, Yang PC:Paracrine Effects of the Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiac Myocytes Salvage the Injured Myocardium.Circulation research,121(6):e22-e36,2017.09
- 6) Hosokawa S, Inoue K, Takahashi Y, Kawakami K, Kano D, Nakagami Y, <u>Fukushi M</u>: Relationship between tumor volume and quantitative values calculated using two-dimensional bone scan images. Radiological physics and technology, 10(4): 496-506, 2017.10
- 7) Owaki Y, Nakahara T, Kosaka T, Fukada J, Kumabe A, Ichimura A, Murakami M, Nakajima K, <u>Fukushi M</u>, Inoue K, Oya M, Jinzaki M:Ra-223 SPECT for semi-quantitative analysis in comparison with Tc-99m HMDP SPECT: phantom study and initial clinical experience.EJNMMI research,7(1):81-,2017.10
- 8) S. Somboon, S. Somboon, K. Inoue, M. Fukushi, H. Tsuruoka, H. Shimizu, S. Kasar, H. Arae, N. Kavasi, S. K. Sahoo: Distribution of uranium in Japanese river waters determined with inductively coupled plasma mass spectrometry. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 2018.01.01
- 9) Watanabe Takara, Enomoto Ryoji, Muraishi Hiroshi, Katagiri Hideaki, Kagaya Mika, <u>Fukushi Masahiro</u>, Kano Daisuke, Satoh Wataru, Takeda Tohoru, Tanaka Manobu M., Tanaka Souichi, Uchida Tomohisa, Wada Kiyoto, Wakamatsu Ryo: Development of an omnidirectional gamma-ray imaging Compton camera for low-radiation-level environmental monitoring. JAPANESE JOURNAL OF APPLIED PHYSICS,57(2),2018.02
- 10) Yamaguchi S, Wagatsuma K, Miwa K, Ishii K, Inoue K, <u>Fukushi M</u>:Bayesian penalized-likelihood reconstruction algorithm suppresses edge artifacts in PET reconstruction based on point-spread-function. Physica medica: PM: an international journal devoted to the applications of physics to medicine and biology: official journal of the Italian Association of Biomedical Physics (AIFB), 47():73-79, 2018.03

著書

- 1) 齋藤秀敏,福士政広,藤﨑達也,布施拓,橋本光康,浦橋信吾,入船寅二,井上一雅,三枝健二:改訂新版 放射線機器学(II)- 放射線治療機器·核医学検査機器-,コロナ社,2017,04,28
- 2) 診療放射線技師 イエロー・ノート 臨床編,メジカルビュー社,2017.08.03
- 3) 診療放射線技師 ブルー・ノート 基礎編メジカルビュー社、2017.08.03
- 4) 小倉泉: 医用工学 (診療放射線技師 スリム・ベーシック),メジカルビュー社,2018.02.03
- 5) 放射化学(診療放射線技師 スリム・ベーシック),メジカルビュー社,2018.03.03
- 6) 第2種ME技術実力検定試験マスター・ノートメジカルビュー社,2018.03.03
- 7) 福士政広: 放射化学.メジカルビュー社,2018
- 8) 福士政広: 医用工学.メジカルビュー社,2018.

Misc

- 1) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,相良裕亮,加納大輔,中神佳宏,須崎勝正,<u>福士政広</u>:FDG-PET/CT 臨床画像に おける散乱線含有率の評価. 核医学技術,37(予稿集):467-467,2017.09.04
- 2) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,須崎勝正,<u>福士政広</u>: モンテカルロシミュレーションを用いた FDG-PET/CT 臨床画像における散乱フラクションの推定. 核医学技術,37(予稿集):467-467,2017.09.04
- 3) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,河上一公,福士政広:モンテカルロシミュレーションを用いた 骨シンチグラフィにおける2次元定量値の精度評価.核医学技術,37(予稿集):479-479,2017,09.04
- 4) 近藤亮太郎,村石浩,榎本良治,渡辺宝,加賀谷美佳,片桐秀明, 内田智久,加納大輔 武田徹,田中聡一,田中真伸,福士政広,吉田龍生,和田清人:高角度分解能コンプトンカメラ(γl)開発のためのカウンターコンポーネントの評価.日本物理学会講演概要集(CD-ROM),72(2):ROMBUNNO.15oS35-4-,2017.09.25
- 5) 渡辺宝,村石浩,榎本良治,加賀谷美佳,片桐秀明,内田智久,加納大輔,近藤亮太郎,武田徹,田中聡一,田中 真伸,福士政広,吉田龍生,和田清人:結晶配置の対称性を考慮した高感度オールスカイガンマ線コンプトンカメ ラの開発.日本物理学会講演概要集(CD-ROM),72(2):ROMBUNNO.15aS35-3-,2017.09.25
- 6) 蒲地雄大,西村まゆみ,今岡達彦,臺野和広,西村由希子,高畠賢,森山ひとみ,鶴岡千鶴,井上一雅,福士政広, 島田義也,柿沼志津子:乳腺における中性子線誘発 DNA 損傷応答及び発がんの年齢依存性.量子科学技 術研究開発機構資料(Web),(4):53-55 (WEB ONLY)-,2017,09
- 7) 高畠賢,臺野和広,今岡達彦,今岡達彦,西村まゆみ,小久保年章,森山ひとみ,森山ひとみ,西村由希子,<u>福士政</u><u>広</u>,柿沼志津子,島田義也:放射線被ば〈年齢で変化する妊娠によるラット乳がんの予防効果.日本放射線影響学会大会抄録(Web),60th:118-,2017.10.25
- 8) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,高畠賢,西村由希子,森岡孝満,井上一雅,島田義也,<u>福士政広</u>,柿沼志津子: γ線または中性子線誘発ラット乳がんにおけるサブタイプ分類とゲノム変異の解析.日本放射線影響学会大 会抄録(Web),60th:119-,2017,10.25
- 9) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,西村由希子,鶴岡千鶴,尚奕,山崎隼輔,井上一雅,<u>福士政広</u>, 柿沼志津子, 島田義也:放射線初期応答:幼若期エンリッチメント環境がもたらす効果. 日本放射線影響学会大会抄録 (Web),60th:110-,2017.10.25
- 10) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,福士政広: モンテカルロ法による骨シンチグラフィの模擬. 診療放射線学教育学,5(2):46-46,2017.12

- 11) 寉岡大,井上 一雅, Le Van Tan,荒井萌子,藤澤真,福士政広:5年間にわたる東京都スギ花粉中放射性セシウム濃度の変化.診療放射線学教育学,5(2):45-45,2017.12
- 12)藤澤真,<u>福士政広</u>,井上一雅,荒井萌子:福島第一原子力発電所事故後の河川水系における核分裂生成物の動態調査. 診療放射線学教育学,5(2):44-44,2017.12
- 13) 荒井萌子,井上一雅,藤澤真,福士政広:福島第一原子力発電所事故後における栃木県の空間線量率.診療放射線学教育学,5(2):43-43,2017.12
- 14)藤澤真,井上一雅,明上山温, Nguyen Dai Hung Linh,坂野康昌,<u>福士政広</u>:利尻島·礼文島における環境放射線量(能)調査. 診療放射線学教育学.5(2):9-13.2017.12

- 1) 山口正太郎,我妻慧,三輪建太,石井賢二,井上一雅,福士政広:PET 正則化逐次近似再構成法における PSF 補正エッジアーチファクトの抑制効果と放射能濃度比との関係. 第 73 回日本放射線技術学会総会学術大会,2017,04.07
- 2) 大鷹豊,島添健次,小山晃広,三好 寿顕,飯本武志,高橋浩之,井上一雅,福士政広:酸化物半導体の X 線耐性の基礎研究. 第 64 回応用物理学会春季学術講演会,2017.04
- 3) Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Nishimura M, Nishimura Y, Morioka T, Kakinuma S, Inoue K, <u>Fukushi M</u>, Shimada Y.:Genomic alterations and subtypes of rat mammary carcinomas induced by gamma-rays or neutrons. PTCOG 56 Annual Conference, 2017.05.18
- 4) Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Nishimura M, Nishimura Y, Morioka T, Kakinuma S, Inoue K, <u>Fukushi M</u>, Shimada Y.:Genomic alterations and subtypes of rat mammary carcinomas induced by gamma-rays or neutrons. PTCOG 56 Annual Conference, 2017.05.18
- 5) Yudai Kamochi1, 2, Tatsuhiko Imaoka1, Kazuhiro Daino1, Ayaka Hosoki1, Mayumi Nishimura1, Yukiko Nishimura1, Masaru Takabatake1, Shizuko Kakinuma1, Masahiro Fukushi2, Yoshiya Shimada1: Age-dependent response of the rat mammary gland to γ rays and fast neutrons before and after puberty. PTCOG 56 Annual Conference, 2017.05.19
- 6) Yudai Kamochi1, 2, Tatsuhiko Imaoka1, Kazuhiro Daino1, Ayaka Hosoki1, Mayumi Nishimura1, Yukiko Nishimura1, Masaru Takabatake1, Shizuko Kakinuma1, Masahiro Fukushi2, Yoshiya Shimada1: Age-dependent response of the rat mammary gland to γ rays and fast neutrons before and after puberty. PTCOG 56 Annual Conference, 2017.05.19
- 7) 横溝真哉,井上一雅,<u>福士政広</u>,森岡孝満,西村まゆみ,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントは放射線影響を抑制するか―条件設定および基礎データの構築―. 日本放射線技術学会第 71 回東京支部春期学術大会,2017,05,20
- 8) 山本周平,井上一雅,福士政広:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故後の土壌中放射能濃度.日本放射線技術学会第71回東京支部春期学術大会,2017.05.20
- 9) 増田翔,井上一雅,<u>福士政広</u>:三宅島における環境放射線(能)調査. 日本放射線技術学会第 71 回東京支 部春期学術大会,2017.05.20
- 10) 塚野遼,井上一雅,福士政広:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故由来の空間線量率の推移.日本放射線技術学会第71回東京支部春期学術大会,2017.05.20
- 11)藤澤真,荒井萌子,井上一雅,福士政広:ベトナムフーコック島における環境放射線量の測定.日本放射線技術学会第71回東京支部春期学術大会,2017.05.20
- 12) 片岡萌,井上一雅,<u>福士政広</u>: 荒川における希土類元素の濃度調査. 日本放射線技術学会第 71 回東京支 部春期学術大会,2017.05.20

- 13) 横溝真哉,井上一雅,<u>福士政広</u>,森岡孝満,西村まゆみ,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントは放射線影響を抑制するか―条件設定および基礎データの構築―. 日本放射線技術学会第 71 回東京支部春期学術大会,2017,05,20
- 14) 高畠賢,今岡達彦,臺野和広,西村由希子,ショウラー恵,細木彩夏,西村まゆみ,柿沼志津子,<u>福士政広</u>,島田義也:Differential effects of pregnancy on rat mammary carcinoma induction by pre- and post-pubertal radiation exposures. 第 15 回幹細胞シンポジウム,2017.05
- 15) Yamaguchi S, Wagatsuma K, Miwa K, Ishii K, Inoue K, <u>Fukushi M</u>: Suppression of edge artifacts using a Bayesian penalized-likelihood reconstruction algorithm for oncological PET/CT imaging. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 16) Owaki Y, Nakahara T, Inoue K, <u>Fukushi M</u>, Nakajima K: Comparison of Step-and-Shoot and Continuous Bed Motion Acquisitions
 Using an Oscillating Phantom. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 17) Owaki Y, Nakahara T, Murakami M, Inoue K, <u>Fukushi M</u>, Nakajima K: The Use of High- Energy Collimator for Ra-223 Dichloride Imaging: Comparison with Medium- Energy Collimator. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 18) 大鷹豊,島添健次,小山晃広,三好寿顕,飯本武志,高橋浩之,井上一雅,福士政広:酸化物半導体のX線照射による性能への影響. 第54回アイソトープ·放射線研究発表会,2017.06.20
- 19) 横溝真哉,横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,山崎隼輔, SHANG Yi,鶴岡千鶴,西村由希子,井上一雅,福士政広, 柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントによる放射線影響に対する抑制効果の評価. 第54回アイソトープ・ 放射線研究発表会,2017.06.20
- 20) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,西村由希子,高畠賢,西村まゆみ,森岡孝満,井上一雅,柿沼志津子,<u>福士政広</u>, 島田義也:137Csγ線あるいは 2 MeV 速中性子線の被ば〈により誘発されるラット乳がんの分子生物学的特徴. 第 54 回アイソトープ·放射線研究発表会,2017.06.20
- 21) Le VT, Inoue K, Tsuruoka H, <u>Fukushi M</u>: Absorbed dose rate in air in the South Central and Southern of Viet Nam. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会,2017.06.29
- 22)藤澤真,井上一雅,荒井萌子,福士政広:福島第一原子力発電所事故後における周辺河川の環境動態調査. 日本保健物理学会第50回研究発表会,2017.06.29
- 23) 荒井萌子,井上一雅,藤澤真,福士政広:福島第一原子力発電所事故後の栃木県全域における空間線量率調査.日本保健物理学会第50回研究発表会.2017.06.29
- 24) Tsuruoka H, Inoue K, Arai M, Le VT, Fujisawa M, <u>Fukushi M</u>: A half decade variations of cesium concentrations in cedar pollen at Ome city Tokyo. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会,2017.06.29
- 25) 阪間稔,藤本憲市,井上一雅,福士政広,荒井萌子,今城裕介,福原隆雄,松浦貢,矢島辰雄,松本絵里佳:PHITS と DLNN を組み合わせた新しい放射能強度決定の試み:In-situ 多チャンネル放射能濃度深度分布測定器の開発. 日本保健物理学会第50回研究発表会.2017.06.29
- 26) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,西村由希子,高畠賢,西村まゆみ,森岡孝満,井上一雅,柿沼志津子,<u>福士政広</u>,島田義也: ⟨sup⟩137⟨/sup⟩ Cs γ 線あるいは 2MeV 速中性子線の被ば⟨により誘発されるラット乳がんの分子生物学的特徴.アイソトープ・放射線研究発表会要旨集,54th:41-,2017.06.20
- 27) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,山崎隼輔, SHANG Yi,鶴岡千鶴,西村由希子,井上一雅,<u>福士政広</u>,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントによる放射線影響に対する抑制効果の評価. アイソトープ·放射線研究発表会要旨集,54th:50-,2017.06.20
- 28) 大鷹豊,島添健次,小山晃広,三好寿顕,飯本武志,高橋浩之,井上一雅,福士政広:酸化物半導体のX線照射による性能への影響.アイソトープ·放射線研究発表会要旨集,54th:75-,2017.06.20

- 29)藤澤真,井上一雅,荒井萌子,<u>福士政広</u>:福島第一原子力発電所事故後における周辺河川の環境動態調査. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集,50th:138-,2017.06
- 30) 荒井萌子,井上一雅,藤澤真,福士政広:福島第一原子力発電所事故後の栃木県全域における空間線量率 調査.日本保健物理学会研究発表会講演要旨集,50th:136-,2017,06
- 31) 阪間稔,藤本憲市,井上一雅,福士政広,荒井萌子,今城裕介,福原隆宏,松浦貢,矢島辰雄,松本(川口)絵里 佳:PHITS と DLNN を組み合わせた新しい放射能強度決定の試み:ln-situ 多チャンネル放射能濃度深度分布測 定器の開発. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集,50th:162-,2017.06
- 32) Yamaguchi S, Wagatsuma K, Miwa K, Ishii K, Inoue K, <u>Fukushi M</u>: Suppression of edge artifacts using a Bayesian penalized-likelihood reconstruction algorithm for oncological PET/CT imaging. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 33) Owaki Y, Nakahara T, Inoue K, <u>Fukushi M</u>, Nakajima K: Comparison of Step-and-Shoot and Continuous Bed Motion Acquisitions
 Using an Oscillating Phantom. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 34) Owaki Y, Nakahara T, Murakami M, Inoue K, <u>Fukushi M</u>, Nakajima K: The Use of High- Energy Collimator for Ra-223 Dichloride Imaging: Comparison with Medium- Energy Collimator. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 35) 大鷹豊,島添健次,小山晃広,三好寿顕,飯本武志,高橋浩之,井上一雅,福士政広:酸化物半導体のX線照射による性能への影響.第54回アイソトープ·放射線研究発表会,2017.06.20
- 36) 横溝真哉,横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,山崎隼輔, SHANG Yi,鶴岡千鶴,西村由希子,井上一雅,福士政広, 柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントによる放射線影響に対する抑制効果の評価. 第54回アイソトープ・ 放射線研究発表会,2017.06.20
- 37) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,西村由希子,高畠賢,西村まゆみ,森岡孝満,井上一雅,柿沼志津子,福士政広,島田義也:137Cs γ線あるいは 2 MeV 速中性子線の被ばくにより誘発されるラット乳がんの分子生物学的特徴.第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会,2017.06.20
- 38) Le VT, Inoue K, Tsuruoka H, <u>Fukushi M</u>: Absorbed dose rate in air in the South Central and Southern of Viet Nam. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会,2017.06.29
- 39) 藤澤真,井上一雅,荒井萌子,<u>福士政広</u>:福島第一原子力発電所事故後における周辺河川の環境動態調査. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会,2017.06.29
- 40) 荒井萌子,井上一雅,藤澤真,<u>福士政広</u>:福島第一原子力発電所事故後の栃木県全域における空間線量率 調査. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会,2017.06.29
- 41) Tsuruoka H, Inoue K, Arai M, Le VT, Fujisawa M, <u>Fukushi M</u>: A half decade variations of cesium concentrations in cedar pollen at Ome city Tokyo. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会,2017.06.29
- 42) 阪間稔,藤本憲市,井上一雅,福士政広,荒井萌子,今城裕介,福原隆雄,松浦貢,矢島辰雄,松本絵里佳:PHITS と DLNN を組み合わせた新しい放射能強度決定の試み:ln-situ 多チャンネル放射能濃度深度分布測定器の開発. 日本保健物理学会第50回研究発表会.2017.06.29
- 43) 高畠賢,今岡達彦,臺野和広,西村由希子,ショウラー恵,細木彩夏,西村まゆみ,柿沼志津子,<u>福士政広</u>,島田義也:Differential effects of pregnancy on rat mammary carcinoma induction by pre- and post-pubertal radiation exposures. 第 15 回幹細胞シンポジウム,2017.05
- 44) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,白川浩二,清野守央,須崎勝正,<u>福士政広</u>:FDG-PET/CT 臨床画像における散乱線含有率の評価指標の提案. 東北 FDG-PET 研究会,2017.07.29
- 45) 荒井萌子,井上一雅,藤澤真,福士政広:福島第一原子力発電所事故後における栃木県の空間線量率. 第 11 回日本診療放射線学教育学会学術集会,2017.08.05

- 46) 寉岡大,井上一雅,福士政広:5年間にわたる東京都スギ花粉中放射性セシウム濃度の変化. 第11回日本診療放射線学教育学会学術集会,2017.08.05
- 47) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,福士政広: モンテカルロ法による骨シンチグラフィの模擬. 第11 回日本診療放射線学教育学会学術集会,2017.08.05
- 48)藤澤真,井上一雅,福士政広:福島第一原子力発電所事故後の河川水系における核分裂生成物の動態調査. 第11回日本診療放射線学教育学会学術集会,2017.08.05
- 49) 高畠賢,臺野和広,今岡達彦,西村まゆみ,森岡孝満,小久保年章,森山ひとみ,西村由希子,金小海,山田裕,福 <u>士政広</u>,島田義也,柿沼志津子:妊娠によるラット乳がんの予防効果は放射線被ば〈時年齢に依存する. 第 32 回発癌病理研究会,2017.08
- 50) Somboon S, Kavasi N, Sahoo SK, Arae H, Inoue K, <u>Fukushi M</u>:Radiocesium distribution in river system environment (either around or surrounding: select one) evacuated zone of Fukushima. 第 19 回環境放射能研究会,2018.03.13
- 51) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,柳原啓見,山崎隼輔,尚奕,鶴岡千鶴,西村由希子,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也:エンリッチメント環境が消化管クリプトにおける放射線初期応答に及ぼす影響. 平成 29 年度若手放射線生物学研究会,2017.09.02
- 52) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,西村由希子,高畠賢,西村まゆみ,森岡孝満,井上一雅,柿沼志津子,<u>福士政広</u>, 島田義也:γ線·中性子線誘発ラット乳がんの免疫組織化学的特徴及び DNA コピー数変化の解析. 平成 29 年度若手放射線生物学研究会,2017.09.02
- 53) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,山崎隼輔,尚奕,鶴岡千鶴,西村由希子,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也:エンリッチメント環境の放射線誘発消化管腫瘍に対する抑制効果.日本宇宙生物科学会第31回大会,2017,09,20
- 54) Development of a low-cost-high-sensitivity Compton camera (γ I) and its application for environmental monitoring medical facilities. Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 2017.09
- 55) 渡辺宝,村石浩,榎本良治,加賀谷美佳,片桐秀明,内田智久,加納大輔,近藤亮太郎,武田徹,田中聡一,田中真伸,福士政広,吉田龍生,和田清人:結晶配置の対称性を考慮した高感度オールスカイガンマ線コンプトンカメラの開発.日本物理学会 2017 年秋季大会,2017.09
- 56) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,須崎勝正,福士政広: モンテカルロシミュレーションを用いた FDG-PET/CT 臨床画像における散乱フラクションの推定. 第 37 回日本核医学技術学会総会学術大会,2017.10.05
- 57) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,相良裕亮,加納大輔,中神佳宏,白川浩二,清野守央,山本裕樹,須崎勝正,福 <u>士政広</u>:FDG-PET/CT 臨床画像における散乱線含有率の評価.第 37 回日本核医学技術学会総会学術大 会,2017.10.05
- 58) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,河上一公、加納大輔,中神佳宏,福士政広:モンテカルロシミュレーションを用いた骨シンチグラフィにおける2次元定量値の精度評価.第37回日本核医学技術学会総会学術大会,2017,10.06
- 59) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,高畠賢,西村由希子,西村まゆみ,森岡孝満,井上一雅,島田義也,福士政広, 柿沼志津子:γ線または中性子線誘発ラット乳がんにおけるサブタイプ分類とゲノム変異の解析.日本放射線 影響学会第60回大会,2017.10.25
- 60) Radiation Effects in IGZO Semiconductor Based Switch Used for Flat Panel Detector.. 2017 IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference, 2017.10

61) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,西村由希子,鶴岡千鶴,尚奕,柳原啓見,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントにおける APCmin/+マウスへの消化管腫瘍抑制効果. がんプロ大学院生研究発表会,2018.01.06

競争的資金等の研究課題

- 1) <u>福士政広</u>: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「ポータブル α 線スペクトルメータの開発」、2018.04-2022.03
- 2) 福士政広:医健エンジニアリング株式会社 共同研究助成「放射線防護材の開発」、2016.04-2021.03
- 3) <u>福士政広</u>: 首都大学東京 傾斜的研究費「大都市河川の希土類元素がリニウム汚染の実態と環境負荷軽減法の提案 1,2018,04-2019,03
- 4) 井上一雅:独立行政法人日本学生支援機構 帰国留学生研究指導事業「自然放射線に起因したベトナム 国民の被ば〈線量の算定 1,2018.04-2019.03(分担)
- 5) 井上一雅: 首都大学東京 グローバル・コミュニケーション・キャンプ 「高放射線地域における次世代グローバル研究者育成協働プログラム」、2018.04-2019.03(分担)
- 6) 井上一雅:とうきゅう環境財団 研究助成金「多摩川水域における希土類元素の存在分布とその起源に関する 研究」、2017.04-2019.03(分担)
- 7) 井上一雅:環境省 環境研究総合推進費「多チャンネル放射能深度分布測定器の実用化と In-situ 測定法の確立」、2016.04-2019.03(分担)
- 8) 井上一雅:日本生命財団 環境問題助成金「高齢社会の進展に伴う環境中の希土類元素分布と環境影響」,2017.10-2018.09(分担)
- 9) <u>福士政広</u>: 首都大学東京 傾斜的研究費「誘導結合プラズマ質量分析(ICP-MS)による希土類元素の存在 分布と環境影響」、2017.04-2018.03

受賞

- 1) <u>福士政広</u>:errestrial Radioisotopes in Environment International Conference on Environmental Protection 2018 Best PhD Student Poster Award「J,2018.03
- 2) <u>福士政広</u>:第 60 回日本放射線影響学会 優秀演題発表賞「放射線被ば〈年齢で変化する妊娠によるラット 乳がんの予防効果」、2017.10
- 3) <u>福士政広</u>:日本宇宙生物科学会第 31 回大会 優秀発表賞「エンリッチメント環境の放射線誘発消化管腫瘍に対する抑制効果」、2017.09
- 4) <u>福士政広</u>: 第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞「原子力発電施設等の放射線業務 従事者を対象とする低線量放射線による人体への影響に関する疫学的調査」,2017.06
- 5) <u>福士政広</u>: 日本放射線技術学会東京支部 新人奨励賞「. 茨城県全域における福島第一原子力発電所事 故後の空間線量率」,2017.05

委員曆

- 1) 特定 NPO 日本エステティック機構 理事長(2011.06-)
- 2) 一般財団法人 日本医学物理士会 代表理事(2011.04-)
- 3) 日本診療放射線学教育学会 会長(2006-)
- 4) 国際協力機構技術専門委員
- 5) 日本保健科学学会 理事
- 6) 一般財団法人 医学物理士認定機構 理事
- 7) 日本核医学専門技師認定機構 専門委員
- 8) 放射線防護連絡協議会 幹事 企画委員
- 9) 日本エステティック振興協議会 運営委員

1) Hiroki Saito, Shinji Abe, Izumi Ogura, Tsuyoshi Kobayashi, Takuji Tsuchida, Toru Nergishi. A characteristic evaluation of transparent detector. The jounal of Japan Academy of Health Sciences, 20(1):29-36, 2017.06

著書

1) 小倉泉: 改訂第2版 診療放射線技師スリム・ベーシック 医用工学.1,メジカルビュー社,2018.02

講演·口頭発表等

- 1) Tsuyoshi Kobayashi,Shinji Abe,Izumi Ogura: A study of Half-Value Layer and Average Glandular Dose Measurement by the Simple Dosimeter Using a Photodiode,. The 73th AnnualMeeting of the Japanese Society of Radiological Technology, 2017.04.13
- 2) 小林千香子,小倉泉,根岸徹 他:乳房用簡易形線量計における一般撮影用検出素子の適用.日本放射線技術学会東京支部第71回春期学術大会,2017.05.20
- 3) 村社真紀,小倉泉,根岸徹 他:乳房用簡易形線量計による半価層測定に関する検討.日本放射線技術学会東京支部第71回春期学術大会,2017.05.20
- 4) 飯田紗生子,小倉泉,根岸徹 他:簡易形線量計における半価層測定に関する検討.日本放射線技術学会東京支部第71回春期学術大会,2017.05.20
- 5) 小倉泉:簡易線量計の概要講義および作成指導. 第4回 簡易線量計作成セミナー(九州大学), 2017.09.09
- 6) 小倉泉: 簡易線量計の概要講義および作成指導. 第 5 回 簡易線量計作成セミナー(首都大学東京), 2017.09.16
- 7) 徳留礼佳,三宅博之,<u>小倉泉</u> 他:ディジタル撮影システムにおける AEC 管理法の検討. 日本放射線技術学会 第 45 回秋季学術大会, 2017.10.20
- 8) 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:日常管理を目的とした簡易形線量計における利用範囲の拡大.日本放射線技術 学会第45回秋季学術大会,2017.10.21

競争的資金等の研究課題

1) 小倉泉:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「マルチスライス形へリカル X 線 CT 装置の教育用模擬システムの開発と学生実験への導入」, 2015.04-2018.03

委員曆

- 1) 厚生労働省 診療放射線技師国家試験委員(2015.09-)
- 2) 日本放射線技術学会 学術委員会(2015.05-)

- 1) Katayose T, <u>Saitoh H</u>, Igari M, Chang W, Hashimoto S, Morioka M: Changes in deviation of absorbed dose to water among users by chamber calibration shift. Japanese journal of radiology, 35(7): 389-397, 2017.07
- 2) Hariu M, Suda Y, Chang W, Myojoyama A, <u>Saitoh H</u>: Contrast enhancement for portal images by combination of subtraction and reprojection processes for Compton scattering. Journal of applied clinical medical physics, 18(6): 71-78, 2017.11
- 3) Chang W, Koba Y, Katayose T, Yasui K, Omachi C, Hariu M, <u>Saitoh H</u>: Correction of stopping power and LET quenching for radiophotoluminescent glass dosimetry in a therapeutic proton beam. Physics in medicine and biology, 62(23): 8869-8881, 2017.11
- 4) Hashimoto S, Fujita Y, Katayose T, Mizuno H, <u>Saitoh H</u>, Karasawa K: Field-size correction factors of a radiophotoluminescent glass dosimeter for small-field and intensity-modulated radiation therapy beams. Medical physics, 45 (1): 382-390, 2018.01

著書

1) <u>齋藤秀敏</u>,福士政広,藤﨑達也,布施拓,橋本光康,浦橋信吾,入船寅二,井上一雅,三枝健二: 改訂新版 放射線機器学(II) -放射線治療機器·核医学検査機器-, コロナ社, 2017.04.28

講演·口頭発表等

- 1) 千葉貴仁,齊藤秀敏,明上山温: 並列計算を用いたボクセルベースボルツマン輸送方程式による光子輸送シミュレーションの高速化. 第 113 回日本医学物学会学術大会, 2017.04
- 2) 江面崇智,明上山温,齊藤秀敏,唐澤久美子,羽生裕二: 放射線治療のための患者認識システムの開発. 第 113 回日本医学物理学会学術大会, 2017.04
- 3) 高橋侑大,橘英伸,明上山温,<u>齋藤秀敏</u>: 全身照射に対する強度変調回転照射における MLC コントロール方法 の違いの影響. 第 113 回日本医学物理学会学術大会, 2017.04
- 4) 明上山温,齊藤秀敏: Electron beam control of linear accelerator using electromagnet. 第 8 回日韓合同医学物理学 術大会, 2017.09
- 5) 江面崇智,齊藤秀敏,唐澤久美子,羽生裕二,明上山温: Development of face authentication system for radiation therapy. 第8回日韓合同医学物理学術大会,2017.09
- 6) 高橋侑大,橘英伸,<u>齋藤秀敏</u>,明上山温: Investigation for suitable beam arrangement according to the body size in total body irradiation using volumetric modulated arc therapy (VMAT-TBI). 第 8 回日韓合同医学物理学術大会, 2017.09
- 7) 入山絵梨,片寄哲朗,<u>齋藤秀敏</u>: Stem perturbation correction factor for beam quality conversion factor of cylindrical ionization chambers in megavoltage photon beam. 第8回日韓合同医学物理学術大会,2017.09

競争的資金等の研究課題

1) <u>齋藤秀敏</u>: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「リニアック X 線による新たな電離箱線量計校正法と水吸収線量計測に関する研究」, 2014.04-2018.03

- 1) <u>Takako Shirakawa</u>, Akira Furukawa, Linh Dai Hung Nguyen, Norio Nakata, Tomoyuki Ohta. Quantitative index for diagnosis of thyroid disease using pulsatile flow detection ultrasound (PFD-US) IJPMR (international Journal of Pharmaceutical and Medical Research) 5(1): 8-11:2017
- 2) Tomoyuki Ohta, Makiko Nishioka, Norio Nakata, Kunihiko Fukuda, <u>Takako Shirakawa</u>. Significance of perithyroidal lymph nodes in benign thyroid disease. Journal of Medical Ultrasonics 45(1): 81-87: 2018

書

1) 白川崇子,古川顕,太田智行.「初療診察時、超音波で押さえるべき所見」腹部救急疾患 画像診断とイン ターベンション治療、水沼仁孝、古川顕編集メジカルビュー社 2018.02

講演·口頭発表等

- 1) 第 46 回 Rad-US 学術講演会(東京),港区教育講演「甲状腺の救急疾患(クリーゼなど)」.2017.06.03
- 2) 第39回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(大宮),出題と解説「ウルトラサウンドクイズ(基礎・体表)」 2017.09.24
- 3) 日本保健科学学会総会(荒川キャンパス),シンポジウム「骨粗鬆の診断と治療」2017.09.30
- 4) WFUMB (World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology) (台湾·台北),「Breast Ultrasound Examination Combining B-Mode, Color Doppler and Elastography -JABTS BC-04Study Part5-JTohno E, Shirakawa T,2017.10.13-17
- 5) WFUMB (World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology) (台湾·台北)「Color Doppler Findings of Malignant Breast
 Masses -JABTS BC-04 Study Part2-J,Okuno T, <u>Shirakawa T</u>,2017.10.13-17
- 6) WFUMB (World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology) (台湾·台北)「Significance of Perithyroidal lymph Nodes in Benign Thyroid Disease」,Ohta T, Shirakawa T,2017.10.13-17
- 7) MCR 2017 (Mongolian Congress of Radiology) (モンゴル ウランバートル),「Sonographic Differential Diagnosis of Lymphadenopathy」,2017.09.16
- 8) 日本放射線科専門医会・医会 国際交流(ベトナム フエ) 「How to use and setup color and power Doppler ultrasound」、2018.03.24
- 9) 日本放射線科専門医会·医会 国際交流(ベトナム ホーチミン),「How to use and setup color and power Doppler ultrasound」,2018.03.26

競争的資金等の研究課題

1) 「超音波検査による表在臓器疾患の鑑別診断、AIを用いた画像診断補助システムの開発」

- 月本洋,松原剛文,菊池吉晃,<u>妹尾淳史</u>:交差検証法を用いた fMRI データ解析法. 電子情報通信学会論 文誌,100(4):570-579 (WEB ONLY)-,2017.04
- 2) <u>妹尾淳史</u>,原寛美,上田亮,熊谷大樹: SPM による DAI·MTBI 鑑別診断への挑戦. Journal of CLINICAL REHABILITATION, 26(8):769-775, 2017.08
- 3) Yamada N, Ueda R, Kakuda W, Momosaki R, Kondo T, Hada T, Sasaki N, Hara T, <u>Senoo A</u>, Abo M:Diffusion Tensor Imaging Evaluation of Neural Network Development in Patients Undergoing Therapeutic Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation following Stroke. Neural plasticity, 2018(ID 3901016):1-8, 2018.03

Misc

- 1) 原寛美,<u>妹尾淳史</u>: 高次脳機能障害診療におけるコネクトーム解析による DAI·MTBI 鑑別診断の検討. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 54(Supplement): S1292(J-STAGE)-5, 2017.05
- 2) Sho Mitomo, Hideyuki Usa, Masafumi Hata, Daisuke Ogawa, <u>Atsushi Senoo</u>, Hitoshi Takei: SEQUENTIAL CHANGE IN MUSCLE ACTIVITY OF HIP ABDUCTOR MUSCLES AFTER HIP ABDUCTION EXERCISE USING MAGNETIC RESONANCE IMAGING T2 VALUES. World Confederation for Physical Therapy, 231-231, 2017.06
- 3) Masashi Suzuki, <u>Atsushi Senoo</u>: Development of anisotropic phantom for tensor imaging Determining wood speies of materials.. 第45回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 339-339, 2017.09
- 4) Atsushi Kondo, Masashi Suzuki, Taishi Unezawa, Shinichi Watanabe, Tomio Yamasaki, <u>Atsushi Senoo</u>, Mamoru Niitsu: DIXON 法による手関節プロトン密度強調画像に関する基礎的検討. 第45回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 379-379, 2017.09
- 5) Ryo Ueda, Naoki Yamada, Masahiro Abo, <u>Atsushi Senoo</u>: 脳卒中後の上肢麻痺を対象とした運動機能改善と脳溝像の相関解析:損傷の程度、皮質厚保の評価. 第45回日本磁気共鳴医学会大会抄録集,():351-351, 2017.09
- 6) Mika Mori, Shigehide Kuhara, Kuninori Kobayashi, Masahisa Yamada, <u>Atsushi Senoo</u>:臨床用 MR 装置を用いた出土木材非破壊的年輪測定のための超高解像度 MRI(u-HR-MRI)の基礎的検討. 第45回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 338-338, 2017.09
- 7) 飯村浩,鈴木一史,<u>妹尾淳史</u>: 脳 CT Perfusion におけるスキャン間隔が解析結果に与える影響(シミュレーション実験). 日本放射線技術学会雑誌,73(9):926-926,2017.09
- 8) 近藤敦之,鈴木政司,采澤大志,渡部進一,山崎富雄,<u>妹尾淳史</u>,新津守:手関節 MRI プロトン密度強調画像に おける脂肪抑制方法の比較検討. 日本放射線技術学会雑誌, 73(9):932-933, 2017.09
- 9) 若山季樹,井田正博,村田勝俊,小野寺聡之,植田貴司,川上史晃,<u>妹尾淳史</u>,田部井照美:SW 撮像により得られた画像を利用した QSM についての検討. 日本放射線技術学会雑誌, 73(9):968-969, 2017.09
- 10) Masashi Suzuki, <u>Atsushi Senoo</u>: 拡散 MRI ファントムの開発: 異方性材料としての木材種の決定. 第45回日本磁気 共鳴医学会大会抄録集, 339-339, 2017.09
- 11) 原寛美,<u>妹尾淳史: コネクトーム解析による DAI・MTBI の診断と臨床症状の分析. 第41回日本高次脳機能障害</u> 学会学術総会プログラム·講演抄録, 41st(): 178-178, 2017.10.31

- 1) 川島友和: 文部科学省 科学研究費基金(基盤研究(C))「術後伝導障害回避のための臨床解剖学的基盤構築と3D シミュレーションモデルの作製」, 2016.04-2020.03(分担)
- 2) <u>妹尾淳史</u>: 文部科学省 科学研究費基金(基盤研究(C))「木材を利用した MRI 拡散テンソル解析用定量評価ファントムの開発」, 2016.04-2019.03
- 3) 山田拓実: 文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(C)「膝関節軟骨力学的ストレスと MRI・T2 マッピング早期軟骨変性度の関連性の検討」, 2015.04-2018.03(分担)

1) <u>Inoue K</u>, Fukushi M: External dose estimation on expressways and main roads of Fukushima Prefecture after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 5(1):7-14, 2017.06

- 2) Hosokawa S, <u>Inoue K</u>, Kano D, Shimizu F, Koyama K, Nakagami Y, Muramatsu Y, Fukushi M:A simulation study for estimating scatter fraction in whole-body ¹⁸F-FDG PET/CT. Radiological Physics and Technology, 10(2):204-212, 2017.06
- 3) Owaki Y, Inoue K, Narita H, Tsuda K, Fukushi M: Characteristic X-ray imaging for palliative therapy using strontium-89 chloride: understanding the mechanism of nuclear medicine imaging of strontium-89 chloride. Radiological Physics and Technology, 10(2):227-233, 2017.06
- 4) Le VT, Inoue K, Fujisawa M, Arai M, Fukushi M:Impact on Absorbed Dose Rate in Air from Asphalt Pavement Associated with Transport Infrastructure Developments on Phu Quoc Island, Vietnam. Radiation Environment and Medicine, 6(2): 88-93, 2017.08
- 5) 藤澤真,井上一雅,明上山温, Nguyen DHL,坂野康昌,福士政広: 利尻島・礼文島における環境放射線量 (能)調査, 診療放射線学教育学, 5(2):33-37, 2017.09
- 6) Koyama K, Mitsumoto T, Shiraishi T, Tsuda K, Nishiyama A, <u>Inoue K</u>, Yoshikawa K, Hatano K, Kubota K, Fukushi M: Verification of the tumor volume delineation method using a fixed threshold of peak standardized uptake value. Radiological Physics and Technology, 10(3):311-320, 2017.09
- 7) Owaki Y, Nakahara T, Kosaka T, Fukada J, Kumabe A, Ichimura A, Murakami M, Nakajima K, Fukushi M, Inoue K, Oya M, Jinzaki M:Ra-223 SPECT for semi-quantitative analysis in comparison with Tc-99m HMDP SPECT: phantom study and initial clinical experience. European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging Research, 7(81):1-11, 2017.10
- 8) Hosokawa S, <u>Inoue K</u>, Takahashi Y, Kawakami K, Kano D, Nakagami Y, Fukushi M:Relationship between tumor volume and quantitative values calculated using two-dimensional bone scan images. Radiological Physics and Technology, 10(4): 496-506, 2017.12
- 9) Sakano Y, Shitara H, Tsuruoka H, <u>Inoue K</u>, Fukushi M:Proper imaging dose determination by noise simulation using a computed tomography colonography phantom. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 2018.03
- 10) Yamaguchi S, Wagatsuma K, Miwa K, Ishii K, <u>Inoue K</u>, Fukushi M:Bayesian penalized-likelihood reconstruction algorithm suppresses edge artifacts in PET reconstruction based on point-spread-function. European Journal of Medical Physics, 47:73-79, 2018.03

著書

齋藤秀敏,福士政広,藤崎達也,布施拓,橋本光康,浦橋信吾,入船寅二,井上一雅,三枝健二:改訂新版 放射線機器学(Ⅱ) - 放射線治療機器·核医学検査機器 -. コロナ社, 2017.04

Misc

- 1) 片岡萌,<u>井上一雅</u>,福士政広: 荒川における希土類元素の濃度調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (131):25-26, 2017.04
- 2) 山本周平,<u>井上一雅</u>,福士政広:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故後の土壌中放射能濃度.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(131):28,2017.04
- 3) 藤澤真,荒井萌子,<u>井上一雅</u>,福士政広:ベトナムフーコック島における環境放射線量の測定.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(131):29,2017.04
- 4) 横溝真哉,井上一雅,福士政広,森岡孝満,西村まゆみ,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントは放射線影響を抑制するか―条件設定および基礎データの構築―. 日本放射線技術学会東京支部雑誌,(131):25,2017.04
- 5) 増田翔,<u>井上一雅</u>,福士政広:三宅島における環境放射線(能)調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (131):29,2017.04
- 6) 塚野遼,<u>井上一雅</u>,福士政広:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故由来の空間線量率の推移. 日本放射線技術学会東京支部雑誌,(131):28-29,2017.04
- 7) Owaki Y, Nakahara T, Inoue K, Fukushi M, Nakajima K: Comparison of step-and-shoot and continuous bed motion acquisitions using an oscillating phantom. Journal of Nuclear Medicine, 2017.05
- 8) Owaki Y, Nakahara T, Murakami M, <u>Inoue K</u>, Fukushi M, Nakajima K: The use of high-energy collimator for Ra-223 dichloride imaging: comparison with medium-energy collimator. Journal of Nuclear Medicine, 2017.05.01
- Yamaguchi Shotaro, Wagatsuma Kei, Miwa Kenta, Ishii Kenji, Inoue Kazumasa, Fukushi Masahiro: Suppression of edge artifacts using a Bayesian penalized-likelihood reconstruction algorithm for oncological PET/CT imaging. Journal of Nuclear Medicine, 2017.05
- 10) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,西村由希子,高畠賢,西村まゆみ,森岡孝満,<u>井上一雅</u>,柿沼志津子,福士政広,島田義也:¹³⁷Cs γ 線あるいは 2MeV 速中性子線の被ばくにより誘発されるラット乳がんの分子生物学的特徴.アイソトープ·放射線研究発表会要旨集:41,2017.06
- 11) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,山崎隼輔,Shang Y,鶴岡千鶴,西村由希子,<u>井上一雅</u>,福士政広,柿沼志津子, 島田義也:環境エンリッチメントによる放射線影響に対する抑制効果の評価.アイソトープ·放射線研究発表会 要旨集:50,2017.06
- 12) 大鷹豊,島添健次,小山晃広,三好寿顕,飯本武志,高橋浩之,<u>井上一雅</u>,福士政広:酸化物半導体のX線照射による性能への影響.アイソトープ·放射線研究発表会要旨集:75,2017.06
- 13) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,河上一公,福士政広:モンテカルロシミュレーションを用いた 骨シンチグラフィにおける2次元定量値の精度評価.核医学技術,37:479,2017.09
- 14) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,須崎勝正,福士政広: モンテカルロシミュレーションを用いた FDG-PET/CT 臨床画像における散乱フラクションの推定. 核医学技術, 37:467, 2017.09
- 15) 細川翔太,<u>井上一雅</u>,高橋康幸,相良裕亮,加納大輔,中神佳宏,須崎勝正,福士政広:FDG-PET/CT 臨床画像に おける散乱線含有率の評価. 核医学技術, 37:467, 2017.09
- 16) 蒲地雄大,西村まゆみ,今岡達彦,臺野和広,西村由希子,高畠賢,森山ひとみ,鶴岡千鶴,<u>井上一雅</u>,福士政広, 島田義也,柿沼志津子:乳腺における中性子線誘発 DNA 損傷応答及び発がんの年齢依存性.量子科学技 術研究開発機構資料:53-55, 2017.09

- 17) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,西村由希子,鶴岡千鶴,尚奕,山崎隼輔,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也:放射線初期応答:幼若期エンリッチメント環境がもたらす効果.日本放射線影響学会大会抄録:110,2017.10
- 18) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,高畠賢,西村由希子,西村まゆみ,森岡孝満,<u>井上一雅</u>,島田義也,福士政広, 柿沼志津子: γ線または中性子線誘発ラット乳がんにおけるサブタイプ分類とゲノム変異の解析. 日本放射線 影響学会大会抄録:119, 2017.10
- 19) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,西村由希子,鶴岡千鶴,尚奕,山崎隼輔,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也:放射線初期応答 幼若期エンリッチメント環境がもたらす効果.日本放射線影響学会大会講演要旨集:110,2017.10.
- 20) 森山ひとみ, 臺野和広, 今岡達彦, 高畠賢, 西村由希子, 西村まゆみ, 森岡孝満, <u>井上一雅</u>, 島田義也, 福士政広, 柿沼志津子: γ 線または中性子線誘発ラット乳がんにおけるサブタイプ分類とゲノム変異の解析. 日本放射線影響学会大会講演要旨集:119, 2017.10
- 21)藤澤真<u>,井上一雅</u>,明上山温, Nguyen DHL,坂野康昌,福士政広: 利尻島·礼文島における環境放射線量(能)調査. 診療放射線学教育学, 5(2):9-13, 2017.12
- 22) 荒井萌子,<u>井上一雅,</u>藤澤真,福士政広:福島第一原子力発電所事故後における栃木県の空間線量率.診療放射線学教育学,5(2):43-43,2017.12
- 23) 藤澤真,福士政広,<u>井上一雅</u>,荒井萌子:福島第一原子力発電所事故後の河川水系における核分裂生成物の動態調査. 診療放射線学教育学, 5(2):44-44, 2017.12
- 24) 寉岡大,<u>井上一雅</u>, Le VT,荒井萌子,藤澤真,福士政広:5年間にわたる東京都スギ花粉中放射性セシウム濃度 の変化.診療放射線学教育学,5(2):45-45,2017.12
- 25) 細川翔太,<u>井上一雅</u>,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,福士政広: モンテカルロ法による骨シンチグラフィの模擬. 診療放射線学教育学,5(2):46-46,2017.12

- 1) 山口正太郎,我妻慧,三輪建太,石井賢二,<u>井上一雅</u>,福士政広:PET 正則化逐次近似再構成法における PSF 補正エッジアーチファクトの抑制効果と放射能濃度比との関係.第 73 回日本放射線技術学会総会学術大会、2017,04.14
- 2) Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Nishimura M, Nishimura Y, Morioka T, Kakinuma S, <u>Inoue K</u>, Fukushi M, Shimada Y.: Genomic alterations and subtypes of rat mammary carcinomas induced by gamma-rays or neutrons. PTCOG 56 Annual Conference, Particle Therapy Co-Operative Group, 2017.05.18
- 3) 山本周平,<u>井上一雅</u>,福士政広:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故後の土壌中放射能濃度.日本放射線技術学会第 71 回東京支部春期学術大会, 2017.05.20
- 4) 増田翔<u>,井上一雅</u>,福士政広:三宅島における環境放射線(能)調査. 日本放射線技術学会第 71 回東京支部春期学術大会, 2017.05.20
- 5) 塚野遼,井上一雅,福士政広:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故由来の空間線量率の推移.日本放射線技術学会第71回東京支部春期学術大会,2017.05.20.
- 6) 藤澤真,荒井萌子,<u>井上一雅</u>,福士政広:ベトナムフーコック島における環境放射線量の測定.日本放射線技術学会第71回東京支部春期学術大会,2017.05.20
- 7) 片岡萌<u>,井上一雅</u>,福士政広: 荒川における希土類元素の濃度調査. 日本放射線技術学会第 71 回東京支部春期学術大会, 2017.05.20

- 8) 横溝真哉,<u>井上一雅</u>,福士政広,森岡孝満,西村まゆみ,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントは放射線影響を抑制するか―条件設定および基礎データの構築―. 日本放射線技術学会第 71 回東京支部春期学術大会,2017.05.20
- 9) Yamaguchi S, Wagatsuma K, Miwa K, Ishii K, Inoue K, Fukushi M:Suppression of edge artifacts using a Bayesian penalized-likelihood reconstruction algorithm for oncological PET/CT imaging. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 10) Owaki Y, Nakahara T, <u>Inoue K</u>, Fukushi M, Nakajima K: Comparison of Step-and-Shoot and Continuous Bed Motion Acquisitions
 Using an Oscillating Phantom. Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 11) Owaki Y, Nakahara T, Murakami M, <u>Inoue K</u>, Fukushi M, Nakajima K: The Use of High-Energy Collimator for Ra-223 Dichloride Imaging: Comparison with Medium- Energy Collimator. Society of Nuclear Medicine, 2017 Annual Meeting, 2017.06.07
- 12) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,西村由希子,高畠賢,西村まゆみ,森岡孝満,<u>井上一雅</u>,柿沼志津子,福士政広,島田義也:¹³⁷Cs γ 線あるいは 2 MeV 速中性子線の被ば〈により誘発されるラット乳がんの分子生物学的特徴.第 54 回アイソトープ·放射線研究発表会, 2017.06.10
- 13) 大鷹豊,島添健次,小山晃広,三好寿顕,飯本武志,高橋浩之,<u>井上一雅</u>,福士政広:酸化物半導体のX線照射による性能への影響. 第54回アイソトープ·放射線研究発表会,2017.06.20
- 14) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,山崎隼輔,Shang Y,鶴岡千鶴,西村由希子,<u>井上一雅</u>,福士政広,柿沼志津子, 島田義也:環境エンリッチメントによる放射線影響に対する抑制効果の評価. 第 54 回アイソトープ·放射線研究 発表会, 2017.06.20
- 15) Le VT, <u>Inoue K</u>, Tsuruoka H, Fukushi M: Absorbed dose rate in air in the South Central and Southern of Viet Nam. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会, 2017.06.29
- 16)藤澤真,<u>井上一雅</u>,荒井萌子,福士政広:福島第一原子力発電所事故後における周辺河川の環境動態調査. 日本保健物理学会第50回研究発表会,2017.06.29
- 17) 荒井萌子,<u>井上一雅,</u>藤澤真,福士政広:福島第一原子力発電所事故後の栃木県全域における空間線量率 調査. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会, 2017.06.29
- 18) Tsuruoka H, <u>Inoue K</u>, Arai M, Le VT, Fujisawa M, Fukushi M:A half decade variations of cesium concentrations in cedar pollen at Ome city Tokyo. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会, 2017.06.29
- 19) 阪間稔,藤本憲市,<u>井上一雅</u>,福士政広,荒井萌子,今城裕介,福原隆雄,松浦貢,矢島辰雄,松本絵里佳:PHITS と DLNN を組み合わせた新しい放射能強度決定の試み:In-situ 多チャンネル放射能濃度深度分布測定器の開発. 日本保健物理学会第 50 回研究発表会, 2017.06.29
- 20) 細川翔太,<u>井上一雅</u>,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,白川浩二,清野守央, 須崎勝正,福士政広:FDG-PET/CT 臨床画像における散乱線含有率の評価指標の提案. 東北 FDG-PET 研究会, 2017.07.29
- 21) 荒井萌子,<u>井上一雅</u>,藤澤真,福士政広:福島第一原子力発電所事故後における栃木県の空間線量率.第 11 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2017.08.05
- 22) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,福士政広: モンテカルロ法による骨シンチグラフィの模擬. 第11 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2017.08.05
- 23) 藤澤真,井上一雅,福士政広:福島第一原子力発電所事故後の河川水系における核分裂生成物の動態調査. 第11 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2017.08.05
- 24) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,西村由希子,高畠賢,西村まゆみ,森岡孝満,<u>井上一雅</u>,柿沼志津子,福士政広,島田義也:γ線·中性子線誘発ラット乳がんの免疫組織化学的特徴及び DNA コピー数変化の解析. 平成 29 年度若手放射線生物学研究会, 2017.09.02

- 25) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,柳原啓見,山崎隼輔,尚奕,鶴岡千鶴,西村由希子,<u>井上一雅</u>,福士政広,柿沼志津子,島田義也:エンリッチメント環境が消化管クリプトにおける放射線初期応答に及ぼす影響. 平成 29 年度若手放射線生物学研究会, 2017.09.02
- 26) 寉岡大,<u>井上一雅</u>,福士政広:5年間にわたる東京都スギ花粉中放射性セシウム濃度の変化.第11回日本診療放射線学教育学会学術集会,2017.09.05
- 27) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,山崎隼輔,尚奕,鶴岡千鶴,西村由希子,<u>井上一雅</u>,福士政広,柿沼志津子,島田義也:エンリッチメント環境の放射線誘発消化管腫瘍に対する抑制効果.日本宇宙生物科学会第31回大会,2017.09.20
- 28) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,相良裕亮,加納大輔,中神佳宏,白川浩二,清野守央,山本裕樹,須崎勝正,福士政広:FDG-PET/CT 臨床画像における散乱線含有率の評価. 第 37 回日本核医学技術学会総会学術大会,2017.10.05
- 29) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,加納大輔,中神佳宏,須崎勝正,福士政広:モンテカルロシミュレーションを用いた FDG-PET/CT 臨床画像における散乱フラクションの推定.第 37 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2017.10.05
- 30) 細川翔太,井上一雅,高橋康幸,河上一公,加納大輔,中神佳宏,福士政広:モンテカルロシミュレーションを用いた 骨シンチグラフィにおける2次元定量値の精度評価.第37回日本核医学技術学会総会学術大会,2017.10.06
- 31) Otaka Y, Shimazoe K, Koyama A, Miyoshi H, Iimoto T, Takahashi H, Inoue K, Fukushi M: Radiation Effects in IGZO Semiconductor Based Switch Used for Flat Panel Detector. 2017 IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference, 2017.10.22
- 32) 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,高畠賢,西村由希子,西村まゆみ,森岡孝満,井上一雅,島田義也,福士政広, 柿沼志津子:γ線または中性子線誘発ラット乳がんにおけるサブタイプ分類とゲノム変異の解析.日本放射線 影響学会第60回大会,2017.10.25
- 33) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,西村由希子,鶴岡千鶴,尚奕,柳原啓見,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントにおける APCmin/+マウスへの消化管腫瘍抑制効果. がんプロ大学院生研究発表会, 2018,01,06
- 34) Somboon S, Kavasi N, Sahoo SK, Arae H, <u>Inoue K</u>, Fukushi M:Radiocesium distribution in river system environment (either around or surrounding: select one) evacuated zone of Fukushima. 第 19 回環境放射能研究会, 2018.03.13.

- 1) <u>井上一雅</u>:とうきゅう環境財団 研究助成金「多摩川水域における希土類元素の存在分布とその起源に関する研究」, 2017.04-2019.03
- 2) <u>井上一雅</u>: 環境省 環境研究総合推進費「多チャンネル放射能深度分布測定器の実用化と In-situ 測定法の確立」, 2016.04-2019.03
- 3) <u>井上一雅</u>: 日本生命財団 環境問題助成金「高齢社会の進展に伴う環境中の希土類元素分布と環境影響」, 2017.10-2018.09
- 4) <u>井上一雅</u>: 首都大学東京 傾斜的研究費「誘導結合プラズマ質量分析(ICP-MS)による希土類元素の存在 分布と環境影響」、2017.04-2018.03(分担)
- 5) <u>井上一雅</u>: 首都大学東京 傾斜的研究費「ベトナム北部における環境放射線量のベースラインの確立」, 2017.04-2018.03

社会貢献活動

- 1) 井上一雅: 第10回 X線 CT 認定技師更新講習会. 2017.05.28
- 2) 井上一雅:ミニマム講習会(物理工学系). 2017.06.03
- 3) 井上一雅:東京核医学技術研究会第494回定例会教育講演. 2017.11.29
- 4) <u>井上一雅</u>: 放射線検出器の研究シーズと医療現場ニーズに関するシンポジウム: ホウ素中性子捕捉療法に関する測定技術と検出器開発. 2018.01.06
- 5) 井上一雅: 第7回 X 線 CT 認定技師認定試験. 2018.02.04
- 6) <u>井上一雅</u>: 放射線検出器の研究シーズと医療現場ニーズに関するシンポジウム: 放射線を利用した医用イメージング装置における画像再構成の基礎と応用. 2018.03.04.

受賞

- 1) 日本放射線技術学会東京支部 新人研究奨励賞,2017.05
- 2) 第54回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞,2017.07
- 3) 日本宇宙生物科学会第31回大会 優秀発表賞,2017.09
- 4) Terrestrial Radioisotopes in Environment International Conference on Environmental Protection 2018 Best PhD Student Poster Award, 2018.03

特許

1) 井上一雅,福士政広,阪間稔,藤本憲市. 「放射線測定装置」特願 2017-247979, 2017.12.2

1) <u>真正浄光</u>,柳澤伸,古場裕介,井上光広,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:TLD による線量分布測定の高精度化[~]放射線治療の線量検証システムを目指して[~]. 放射線, 43(1):13-17-, 2017.04.27

- 2) 真正浄光,古場裕介:熱蛍光線量計の諸特性と応用研究の紹介. 放射線化学,(103):13-19,2017.05
- 3) Yusuke Koba, Risa Shimomura, Weishan Chang, <u>Kiyomitsu Shinsho</u>, Shin Yanagisawa, Genichiro Wakabayashi, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Takayuki Ando:Dose linearity and linear energy transfer dependence of Cr-doped Al₂O₃ ceramic thermoluminescence detector. Sensors and Materials, 30:1599-1604, 2018.01.01
- 4) Masanori Koshimizu, Takayuki Yanagida, <u>Kiyomitsu Shinsho</u>, Shin Yanagisawa, Yutaka Fujimoto, Hideki Yagi, Takagimi Yanagitani, Keisuke Asai: Similarity of trap state and thermoluminescence processes of Y₃Al₅O₁₂:Ce for X-ray and UV irradiation. Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms, 2018.01.01
- 5) <u>Kiyomitsu Shinsho</u>, Daiki Maruyama, Shin Yanagisawa, Yusuke Koba, Mizuki Kakuta, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Takayuki Andoh: Thermoluminescence properties for X-ray of Cr-doped Al₂O₃ ceramics. Sensors and Materials, 30: 1591-1598, 2018.01.01
- 6) 島津美宙,若林源一郎,納冨昭弘,古場裕介,<u>真正浄光</u>: 近畿大学原子炉における Csl シンチレータの自己 放射化を用いた中性子束測定. 放射線, 43(4):135-138-, 2018.01

Misc

- 1) 越水正典,柳田健之,<u>真正浄光</u>,藤本裕,浅井圭介:YAG:Ce における放射線および紫外線照射後の熱蛍光特性の比較. 希土類,(70):34-35-,2017.05.08
- 2) 牧野友祐,柳澤伸,相澤若奈,<u>真正浄光</u>,古場裕介,田中浩基,若林源一郎,納冨昭弘,安藤隆之,松本和樹,牛場洋明:Al₂O₃:Cr セラミック TL スラブと BeO:Na TLD による中性子線·γ線の弁別解析におけるモンテカルロ計算を用いた TL 感度補正法の検討. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th(): ROMBUNNO.7p-PA8-7-, 2017.08.25
- 3) 古場裕介,柳澤伸,<u>真正浄光</u>福田茂一:人体模型線量計のための Al₂O₃ 母材熱蛍光セラミクスの密度調整. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th:ROMBUNNO.7p-PA8-15-, 2017.08.25
- 4) 角田瑞季,柳澤伸,<u>真正浄光</u>,古場裕介,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:乳房 X 線撮影装置の半価層測定における Al ステップフィルタからの散乱線補正方法の検討. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th:ROMBUNNO.7p-PA8-14-, 2017.08.25
- 5) 下村理紗,<u>真正浄光</u>,古場裕介,CHANGWeishan,CHANGWeishan,佐々木大地,安藤隆之,松本和樹,牛場洋明:陽子線,炭素線及び X 線に対する Al₂O₃:Cr セラミック板の線量応答特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th:ROMBUNNO.7p-PA8-8-, 2017.08.25
- 6) 相澤若奈<u>,真正浄光</u>,古場裕介,若林源一郎,納冨昭弘,田中浩基: α線-γ線混在場における CαSO4:Tm TLD の 熱蛍光特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th:ROMBUNNO.7p-PA8-6-, 20170825.
- 7) 山本祥太郎,<u>真正浄光</u>,古場裕介,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:モンテカルロシミュレーションを利用した Al₂O₃ セラミック板積層法による半価層測定の検討. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th: ROMBUNNO.7p-PA8-11-, 2017.08.25

- 8) 田中優美,<u>真正浄光</u>,古場裕介,柳澤伸,梶原浩一: Cu 添加 Li₂B₄O₇ガラスセラミックスの熱蛍光特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th: ROMBUNNO.7p-PA8-13-, 2017.08.25
- 9) 佐々木大地,真正浄光,古場裕介, CHANG Weishan, CHANG Weishan,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:Al₂O₃セラミック板を用いた陽子線の線量分布測定.応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM),78th: ROMBUNNO.7p-PA8-10-,2017.08.25
- 10) 柳澤伸,<u>真正浄光</u>,原田和正,古場裕介,福田茂一:市販フォルステライトセラミックスの熱蛍光特性. 応用物理 学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th:ROMBUNNO.7p-PA8-12-, 2017.08.25
- 11) 髙木瞳,柳澤伸,<u>真正浄光</u>,古場裕介,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:モンテカルロ計算を用いた Al₂O₃:Cr TLD のエネルギー依存性の金属フィルタによる補正の検討. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 78th:ROMBUNNO.7p-PA8-9-, 2017.08.25
- 12) <u>真正浄光</u>,古場裕介, CHANG W.,佐々木大地,柳澤伸,齋藤雄介,相澤若奈,角田瑞季,山本祥太郎,若林源一郎,川路康之,福田茂一:熱蛍光板状線量計による重粒子線の線量と線質分布に関する研究. 量子科学技術研究開発機構研究報告書(Web), (6):206-207 (WEB ONLY)-, 2017.09
- 13) <u>真正浄光,</u>齋藤雄介,相澤若奈,古場裕介: 熱蛍光材料を利用した中性子イメージングデバイスの開発. 量子科学技術研究開発機構資料(Web), (4):69-71 (WEB ONLY)-, 2017.09
- 14) 柳澤伸,古場裕介,<u>真正浄光</u>,福田茂一:密度制御 Al〈sub〉2〈/sub〉O〈sub〉3〈/sub〉:Cr セラミックスの熱蛍光特性. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 65th:ROMBUNNO.19p-P7-75-, 2018.03.05
- 15) 角田瑞季,柳澤伸,<u>真正浄光</u>,古場裕介,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:モンテカルロ計算による熱蛍光スラブ線量計を用いた乳房用 X 線装置の半価層測定におけるエネルギー依存性の検討. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 65th:ROMBUNNO.19p-P7-76-, 2018.03.05

- 1) Weishan Chang, Yusuke Koba, <u>Kiyomitsu Shinsho</u>, and Hidetoshi Saitoh: Experimental investigation of the linear energy transfer dependent response of radiophotoluminescence glass dosimeter to heavy charged particles. 56th Annual Conference of the Particle Therapy Co-operative Group (PTCOG56), 2017.05.08
- 2) 柳澤伸,<u>真正浄光</u>,古場裕介,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:放射線治療における 2 次元 TLD の利用と人体模型 TLD の開発に向けた基礎研究. 平成 29 年度京都大学原子炉実験所専門研究界「放射線治療と放射線防護のための放射線計測に関する研究会, 2017.09
- 3) 丸山大樹,柳澤伸,安藤隆之.松本和樹,牛場洋明,<u>真正浄光</u>:熱蛍光スラブ線量計を利用した外部放射線治療装置の品質管理法確立に向けた基礎的検討.日本放射線技術学会 第 45 回秋季学術大会, 2017.10
- 4) <u>真正浄光</u>: 「セラミックスによる新しい X 線イメージングデバイス」 ~ 様々な医療ニーズに対応した取り組み ~ . 日本放射線技術学会 第 45 回秋季学術大会, 2017.10
- 5) 古場裕介,真正浄光,下村理紗,張維珊,佐々木大地,安藤隆之,松本 和樹,牛場洋明:熱蛍光特性を有する Al 203:Cr セラミックの粒子線に対する応答特性. 第12回次世代先端光科学研究会, 2017.11.13
- 6) <u>真正浄光</u>, 柳澤伸,丸山大樹,角田瑞季,古場裕介,松本和樹,牛場洋明,安藤隆之:Cr 添加 Al₂O₃セラミックスの X線に対する熱蛍光特性. 第 12 回 次世代先端光科学研究会, 2017.11.13
- Akihiro Nohtomi, Masaaki Tokunaga, Genichiro Wakabayashi "<u>Kiyomitsu Shinsho</u>: Neutron distribution measurement by the self-activation of a Csl plate with CCD camera using a decaying self-activation imaging technique. International Symposium on Radiation Detectors and Their Uses (ISRD2018), 2018.01.23
- 8) Shin Yanagisawa, Mizuki Kakuta, <u>Kiyomitsu Shinsho</u>, Yusuke Koba, Kazuki Maysumoto, Hiroaki Ushiba, Takayuki Andoh: Monte Carlo investigation of absorbed-dose energy dependence of two-dimensional Al₂O₃ thermoluminescence dosimeter in radiation therapy. 24th European Congress of Radiology, 2018.02.28

競争的資金等の研究課題

1) <u>真正浄光:</u>文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「人体模型線量計による放射線診断・治療時の 人体内 3 次元線量分布評価システムの開発」, 2016.04-2020.03

特許

- 1) <u>真正浄光</u>,古場 裕介,特願 2017-159220, 2017.08.22 「人体模型線量測定用部材、その製造方法及び人体模型線量測定具」
- 真正浄光,特願 2017-228667, 2017.11.29 「中性子線·γ線弁別測定用の熱蛍光体」
- 3) <u>真正浄光</u>,古場裕介,特開 2018-24863, 2018 特願 2016-151517, 20160801 「中性子線·γ線弁別測定用の 熱蛍光体及び中性子線·γ線弁別測定法」

- 1) 長又新,<u>関根紀夫:</u> X 線撮影実習における AR を用いたポジショニング学習支援システム,5,2,診療放射線 学教育学,19-26,2017.12
- 2) Masashi, Mastuzaki, <u>NorioSekine</u>: Motion Analysis of the Patella in Asymptomatic Patellofemoral Joints by Transparent 3D Imaging, Journal of Arthritis, 2017

著書

- 1) 福士政広·編集: 診療放射線技師イエロー・ノート- 臨床編 4th edition. 4. 医用画像情報学, メシ゛カルヒ゛ュー 社,2017.08
- 2) 森浩一,西尾誠示,五反田留見,<u>関根紀夫:</u> 診断画像技術学 || a X 線撮影技術学. 第 9 章造影検査 4.その 他の造影法, 医療科学社,2017.10

講演·口頭発表等

- 1) 小野山瑞咲,<u>関根紀夫: X 線シミュレーションシステムにおけるセンサ装着位置の検討.第 11 回日本診療放射線学教育学会学術集会.2017.08</u>
- 2) 高橋拡衣,関根紀夫: CBT における問題群の検討,第11 回日本診療放射線学教育学会学術集会,2017.08
- 3) <u>関根紀夫</u>,森浩一,小原弘道,中島修一,藤井義大,中野渡滉希,兵藤一行: MTF チャートを用いた X 線位相コントラスト画像法の解像特性評価の試み. .2017.09

- 1) 渡辺賢: 教育改革推進事業「ICT などを活用した評価システムの構築による臨地・臨床実習の質保証」, 2017.04-(分担)
- 2) 関根紀夫: 教育改革推進事業「ICT を利用した X 線撮影シミュレーションによるスキル教育」, 2017.04-2018.03
- 3) 黒川信:教育改革推進事業「同窓生-留学生との恊働による「東京の魅力」の多言語発信」, 2017.04-2018.03(分担)
- 4) 森浩一:科学研究費助成事業「X線位相コントラスト画像による豚肝臓血管の観察」, 2015.04-2018.03(分担)

1) 乳井嘉之,大塚郭貴:デジタルトモシンセシスにおける逐次型画像再構成の基礎検討,2017.09.30

- 1) <u>乳井嘉之</u>:日本学述振興会 基盤研究(C)「教育用画像再構成補助ツールキットの開発」, 2017.04-2019.03
- 2) 小倉泉:日本学述振興会 基盤研究(C)「マルチスライス形へリカルX線CT装置の教育用模擬システムの開発 と学生実験への導入」, 2015.04-2018.03(分担)

- 1) Nitta Naotaka, Kaya Akio, Misawa Masaki, Hyodo Koji, <u>Numano Tomokazu</u>: Accuracy improvement of multimodal measurement of speed of sound based on image processing. JAPANESE JOURNAL OF APPLIED PHYSICS, 56(7S1): 07JF17, 2017.07, IF2017:1.452
- 2) D Ito, <u>T Numano</u>, K Mizuhara, T Washio, M Misawa, N Nitta: Partial Volume Effect on MR Elastography. Open Journal of Medical Imaging, 7(4):131-143, 2017.09
- 3) Nakamura M, Oyane A, Kuroiwa K, Shimizu Y, Pyatenko A, Misawa M, <u>Numano T</u>, Kosuge H: Facile one-pot fabrication of calcium phosphate-based composite nanoparticles as delivery and MRI contrast agents for macrophages. Colloids and surfaces. B, Biointerfaces, 162(1):135-145, 2018.02.01, IF2017:3.997

Misc

- 1) 中村真紀,大矢根綾子,黒岩輝代子,三澤雅樹,<u>沼野智一</u>,小菅寿徳:マクロファージ検出のための磁性酸化鉄ナノ粒子含有リン酸カルシウム系粒子の作製.日本バイオマテリアル学会大会予稿集(Web), 39th:61 (WEB ONLY)-61, 2017.11.13
- 2) 前野利樹,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,五十嵐佳佑,植木貴道,波部哲史,水原和行:撮像時間短縮が大腿部 MR Elastography にもたらす影響. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 74th: 201-201, 2018.03.20
- 3) 五十嵐佳佑,高橋光幸,石井泰貴,<u>沼野智一</u>: 肝臓 MR Elastography における息止め不良の影響. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集,74th:324-324,2018.03.20
- 4) 五十嵐佳佑,<u>沼野智一</u>,高橋光幸,鈴木圭一郎,伊東大輝,植木貴道,波部哲史:MR Elastography において画像 歪みの影響を軽減する方法. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 74th: 200-200, 2018.03.20
- 5) <u>沼野智一</u>,水原和行,伊東大輝,波部哲史,五十嵐佳佑,植木貴道,前野利樹: 既存のMRI 装置でMR Elastography を実施する方法. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 74th: 200-200, 2018.03.20
- 6) 伊東大輝,<u>沼野智一</u>,水原和行,高本考一,植木貴道,五十嵐佳佑,波部哲史: 棘上筋・僧帽筋 MR elastography の開発. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集,74th:183-184-184,2018.03.20
- 7) 波部哲史,<u>沼野智一</u>,五十嵐佳佑,植木貴道,伊東大輝,水原和行,高本考一,西条寿夫: 大腰筋 MR Elastography に適した撮像体位の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 73(9):860-861, 2017.09
- 8) 植木貴道,<u>沼野智一,</u>伊東大輝,五十嵐佳佑,渡部哲史,水原和行,高本考一,大西孝明:仙骨への振動による 梨状筋 MR Elastography の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 73(9):933-933, 2017.09
- 9) 植木貴道,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,五十嵐佳佑,波部哲史,水原和行,高本考一: 梨状筋 MR Elastography で骨盤振動の影響を低減させる方法. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集,74th:201-202-202,2018.03.20
- 10) 波部哲史,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,五十嵐佳佑,植木貴道,水原和行,高本考一: 腰方形筋に MRE を適用するためのパラメータ検討. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集,74th:201-201,2018.03.20

- 1) <u>沼野智一</u>,伊東大輝,大西孝明,水原和行,高本考一,西条寿夫,三澤雅樹:汎用 MR elastography 技術と Dixon 法の融合. 第73 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017.04.14
- 2) 伊東大輝,<u>沼野智一</u>,水原和行,鷲尾利克,三澤雅樹,新田尚隆:MR Elastography 特有のパーシャルボリューム効果の存在. 第73回日本放射線技術学会総会学術大会,2017.04.14
- 3) 大西孝明,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,水原和行,高本考一,波部哲史,西条寿夫:MR Elastography (MRE)による大腰筋 の弾性率測定. 第73 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017,04.14
- 4) 植木貴道,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,大西孝明,五十嵐佳佑,波部哲史,水原和行:梨状筋 MR Elastography に適切な 加振パッドの配置位置の検討. 第73 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017.04.14
- 5) 波部哲史,<u>沼野智一</u>,大西孝明,伊東大輝,水原和行,五十嵐佳佑,植木貴道:MR Elastography におけるホース長変化による生体内での振動強度変化. 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017.04.14
- 6) 五十嵐佳佑,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,波部哲史,植木貴道,大西孝明,水原和行:MR elastography において異なる振動位相画像を得るための新しい手法. 第73回日本放射線技術学会総会学術大会,2017.04.14
- 7) <u>沼野智一</u>,清野真也,金澤勉,金澤崇史,野島佑太,五十嵐佳佑,水原和行:MR Elastography 用標準ファントムに 適応した加振パッドの運用. 第73 回日本放射線技術学会総会学術大会,2017.04.15
- 8) Tomokazu Numano, Daiki Ito, Takaaki Onishi, Kazuyuki Mizuhara, Koichi Takamoto, Hisao Nishijyo, Masaki Misawa, Naotaka Nitta: Integration of MR Elastography and Fat/Water Separation Imaging. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 25th Annual Meeting & Exhibition, 1381, 2017.04.23
- Daiki Ito, <u>Tomokazu Numano</u>, Kazuyuki Mizuhara, Koichi Takamoto, Takaaki Onishi, Hisao Nishijo: Optimal Excitation Location for Magnetic Resonance Elastography of the Supraspinatus Muscle. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 25th Annual Meeting & Exhibition, 1584, 2017.04.23
- 10) 伊東大輝,<u>沼野智一</u>,高本孝一,水原和行,波部哲史,植木貴道,五十嵐佳佑,西条寿夫: 棘上筋と僧帽筋 MR elastography の同時適応. 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会, 2017.08.14
- 11) <u>沼野智一</u>,伊東大輝,植木貴道,波部哲史,五十嵐佳佑,水原和行,高本孝一,西条寿夫,三澤雅樹: MR elastography と Dixon 法の融合とその汎用性の検証. 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会, 2017.09.14
- 12) <u>沼野智一</u>,清野真也,金澤勉,金澤崇史,野島佑太,五十嵐佳佑,水原和行:MR Elastography 用標準ファントムに 適応した加振パッドの開発と運用. 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会, 2017.09.14
- 13) 五十嵐佳佑,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,植木貴道,波部哲史,大西孝明,水原和行,新田尚隆,三澤雅樹:二つの振動部を有する加振パッドによる MR Elastography. 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会, 2017.09.14
- 14) 波部哲史,<u>沼野智一</u>,新田尚隆,伊東大輝,五十嵐佳佑,大西孝明,植木貴道,水原和行,高本孝一,西条寿夫: 大腰筋 MR Elastography における腸管内ガスの影響. 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会, 2017.09.14
- 15) 植木貴道,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,波部哲史,五十嵐佳佑,水原和行,大西孝明,高本孝一,西条寿夫,新田尚隆, 三澤雅樹:体位変化が梨状筋 MR Elastography に与える影響. 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会, 2017.09.14
- 16) 植木貴道,<u>沼野智一,</u>伊東大輝,五十嵐佳佑,波部哲史,水原和行,高本孝一,大西孝明:仙骨への振動による 梨状筋 MR Elastography の検討. 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017,10.19
- 17) <u>沼野智一</u>,伊東大輝,三澤雅樹,新田尚隆,水原和行,植木貴道,波部哲史,五十嵐佳佑: 画像歪みが MR Elastography に及ぼす影響. 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017.10.20
- 18) 波部哲史,<u>沼野智一</u>,五十嵐佳佑,植木貴道,伊東大輝,水原和行,高本孝一,西条寿夫: 大腰筋 MR Elastography における腸管内ガスの影響. 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017.10.20

- 19) 五十嵐佳佑,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,波部哲史,植木貴道,水原和行,新田尚隆,三澤雅樹:MR Elastography において複数の加振パッドを用いた均一な波を伝える方法.第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017.10.20
- 20) 田中道隆,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,植木貴道,波部哲史,五十嵐佳佑,今田悠斗,前野利樹:振動波形が MR elastography に与える影響. 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017.10.20
- 21) 前野利樹,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,植木貴道,波部哲史,五十嵐佳佑,今田悠斗,田中道隆:MR elastography における撮像時間短縮とその影響. 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017,10.20
- 22) 今田悠斗,<u>沼野智一</u>,伊東大輝,植木貴道,波部哲史,五十嵐佳佑,田中道隆,前野利樹:MR Elastography の上腕 部への応用. 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017.10.20
- 23) <u>T. Numano</u>, D. Ito, K. Takamoto, K. Mizuhara, K. Igarashi, T. Ueki, T. Habe, M. Misawa, H. Nishijyou: Simultaneous Acquisition of MR Elastography and Two-point Dixon Imaging. European Conference of Radiology (ECR) 2018, 2018.03.02

競争的資金等の研究課題

1) 矢代航(代表者):国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 医療分野研究成果展開事業(先端 計測分析技術・機器開発プログラム)「時間分解 X 線位相エラストグラフィ法の開発」, 2017.07-2020.03(分担)

社会貢献活動

1) <u>沼野智一,</u>渡邉賢,畑純一:平成 29 年度 ひらめき☆ときめきサイエンス KAKENHI (HT29089-1,2)「磁場の力を使って人体内部を視る・測る・診る。 - 磁場の力を利用する MRI - 2017edition I, 2017.08.10-11.

受賞

- 1) 田中道隆,<u>沼野智一</u>.伊東大輝,植木貴道,波部哲史,五十嵐佳佑,今田悠斗,前野利樹:日本放射線技術学会 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会 優秀演題賞「振動波形が MR elastography に与える影響」, 2017.10
- 2) <u>T. Numano</u>, D. Ito, K. Takamoto, K. Mizuhara, K. Igarashi, T. Ueki, T. Habe, M. Misawa, H. Nishijyou: European Society of Radiology: ESR, European Federation of Radiographer Societies: EFRS, ECR2018 MAGNA CUM LAUDE Radiographer Poster Award, 「Simultaneous Acquisition of MR Elastography and Two-point Dixon Imaging. J., 2018.03

特許

- 1) <u>沼野智一</u>,伊東大輝,三澤雅樹,鷲尾利克:特願 2018-004937, 2018.0116 「MR エラストグラフィと拡散強調画像 を同時に得る方法」
- 2) <u>沼野智一:</u>特開 2017-064309, 2017.04.06 特願 2015-196828, 20151002 「磁気共鳴撮影装置」公立大学法 人首都大学東京

著書

1) 根岸徹,浅田恭生,落合幸一郎 他8名:放射線技術学スキルUPシリーズ 診断 X 線領域における吸収線量の標準測定,オーム社,2017.06

講演·口頭発表等

- 1) 関口智子,喜納貴之,根岸徹,加藤洋:マンモグラフィ領域に対応した自作半導体線量計の有用性について,日本放射線技術学会第73回総会学術大会予稿集P158,2017.04
- 2) 小林剛,安部真治,小倉泉,土田拓治,齋藤佑樹,<u>根岸徹</u>:A study of Harf-Value Layer and Average Glandular Dose Measuremant by the Simple Dosimeter Using a Photodiode,日本放射線技術学会第 73 回総会学術大会予稿集 P159,2017.04
- 3) 谷口杏奈,小倉明夫,根岸徹,山下暢子,横山京子,新木由香:The Preparation Tool of Magnetic Resonance Imaging (MRI) for Children,日本放射線技術学会第73回総会学術大会予稿集P315,2017.04
- 4) 齋藤祐樹,今井宜雄,小倉泉,宮薗忠文,根岸徹,三宅博之,落合幸一郎,中村浩章:輝尽性蛍光プレートを 用いた自動露出機構の調整状況調査,日本放射線技術学会東京部会雑誌,No.131,P15,2017.05
- 5) 小倉明夫,林則夫,根岸徹,渡部晴之,阿部信吉:読影補助 learning ソフトの学習効果の検証,日本放射線技術 学会東京部会雑誌,No.131,P25,2017.05
- 6) 嶋田七海,小金澤明日香,宮島優実,渡部晴之,長島宏幸,根岸徹:デジタルマンモグラフィに対応した日常精度 管理ファントムの評価,日本放射線技術学会東京部会雑誌,No.131,P26,2017.05
- 7) 小林千香子,小倉泉,根岸徹,飯田紗生子,村社真紀,安部真治:乳房用簡易形線量計における一般撮影用検 出素子の適用.日本放射線技術学会東京部会雑誌.No.131.P27.2017.05
- 8) 村社真紀,小倉泉,根岸徹,飯田紗生子,小林千香子,安部真治:乳房用簡易形線量計による半価層測定に関する検討,日本放射線技術学会東京部会雑誌,No.131,P27,2017.05
- 9) 飯田紗生子,小倉泉,根岸徹,小林千香子,村社真紀,安部真治:簡易形線量計による半価層測定に関する検討,日本放射線技術学会東京部会雑誌,No.131,P28,2017.05
- 10) 根岸徹: デンスブレストにおけるデジタル値の相関について, NPO 法人埼玉乳がん臨床研究グループ,2017.06
- 11) 小金澤明日香,嶋田七海,宮島優実,渡部晴之,長島宏幸,根岸徹:簡易形自作線量計を用いた乳房撮影領域 における精度管理,2017 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会プログラム集,2017,06
- 12) 根岸徹:乳がんを見つける技術~X線撮影の原理から最新動向まで~, 東京都 HUB 機構,2017.07
- 13) 根岸徹:マンモグラフィ認定講習会、ぐんまマンモグラフィ向上委員会、2017.08
- 14) 根岸徹: デンスプレストにおける画像相関法の一提案 NPO 法人埼玉乳がん臨床研究グループ,,2017.10
- 15) 根岸徹:教育委員会企画 1 ちょっと待て!! 撮影ボタンを押す前に… ~診断領域における QA・QC~ シンポジウム①装置管理(発生系),第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会予稿集 P59,2017.10
- 16) 徳留礼佳,三宅博之,齋藤祐樹,今井宜雄,小谷野裕也,中村浩章,小倉泉,根岸徹, 齋藤祐樹:ディジタル撮影システムにおける AEC 管理法の検討,第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会,2017.10
- 17) 小倉泉,根岸徹:日常管理を目的とした簡易形線量計における利用範囲の拡大,第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会,2017.10

- 18) 丸藤綾乃,根岸徹,米持圭太,増田優佳,角田奈月:群馬県保健福祉事務所における X 線装置の精度管理導 入に向けて,第 64 回日本放射線技術学会関東支部研究発表大会,2017.12
- 19) 増田優佳,根岸徹,米持圭太,丸藤綾乃,角田奈月:X 線装置の日常精度管理用半導体測定器の作成,第 64 回日本放射線技術学会関東支部研究発表大会,2017.12
- 20) 角田奈月,根岸徹,米持圭太,丸藤綾乃,増田優佳:多機能半導体測定器と日常精度管理用半導体測定器を用いた精度管理について,第64回日本放射線技術学会関東支部研究発表大会,2017.12
- 21) 根岸徹:認定講習会(ディジタルシステムの精度管理), 日本乳がん検診精度管理中央機構,2018.03

委員曆

- 1) 日本放射線技術学会 理事(業務執行理事)
- 2) 日本放射線技術学会 大会開催委員会 委員長
- 3) 日本放射線技術学会 標準·規格委員会 運営委員
- 4) 日本放射線技術学会 学術委員会 委員
- 5) 日本放射線技術学会 出版委員会 委員
- 6) 日本放射線技術学会 標準·規格委員会 乳房撮影用 X 線装置班 班長
- 7) 日本放射線技術学会 学術研究班 ディジタルブレストトモシンセシスに関する品質管理方法確立のための性能評価班 班員
- 8) 日本放射線技術学会東京支部 理事
- 9) 日本放射線技術学会東京支部 企画委員会 委員長
- 10) 日本放射線技術学会東京支部 学術委員会 委員
- 11) 日本ラジオロジー協会 理事
- 12) 日本乳がん検診精度管理中央機構 理事
- 13) 日本乳がん検診精度管理中央機構 教育研修委員会 委員
- 14) 日本診療放射線学教育学会 副会長
- 15) 日本診療放射線学教育学会 理事
- 16) 医療被ばく研究情報ネットワーク DRLs2020 マンモグラフィプロジェクトチーム リーダー
- 17) 医療被ば〈研究情報ネットワーク DRLs2020 歯科 X 線プロジェクトチーム 班員

 Hariu M, Suda Y, Chang W, Myojoyama A, Saitoh H: Contrast enhancement for portal images by combination of subtraction and reprojection processes for Compton scattering. The Journal of Applied Clinical Medical Physics (JACMP), 18 (6):71-78, 2017.11

講演·口頭発表等

- 1) 千葉貴仁,齋藤秀敏,明上山温:並列計算を用いたボクセルベースボルツマン輸送方程式による光子輸送シミュレーションの高速化. 第113回日本医学物理学会学術大会,2017.04.17
- 2) 江面崇智,<u>明上山温</u>,齋藤秀敏,唐澤久美子,羽生裕二: Development of patient recognition system for radiotherapy. 第 113 回日本医学物理学会学術大会, 2017.04.17
- 3) 森田恭平,明上山温,千葉貴仁:UVC カメラを使用したエネルギースペクトルの測定.第113回日本医学物理学会学術大会,2017.04.17
- 4) 高橋侑大,橘英伸,明上山温,齋藤秀敏:全身照射に対する強度変調回転照射における MLC コントロール方法 の違いの影響.第 113 回日本医学物理学会学術大会,2017.04.17
- 5) Development of face authentication system for radiation therapy. The 8th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 20170.9.15
- 6) Electron beam control of linear accelerator using electromagnet. The 8th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 2017.09.15
- 7) Measurement of an energy spectrum of Co-60 using UVC camera. The 8th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 2017.09.15
- 8) Investigation for suitable beam arrangement according to the body size in total body irradiation using volumetric modulated arc therapy (VMAT). The 8th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 2017.09.15

競争的資金等の研究課題

1) 明上山温:日本学術振興会 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「電子線とX線のハイブリッドによる新しい 高エネルギー画像撮像法の開発」,2016.04-2019.03

首都大学東京 健康福祉学部 研究費評価·配分委員会部会

部会長 渡邊 賢 (学部長)

委員 西村 ユミ (看護学科長)

委 員 網 本 和 (理学療法学科長)

委 員 石 井 良和 (作業療法学科長)

委 員 福士 政広 (放射線学科長)